

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載，複製を禁じます。

以下日記頁のみ撮影

（1月1日～12月31日）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



避寒地の冬　年末年始の煩はしさを逃れてきた湘南の避寒地も、同じやうな客で立て込み却々に賑はしい。海を前にした南面の緣に、硝子戸越しに日光を浴び、籐椅子に凭り乍ら煙草を燻らせばはじめて初春らしいのんびりとした氣持になる。手に採る新聞には春場所の好景氣を傳へ、初日の大番狂はせが人氣を呼んでゐる如くである。戸開りの早い山の手、夜は寒詣の健けな老若男女の鈴の音、闇に消えゆくを聞く。

（川路柳虹―以下當月の季語又は異民の作）

二十節季

立春　睦月・太郎月
（むつき立つ今日の心を心にて一年なが過してしかな　貞徳）

小寒　六日（後十時三十二分）
土用　十八日（後五時十五分）
大寒　廿一日（後三時五十七分）

月相
十　滿月　七日
●　新月　廿三日
☽下弦　十五日
☽上弦　三十日

南海　粒差に日が照ると、海が貝殻のやうに光ること、遠指す畑の間に見えかくれする汽車の煙、煙が赤いこと、湯の香がむつとすること、「冬の海邊がこゝばかりはむしろ消えてゆくやうに消えてゐる。

一月事

三ケ日　屠蘇・雜煮・着衣始・通禮
元日　四方拜・參賀（又は宮殿場等）・車方詣
初荷・書初其他總ての始業式
二日　元始祭・三弘法講
三日　政治始・山開・講宮始・御用始
四日　新年宴會・初水天宮詣（一月一日―五日）
五日　年越・消防出初式・門松撤去
六日　七種粥・御講書始・白馬神事（大祓仕奉）
七日　陸軍始・觀兵式・學校始業
八日　古日喪（大祓ノ奉ヲ）・初金比羅・初午・兵入營
十一日　鏡開・土藏開・帳祝・新通帳
十三日　八專入
十四日　年越・注連飾撤去・武射神事（下旬民間）
十五日　海軍始・小豆粥・疫除詣（五日間八幡宮）
十六日　賽日・鳴弦詣・載入
十八日　御歌會始（定日なき年は一月）・初觀音
二十日　二十日正月・鍛冶祝・夷講（本日打ち）
廿一日　庚申（年間六回）・北野神社緣日（月毎）
廿三日　除暦元日
廿五日　初天神・亀戸天神鷺谷神事・甲子
廿八日　初不動
三十日　己巳

○寒中には諸神の寒垢古の寒中見舞の事詣。

商生　活動・レウマチス・神經痛の藥効。

（一月標語）祝祭日には國旗を忘れずに掲げませう

季寄

時令　初日、若水、門松、蓬莱、雜煮、屠蘇、七種粥、鳥追、卯杖、若菜、齒朶、讀業、寒念佛、萬歳、獅子舞。

花　松、竹、梅、福壽草、水仙、寒牡丹、寒菊、南天燭、萬年青、數柑子。温室ものにては匂ひすみれ、クローカス。

魚貝　伊勢蝦、鱈、寒鯉、たこ、鰤、鮪、かき、白魚、數の子、鰡、鴨。

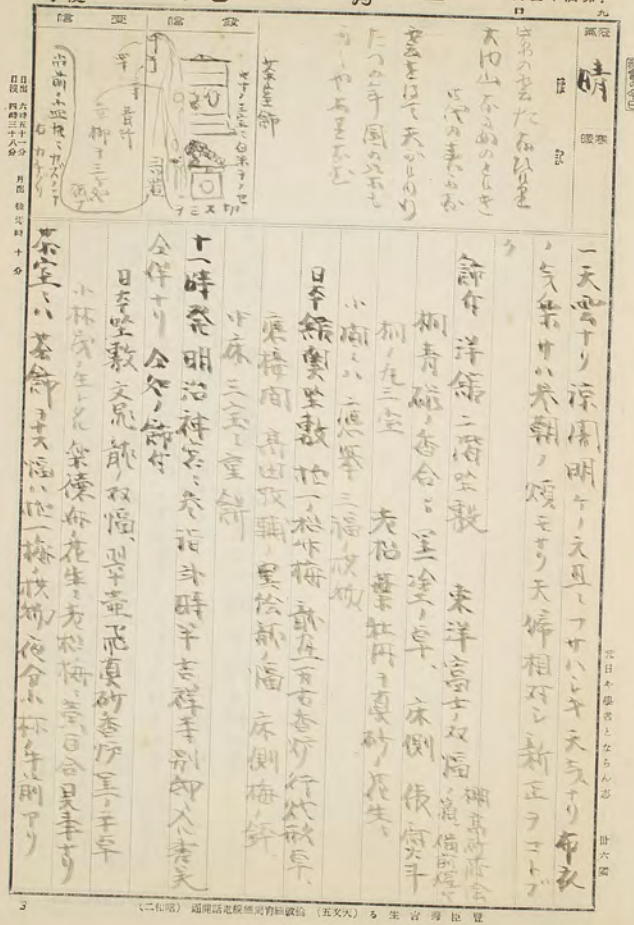
蔬菜　芹、小松菜、蜜柑、橙、林檎、若布、海苔。

外興

明治、伊勢雨神宮、鹿島神社、大黒天、毘沙門天、水天宮、其の他諸神社に遊覽が盛れて參詣するも第一とし、熱海、湯河原、伊東の暖地に寒梅を探りて正月休みを過すも面白い。消防出初、大相撲、初芝居、觀兵式の觀覽、二重橋に百官參賀の禮裝を見るも、よく、高燒滝濱に初日の壯觀を拜するも興深い。鯉釣り、兎狩り。鳥戸天神には古例のうえ替神事あり。逗寒旅行もよく、雪見物も風流の一として面白い。下旬より大寒に入つて六甲山、妙高山其の他のスキー場競技の人に聽ふ。

内趣

歌留多會。園葬。將棋。謠曲。茶湯。双六。和歌、俳句等の發會。薔薇、牡丹等の根接。桑、茶、果樹類の施肥。促生豌豆、菜豆、ちさ、二十日大根を温床に蒔く。蓮、葱、京菜、ほうれん草等の採取。



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

曇晴

午前十時半様すりこそ午後より晴天となり春美全葉小林すゝむ午後一時桑目動車にて戎川へ赴き大正天皇ご陵に参拝大ダルこと赴き金剛寺富士ノ絶景を眺望し休憩ノ後引返し清滝川にて下車ケーブルカーにて高雄山に登り洗禮と参詣し月下七十分往復し六時ノ汽車にて下山二十哩ノ道程を往返し七時半帰社せり

晴

天気晴良より休養ス

天候 晴 寒暖 昨日 今日

午後一時ヨリ壽美ト共ニ玉川若林氏之助男ノ墓所ヲ兼シ五時頃帰荘

正義五名ノスキー迎ヒ帰リ来ル夫婦ニテ洋行前書帯ノ件ニ付中々タノシク夜半ニ及ブ今人ト金弐百円外ニ此ニ助入営ノ餞別五拾円ヲ授ク

朝晴のつめたき風や弓始　月杉

天候 晴 寒暖 昨日 今日

休養夕刻郊外ヲ散策ス

正次今朝八時ニテ帰神ス壽美ヨリ帰近況送ル

くもり日の岩山遠く冥に関せこ変生に見ゆる初冬の色　佐佐木信綱

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

十一時発自宅ニ立寄リ服装ヲ改メ十二時十五分ニ社
係ヨト新年ノ笑ヒヲ交ハス四時半退社
帯蓄音器ヲ中春、俊、和ヲ伴ヒ帰宅
夜分年始ノ客ヲ迎ヘ慶祝ス
箱根帰着ノ旅員ヨリ土産トシテ小林ヨリ松茸、松本帰
ヨリ帰ル松茸ヲ貰フ 其ノ小林ノ父喜太郎氏昨
夕逝ク今朝病気快復ノ祝杯ニ来ル

天候 晴

十一時半ニ社ニ出夜京都ヨリ帰ル兄ニ社ニ社長ニ年始
ヲナシ
朝日新ノ社ノ幸郎氏来訪
二七川、奥村赤星、小石武男、御古澤川兄
四時半退去

天候 晴 寒暖 陰晴

午後一時寿美会道 松屋ニ集キ三昔及良一座ニ而家治慶祝宴ヲ見ル夕テニトス 数五ノ賞牌ヲすし 帰途 九ごでしまニ立寄リ 松屋ニテお昼ヲタベル 直而ト三人東洋軒ニテ 晩餐ヲトリ直而ニ会レ 而人星川竹田氏ヲ訪キ 夜ノ雪話ヲ賜フ

一金千山葉下 繁部品弁天之図 五百円

一金五村葉 柳江益吉之図 百円

一雪男葉 砧 五拾円

一華月雪ノ画賛 三拾銭

外ニ画家五人書メリヲ奉ス

会所ヲ土場島天神下 黒沢高岩方ニ立寄リ而已ノ改革ヲ依頼ス

一文民年竹ヲ庭鳥ノ幅ヲ頼ム

一春日大親下ノ日ノ松戸

一船戸井上 紋ノ書画 一巻之ヲ書ニメリ

若山牧水

とうノ川筋の清水神の国の路沿白梅咲あまた出づ

天候 雪

社会の全日

朝十時 坂本中間斜 徐建設会ノ件而而諸及ビ系統改革而田氏 秘書 鎌山政之初而人名山ホ氏ヲ訪金依頼ノ為 来訪 旧職 武田秀雄氏ヨリノ処 而名前ニテ金五千円ト ヨリトノ事ニ 其相違ヲ述ベ武田氏ヨリトス

三時ヨリ社ヲ後 某所男ノ家庭事情処ニ訪ニ新年ノ礼ヲ述ブ

社ヘ出職中 飛ハ現在ノ内規維持ノ度ヲ今一応奏ヘ之ヲ申し 而金サセタシトノ事ヲ其意ヲ会ス 青木氏ニ相談ニテ新春集会ヲ催ス

被民協会 鶴川ヨリ招ヲ受ケ会ヲ出ル

西岡竹次郎氏来訪 五時ヨリ会食ヲ

帝着ヨリ春佳氏来訪

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

武田香雨氏より来状
昨日今橋中業者
乳とれん金杖先と会
より次の如き
・三五午内ト木田相
談ありと

今日ハ詳細外ニ凝シ朝十時寄日指揮被仰
ノ見本ヲ持参ス十一時四十分去社

午後社長ヨリ本年ノ収支決算ニ付説明アリ
今一時内外倶楽会ニ列シ ハンドレー
百万円、エンゲル物四五拾万円 テイセンス獲得
ニ付支出ヲ差引ク

午後三時、白仁三郎船社長来訪 仔来ノ業務ニ付打合セ

一大阪事務所ヨリ
一相南洋行ノ海機構会社(三百噸)貸入代金
午百四拾利貸金 借入ノ件
一山一商店ヨリ百万円ノ 預金ヲ大阪ヘ送金ノ件
一八幡ヨリ之ヲ聞メニ出来ニテ大阪ヘ送金スル
トシ二八幡ヨリ之ヲ送ル可シト依頼ス

四時廿分退社 五百圓ヲ小切ニ切替ヘ 田島ニ渡ス 山ノ権利
金ノ支払ニ充ツル為メ

正午ごろトロー来餐
送別会日併会散
浙

午前寺島おそれ
京坂実業会計
午後帰会浙

昨夜来風生スルリ陽春ノ候ト相リ 温度六十六度
トナリ今朝雨降
十一時五十分社
午後一時より本時半迄造船会社重役会
四時廿分退社 たびれより書美ト会食して 浙

晴 寒 暖

十一時廿分出社
午後一時半井上推二氏来訪氏郡会顧問依頼
ノ為未訪来意ヲ聞ケリト返答ス
七木村幸吉氏七人ヲ以テ村職ノ件ヲ来訪
午後三時帝劇ニ於ケル新年号会ニ臨ム 赤星理治
地久節共カヤ村長トシテ招ヲ一会ニ接ス之レ次ヲ
以テ招ヲ受ケシ最初ナリ
一渋沢十爵 式辞 二大倉喜八郎氏 懐旧談
ト陛下笑ヲ誘フ 三 未必甫氏ノ三菱村下話
渋沢十八番ニ年八十九歳 大倉氏九十二歳 速記七十四歳
三人ヲ以テ計百五拾五歳 我ト落首アリ
大倉渋沢及ビもかが当ゆ一生ときたや未だでた
帝劇楼閣代々木神殿神霊天日反、技術、布引ノ鎮守
三番叟等ニテ梅幸、幸四郎、六代目菊五郎、勘弥劇ヲ
神霊天日反ハ新田神社修理ノ資ヲ得ンガ為メ神官ノ依頼ニ
テ神楽ノヤラヌトテ予ノ作ニシテ大会会則ヲ始メ

山の端に盛の海の引あけて 其外に上る春の潮路 田鶴丸

晴 寒 暖

高輪邸ニ夫人新年
祝賀会

十一時半社務事会ニ於テ各会長ヨリ左ノ現行通職ヲ
内規維持ノ方法ヲ各会ニ於テ研究シ三月末迄
ニ其結果ヲ書面ヲ以テ申立様ヲ決ス
午後木村 未訪新職ノ不心得ヲ諭ス
五十名 岩佐家庭事務ヲ知ラシテ新年ノ午餐アリ 芳町芸人
ヲ始メ渋沢田辺三、隆徳恒次郎ノ両息、桐島田原 伊丹名
妓ヲ加ヘ田森星郷田其他ヲ以テ総合セリ
三時半退出久奈ビルニ立ヨリ氷川参拝ノ村衆
五時帰宅 寿美ハ再ビ新年宴会ヨリ六時頃帰
宅
夜分十時半大正ノ御代ヨリ終ニ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

天氣 曇 寒暖 ほゞ同じ 發信 ― 受信 ―

十一時半出社 長い鎌倉通ひもこれきりで山を社す
午後今井武介氏來訪 海外出來談合の件
未而顧問法律士として引續き勤務すべしと返事す 匿名氏
より電話あり 待て返事せよとの樣子 明日氏
より申越すべしとて三井へ向ふと 打合せあり
四時辰巳に歸宅
壽美の天下日三度宛夫人より帝劇へ招きてれるゆえ
斗時半頃より參上 丈庫四十五六名の芸者出
座 太神氏夏田氏等と共に午餐す

（五一餘井）（死歿安）（四永）

社會の今日

昨夜半より雪降りとし今朝二寸積り
午後に八浦へ千葉かへり天氣となりし 時々肩痛
夏より冬の方が好きなり

北窗白秋

その證明おしろいやけに悲顏泣く
赤銅の空の青さをとこ戀

布哇移民調査員見（一七七八）　警視廳警部補（明治七）　小栗孫太郎（大正一五）　社會運動者に付京大生八名檢擧（同）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 曇 雨 記

朝十時頃三本部氏来訪旧臘市城ノ日高氏并地知貫人着ト聞キ店ヲ休ミ二番座ニ権ヲ有スル事ヲ説明ス 懐之ヨリ清水氏ト社ヲ三吉氏ヲ加エ一部ト宮奈ノ休暇故障ノ為メ上京ノ旨ヲ以テ辞ス

内蔵次氏松山四五部氏ト共ニ来訪 前日ノ礼ヲ述ブ

午後五時帝国ホテルニ於テ三吉宮奈両家ノ結婚披露ノ宴ニ夫婦列席ス 三日会ヒシ主賓ト

来襲ベルリ浦賀ニ警ろ (安政元) 政友会分裂す (大正一三) 東京巣鴨百四十四戸焼 (昭和二)

天候 晴 曇 雨 記

十一時半社ニ長ト面会来周神ノ下向ノ許可ヲ得タリ

梅田秀雄氏来訪 演台援助ノ為メ今日説カントスルヨリ

坂本志雄 土佐ノ士族人主業 坂本勇公道

相談役依頼ニ来ル 差知ニ金百円ヲ贈ル

四時半退去帰途湯島切通ニ十七松山四五部氏ヲ訪ヒ不在ヲ知ル

新婚を賀ろ (元文元) フランクリン生ろ (一七〇七) ナポレオン生ろ (一八〇〇) 林又宮下御師御師 (昭和二)

受信	発信	至急	書留
雨 晴	無名会 消		

島根甘露寺雲水
信州松澤
島津忠亮ト甘露寺
錦小路
帝國ホテル午後五時半ヨリ帰宿

井上友一侯行状調査ノ為メ会合、会主ヨリ通知、来ル廿一日午後一時ヨリ銀行集会所ニテ

明ケ方ヨリ雨降リ初メタルモ三時頃ヨリ止ミタリ朝九時小林茂来ル依テ神戸行ノ旅費其他百五拾円ヲ受ク茂ノ会伴ヲ許シ尚第一下ノ一除雇ヒ置ク事ニ永栄ヘ就キ電話ニテ打合ハス

十一時半出社

午後二時半信託会社重役会ニ列席

会畢時帰宅五時半妻ト共ニ帝國ホテルニ赴キ島津甘露寺両家ニ倍加校長招待ノ宴ニ臨ム来着ノ数百五十名外大名ノ子弟ハ殿上人ノ末孫ト来賓両ノ勅奏ハ銀行ノ建キ下リ一昨夕始リ賑ハシカリシ宴ナリ小生ハ男夫人ト共ニ第一番ニ退出ス 傳

今朝由ヲ伴ヒ帰谷、許渡川遠泰伯ヘ赴ベシタリ

清水ヨリ会計ノ星野錫氏大典ノ会計報告ヲ附金依頼ノ為メ来訪

受信	発信	至急	書留
晴	消		

米穀取引所総会
宮島会来京会館
午後三時 渋

午前十時銀行重役会ニ列ス

朝八時小林茂来ル 会伴ヲ乗リ換ヘ神戸ニ赴ク

電話一一番 遭難ノ保証金受取ヲ支取ル

第ノ日ヨトハ相違リ彼ト途ニ度スルヒルモノカ

両人九時四十五分三等ニ乗行ニテ神戸向ケ立ツ

大橋新太郎氏ニ面会病気ノ為メ面会謝絶ヲ告ケラレ又ヲ面会ヲ謝シ十一時半社ニ直ニ

三菱銀行重役会ニ列席ス

午後二時半東京海上ヨリ火災保険会社ノ重役会ニ出ニ四時ヨリ東京会ニ於テ祝ヒ新年宴会ニ出席ス一應辞リ置キタルモ座中理事長ヨリ以テ切ニ出席ヲ乞フカメ六時頃迄列席

帝国会議先ツ帰宅催ス事ヲ得テ伯爵ノ通訳ニテ新橋驛ニ午前ヨリ理事長ノ挨拶ヲ申述ヘ相山太吉氏相ノ挨拶ヲ述ヘ

銀行は公園の如くに市りて自國の国旗を飾す 英國俚諺

どんよりと曇れる前のガゼらに驚た垂れ下る雲のかけれる 金子重輝

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨 今

朝来風強し十一時小社
午後一時半過より昔中斉場にて大橋新太
郎氏六女福子嬢告別式と会葬シ帰途庄田
テ庄司ニ立ヨリ洞愛二町半帰社
不在中公会堂設備費弐百円勧誘ノ為午込一
亜会後援会加名収入役ト共ニ未社外ニ歴程収
会入会勧誘ノ為メ森山雷太氏宿ヲ西条某
未社
五時新著ヲ携キ神谷行政係ノ招宴ニ列
ス筆文舞、踊、浦安ノ舞アリ会興ヨリ自転車ニ
ットラ十二座トセラル十時帰本
十時濱ノ武ト電話ニテ会見ヲ約ス

天候 曇 寒暖 昨 今

朝曇

昨夜来寒気強し朝八時半濱口旭章氏来訪
九時半能川芳介来訪
会計係初メ助来訪明夕神戸ニテ招待ス旨
貴ストテ百円ヲ受ク
十一時家庭主婦会ニ筆行用ヲ訪フ
午後二時社長庫ニテ二宅川氏ヨリテーセン紙
故障ノ件細ヨリ
筆行用ト社長ノ顧末ヲ社長ニ話シ置ク
四時退社帰宅
八時四十九分発ノ急行ニテ下神ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 雨 寒暖 昨日 今日

社會の今日

午後一時半沈川三菱銀行ト立会リ両替ヲナシテ
長田別邸ニ赴キ菜庭ヲ巡視ス赤坂ノ母ト五月
末ニ母ハ松丹植木職一人ト松五代ヲ興ヘテ六時帰
宿
午後七時五十八分三宮発ノ急行ニテ東上山下着
三郎及ビ一銀行支店長大沢氏ト会食ス正彦君
ヨリ真木健吉ニ萩奈喜六氏ヨリ送リ来ル

いさぎらは美めし宿と身なして
浮世の中にころげ生ばらん 蜀山人

天候 晴天 寒暖 昨日 今日

社會の今日

工業組合事務所

結ばば分散してもだ残りと
個金の穴へ銅をうめるなり

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖

朝九時十分半東驛着帰宅
紙川氏介久奈ト件ニテ来訪十一時辞ス十二時也社
本日正午朝鮮新政務摂総督ニ御就任ニ付御祝詞
来宗会総ニテ祭ヒ招カレタルモ旅行中トテ断リ
置ク池田成彬氏ヨリ電報ニテ件ニテ来訪
午後午ニ亜会議ニ出ス若収入役ト正ニ会計整理
等ニ付来訪自宅ニテ意見ヲ述ベ他ニ招会ニ非
ルヲ以テ一取敢ヘズ辞シ去ル事ヲ
紙川氏介再ビ来訪
五時帰宅
夜ヲ期シ日進相来訪久奈ヲ亜友会ニ入会勧誘
ニ付余ヲ紹ヲ求メタリ会式ノ久奈ヲ対スル意
向ヲ聞キ本人ヨリ招会ニ場合来相ノ間ヲ置クヲ可ト
認メ其ヲ以テ日進ニ答フ

天候 曇雨 寒暖

社會の今日

工業倶楽部新ヒ会合
記

十一時家庭事務ヲ執リ終リ林松ニ立ヨリ其ノ
新宿ニ面会
十一時半理事会列席
午後会社ニ出勤ス
帰宅ニ依頼ス
三時半工業倶楽部ニ於キ倶楽部ニ於ケル
評議員会ニ臨ミ新年宴会ニ出席ス
宅ニ帰リ直ニ
藤野松九郎来訪
寿美夜会

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一時半家庭事情ニ依リ帰郷ス

午後四時廿分ニ山ノ社ヲ発ス

山本千成之弐千円ト共ニ板本部長ノ住所ト其ノ十五六歳ノ子息ノ名前ヲ聞ク

夜ト共ニ大小二本ヲ持ス刀身ハ共ニ血ノ痕未ダ小刀ハ未ダ錆ビテ相当ノ人ヲ切リタル様ナリ

山本ニ帰リタル後ハ家ノ内ニ沈ミテ心甚ダ苦シケニ見ユ

午前一時廿分ニ池上政雄ニ会ヒ

斗時半朝鮮側ノ者ニ会ヒ

(以下判読困難)

十一時半三井ノ小林正直氏来訪朝鮮ノ件無煙炭ノ件ニ関シ種々話アリ

午後時十石川高部ノ件ニ付キ

午後四時廿分ニ社ニ帰ル

天候 晴 寒暖 記事

朝十時奥村に宿泊、長津江水電并電化会社設立ニ関スル説明ノ為メ来訪

十二時半中社小林中ヲ介シ三好小政ヲ引見ス

一時半鉄業会社重役会ニ列席ス

三時半竹男ヨリ電話ニテ家庭事務ニ付指図

三時半漁田会長ヲ見ル用件ハ校舎補助金陳情ノ事

書状

高木常吉ヨリ明日午後方地ニ於テ汗償表ヲ交付ス

四時半退出

天候 晴 寒暖 記事

午前十一時半ヨリ社

午後零時散会

午後一時半ヨリ本田、青木、三好、奥村、金等ヲ永政社長邸ニ会合社長ヲ中心トシテ長津江水電ニ着手ノ順序ヲ付懇談ス処アリ三好奥村ヲ大阪ニ於ケル其後ノ報告ヲ聞ク

午後四時半ヨリ本田、青木、三好、奥村、金等永政社長邸ニ会合社長ヲ中心トシテ長津江水電ニ着手ノ順序ヲ付懇談ス処アリ三好奥村ヲ大阪ニ於ケル其後ノ報告ヲ聞ク

午前十時散会

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



【春立つ】 藪かけの椿が鮮やかな紅を見せる。消えてはまた積る雪も次第に薄れ、片隅には寸ばかりの青草も見えてきた。子供がたまさかに打つ初午の村太鼓もどこかのんびりと、霜解けの泥濘を歩く人の話聲も陽氣に聞かれる。八幡の節分會には年男のX座○優がくるとかで町内は若い娘の噂とりどり、宵の中から境内は人垣を造つてゐる。散歩には少し寒い街にも、飾棚には鄙かしい罐が美しい灯に映えてゐる。

節分 四日
立春 五日（前十時十七分）
雨水 二十日（前六時二十分）

二月の異名 衣更着・早緑月
どもすれば法にまがひて惑ふ事に喩へ給ふ歟。

月相 ㊊滿月 六日 ㊋下弦 十四日 ●新月 廿一日 ㊌上弦 廿八日

雪竹 むら竹の雪に堪ふる、雪折、小笹、つるろおもひにうなだれがちの時ろ、閉なきわがこころ。置ちよんとろ、雪折、小笹、始雪はらへば起きる枝。

行事

一日 牧岡祭（河内）鵜戸祭（日向）・雛人形賣出始まる
聖燭節（豐後マリヤの御繪を出す）二日夜
節分（豆撒き・四十七士忌（法會を行ひて）
四日 正月事納・針供養
八日 湯島天神祭禮・太平洋繪畫展覽會（頃迄）
十日 紀元節
十二日 初午（本年は四日の午歟）・四條畷祭（河内）
十四日 深川八幡新年祭（十八日迄五日間參詣者）
十五日 涅槃會・西行忌・火焚（鹿嶋筑波迄）
十六日 日蓮上人誕生會
廿一日 西新井大師開帳
廿五日 天神祭・冥沖忌・法念上人御忌
廿八日 利久忌（茶人是れを行ふ）

○閉戸月に付親戚知友の訪問・文書の整理反古調べなどたなす。

衛生 二月標語 服裝の改善に考慮いたしませう。
流感・ひゞ等の豫防・喀血の手當。

季寄

時候 春の雪、淡雪、雪解、春嵐、餘寒、下萌、春淺し、青麥、春霞、霧、岩燕、鳥雲雀、魚上氷、つぼ菫、早わらび。花卉 梅、椿、寒紅梅、葉牡丹、水仙、迎春花、金絲梅、パピアナ、ガラントウス、アルボコデユーム、シラリス、瓦蘭館、蝶、鯉、目刺、淺蜊、鰯、鳥貝、貝の柱。小鳥、鳩。里芋、三ツ葉、蕗菜、八ツ頭、慈菰、うど、開ひ菜、文具。

外興 川崎大師、鶴見總持寺、淺草觀音、成田不動尊等追儺豆撒式見物、就中成田は參詣者最も夥しく、鐵道省では臨時列車を發する事普通である。寒明けて蒲田、杉田、久地、吉野、遠くは水戸、月ヶ瀬等梅によく、蒼色の野に鶯を聽くも閑雅の趣き深くしてよい。東京六大學、京都伏見、大阪靱草山等初午祭參詣。上野には太平洋繪畫展覽會あり。天神祭賑ひ、鑛市雜沓する。たなご、若鮠釣りの季節。

内趣 鶯の飼養。香會。盆石。桔梗、石竹等宿根草花の移植。天女花、芍藥等の根分。多年生植物の挿木。促成蔬菜類の灌水、施肥、移植。花園、菜圃の整地。

晴 寒暖 雜記

今日の今日

發信	着信	受信

朝八時半濱口より電話來れ
十一時半十分家庭事務所に於て用ヲ訪ヒ打合セ處アリ
午後三時十分仙石貞氏來訪
今晩坂本一氏來訪
昌吉ノ會次回家庭事務所ニ開會ヲ訪ヒ五分半歸宅

雪を取りに沈む城下町 監務

東京大阪間電話通報（朝三三）（夜拾二）朝鮮總督府總督官房（阿九三）山縣公爵去薨公縣（大正一一）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

二月二日 戊寅 十 旧正月一日

晴 一級寒

朝十時殿下侯夫人来訪正次ノ後補着トシテ陸佐
陸太郎ニ代ル 申ス ノ事実面会

十一時半六社

午後一時木村清太郎氏ノ紹介ニテ志地慶正氏
来室志太郎氏被勤ノ件ニ付意見ヲ述ベラレ
明石ニテ変ヲ見タル大
室ニ会シ其後主ト外
三月到着

六ヶ月カカリヤモ

東海道電鉄出願ノ件 武来訪詳細ヲ聞ク

午後一時木村清太郎氏ノ紹介ニテ志地慶正氏
来室志太郎氏被勤ノ件ニ付意見ヲ述ベラレ
明石ニテ変ヲ見タル大
室ニ会シ其後主ト外
三月到着

六ヶ月カカリヤモ

東海道電鉄出願ノ件 武来訪詳細ヲ聞ク

社長ト重役会ヲ招キ
注意ス 処ヨリ社長事由、青木、三件、及会ヲ招キ
テ状況ニ就テ聞ク 社長ト重役会ヲ招キ
注意ス 処ヨリ社長事由、青木、三件、及会ヲ招キ
テ状況ニ就テ聞ク 社長ト重役会ヲ招キ

山時長生涯一輔ナル病気ノ為メ近衛陸相ノ官舎ニ葬
ヲ営ム 相ヲ為シ 官舎ニ葬
ヲ営ム 相ヲ為シ 官舎ニ葬

花咲かば心あだ浪きて行くべしと
沈みがちなる身をばいたはる 野村旭鈴

二月三日 戊寅 十 旧正月二日

晴 一級寒

発信 電報 郵便

受信 電報 郵便

十二時半社

三井銀行ニ行ク 用事ハ会社ノ事ニ来訪シタル

志村氏ノ紹介ニテ来訪シタル 代理ニ行ク 志村氏

三井ノ団武来訪ノ通知アリタルモ郵船ノ重役会ト
ノ時間ト件郵船ノ帰途ヨリ相談スルトノ事ニテ
レ郵船ノ重役会ヲ終ノ菊地春三氏負傷生伏ノ為
社債千五百万円募集銀行団武ト会談ス
ト契約締結ノ件ヲ見協ス
三井会社ニ支ヨリ団武ト会談ス

一日六社済銀関ニ係ル件

一銀会ニ出席ス 建築ノ件

一東海道電鉄ニ関スル件 加入

一海外移民協会ニ出席ス 断ル

五時終ル

夜九時頃ヨリ秀雄氏来訪 種々ノ事ヲ談ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 曇 雨 雪

気温 朝 昼 夜

社會の今日

発信 受信 受信 受信

今朝美介其後ノ報告ニ来ル昨ノ通リ田中首相ハ久泰ノ滞在ヲ懇望後返返ト言ヒ頻ニ留リ不得止トスルモ久泰ハ針峯会社ノ職ヲ辞シ帰郷ノ決心ナリトノ意ヲ以テ辞退シ浦神ヲ辞セリ

十一時ヨリ征岡氏ト訪談ヲ約シ久泰ヲ社ニ残シ報告ニ来ル社長ニ代リテ征支ノ湯川氏今朝面談ノ顛末ヲ報告アリ

午後二時ヨリ招キ吉地氏（郡日来訪ノ報アリ）ヲ待ツモ来ラズ吉地氏未訪ノ為メ相談ハリ其旨美介ニ告ゲ

吉地氏未訪ノ為メ相談ハリ其旨美介ニ告ゲ

夜分美介再ビ未訪ニ付迎ヒニ久泰辞任ノトリツギアル報告アリ

青苔に残雪消し寺の屋根　露光

天候 曇

気温 朝 昼 夜

社會の今日

発信 受信 受信 受信

午後より夫津吉祥寺ニ至ル午七時半帰宅

夜分桂知県ヨリ帰香ノ際ニ来ル不在ニ付帰ル

書字は余白を活字組の間に置かず孤田に接を納れず季下に疑を正さず　文潤

豊玉姫薨去の遺詔眉を眉能遊郭を禁ず（明治三）　日露講交断絶（同三七）陸軍大将神尾光臣氏逝去（昭和二）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

曇

夜寒り川風

一介ノ住人ト成テ夫人敗血病ニテ逝リ夫人ハ大
吉夫婦ノ妹ト成テ宗氏ノ夫人ト成ル以下欠ク

今はただ色うるほれつ身うたへつ
小鳳に似たり鮫の鳴聲　生白庵

晴

瓜生ト
ニ後裏下医師ノ来診ノ上リ瓜生ト幸リ

一分の災二分の福で後家の亂れ髪。
あきらめのよろしい女後家をさして言ふ。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨夜

発信 受信

社會の今日

朝来雪

夜八時半久保房二助、茅介、政輔前後シテ来ル談想ノ通リ房二助鉄業会社脱退ニ付未練ヨリ病床ニテ反省涙半ス十一時ヨリ雪ニ成リタレ共木ハ融ケ切ラズ

古手紙よりの思ひ出五年前はかほど親しく交はりしかな

石川啄木

天候 晴 寒暖 昨夜

発信 受信

社會の今日

夕茅介来ル自宅ノ階案トシテ房二助逝ト二枚ノ字ヲ書ケガスト立言スルヲ笑ヒ乍ラ断ワリ

午前雄七郎ヲ訪ヒ其ノ帰リ茅介ニテ長断ノ話ヲ聞ク

時今仁作ニ助死ヲ明日告別式ニ通知ヲ持ス

此朝小林茂久芳神戸ヨリ帰リ来ル

あぐり見る柳絮紅梅の碧浅し　五口

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 最低 最高

朝食前 来訪 田中首相 頼りと会トノ会見取持依頼
ヨリ 如何スルヤ 不諾ニ来ル 依テ方策ヲサツ
午後ヨリ社長木村氏ヨリ昨日住友湯川ト小倉、大庭
ヲ ト会見ノ模様ヲ聴取シ次テ社長ト面談ス
長文ノ件 鉄ノ買 後ニ中座ヲ発シ 志村書記ヲ
供ヲ依頼ス
今仁ノ会ニハ 香典ヲ贈ラズ書生ヲ代理セシム
四時帰宅セリ

[illegible]の窓ちらと光りて筑川の
ほとりの春ぞみそめけり 金子鷹園

新日本五年十年来の大雪、関越境越二雪積雪六尺五尺地帯出雪（昭和二）　冀日本五年十年来の大雪、関越境越二雪積雪六尺五尺地帯出雪（三昭三）

天候 雪 最低 最高

雪トナル 北天荒い 降リ

午後 斎藤 来訪 首相ト二日夕会見ヲ求メラレ来ル返
答ス 勝田 痛シ
三井、成田、白石ト十六、十七日夕招待ノ断リナス

家に帰り労働きゆゑるこころよき
妻子の顔にほこりたるかな 和田山 蘭

帝国憲法発布（明治二二）　会議開催章程創設（同二三）　米議第二国際軍縮会議先提案（昭和二）

天晴 寒暖 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

天候 雪 寒暖

欠席 遅刻 早退

日誌

社会の今日

昨夜半より今朝しかけ積雪り十二時之社
午後より晴 別紙上田兵吉(ヲヒ)二男勝丸を養子願
之入右依頼ノ為来訪 三夏八軍ニ大家ト宿ヲ用
候ニ付此ニ附ス 依テ之ヲ返シ赤星地所部長ヘ
御渡シ置り
社長明日ヨリ一週日休暮ヲ以り告
置候間左様ニ
午後より会社 設備費九金三百円 着附申込

天候 晴 寒暖

欠席 遅刻 早退

日誌

社会の今日

昨夜強風ノ為メ安眠ヲ得ス毎暁ニ起リテ眠リ十
時過ニ十二時十五分ニ社ヘ出会今朝依暮寺参ル
毎朝ノ如ク職会出、暮本倉庫会長奥村雄平
及赤星地所部長ヲ引見ス
三七川高知手会長ヲ引見ス
四時半頃ニ直ニ上田ト共ニ共栄倶楽部ヘ大宴会ノ賛
ヲ祝シ且ツ支援ヲ依頼ス夫婦縁并ニ経済ニ
校相談ト茶話ノ為行マシキヤトノ事ヘリ帰会
セバ丁度ニ寿美夫人来訪会食シテ帰ル帰ル寿美小林
氏ノ見合ニ会ニ三郎ニテ此実縁一纏(七二円)ヲ
貰ヒ受ケリ
椅子開書ニ返書ヲ認ム

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	受信

天氣 曇 晴

五葉葉蘭吳人

漸

十一時半今出社

午後二時半秀島川伴 澤川旧宅 城別邸 親

森し四時帰社後し島居政し 寿き新築中ノ

社長本邸ニ手ヲ羽寄松喜役ノ工業内ニテ

内旧兄 二時半帰七

夜十時ノ父介来リ 十一時半今辞去

喜美いて校リ 四半 習度七半校し来聞

發信	受信

天氣 曇 晴

白石ラ七氏ニ交ス

同七半今日五名

来京会談ノ

漸

午後七時半自宅

春田三井八分発門

十二時半社

午後一時 住支理事小倉石頂氏ノ上京ヲ送メキ

氏ヲ 住支支店ニ訪ニ長陳ニ於ケル当ニ方ノ意

仰ヲ述ベ氏ノ意見ヲ聞ク 住友ハ全ク株ニ全

然ニ異ス今様ニモトヨリ 石氏ヲ 不ス

ヨリ試業ノ意ヲ有セスト半ヨリ

本日ハ公私ニ客多ク社長ノ意ヲ内密ニ

委長スルヲ有利ト、ス 三井ノ三理事ヲ

招キ会見ノ 園玉ヲ停ク

四時半帰宅

坂本誠馬ノ 佩刀ヲ小共用度ノ

相違ニ件理ニ 氏ヲ介ニテ

依頼ス二十月頃石越ス可

ハ内ニ仕上ノ筈頼リ喜ハ用度帝ニテ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

社會の今日

十一時半十分出社
十二時工業倶楽部ニ於ケル事務理事会ニ
臨ミ御大典奉祝文奉呈并献上品ノ件ヲ議
決シ服部金太郎氏ヲ其委員ニ推薦ス
其後倶楽部ニ於テ支長北内宗一(三十九円)
全郎梅ノ短冊ヲ求メ若松ノ短冊ヲ入懸物(
六枚五円 雲龍ノ大幅(松七円)ヲ購入
(四四五十銭)ヲ支取リ短冊ノ分ハ吉祥寺ニ持参
ス
四時帰宅寿美会遊吉祥寺ニ走リ帰宅小松
ヲ伴ヒ散歩帝室ニ赴ク 撃ス

子ども知識の遅れる者を嬉まず其劣れる者を憐む サートマス

屋島の戦(文治元) 陸軍軍二等設置(明五)

天氣 晴

社會の今日

午後小松ヲ伴ヒ寺時十分金ノ散歩ヨリス
藤野松ヲ訪ヒ来ル
夕食小松ヲ伴ヒ遊樂ノ為金五十円

一の札所二の札所記の續の
語の聞きたいと思ひでる 若山牧水

吉野藩城(元弘三) 大國主八重垣を結ぶ(天保八) 鋳物師十郎兵衛(寛永元)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨比

社會の公白

發信 受信 各信

朝濕和ナリシモ十時頃ヨリ風アリ 十時半吉祥寺ニテ十一時半ヨリ社

午後一時ヨリ同志会社宣伝会

一臨水橋一本販賣 鮮魚ノ件 林秀賢ノ床屋ニ

一岩城セメント一本販賣ノ件

一在見埋立地落成ノ後拓殖部ト買收ノ件

午後斗時半ヨリ三菱信社宣伝会 矢月ヨリ信社

當カ拾四百カ円

四時ヨリ拓殖 午迄ニ拓内ニ二撰挙所ニ立ヨリ 普選ニ一回ノ投票ヲ民政党瀬川支部ニ於テ式ヲ以テ面識ナキモ三本ガ支援ヲ快トセルヨリ

天候 晴 寒暖 昨比

社會の公白

發信 受信 各信

十一時半ヨリ社

長田片山ノ両山ニ到着踏査 八百八拾六円也

此ノ内 本月廿八日ノ六百十日間日当斗ニ三人分

割合ニテ 利下補償ノ分ヲ差引 金七百六拾弐

円ノ内（二四三ノ内）ヲ住友銀行横川支店

ヨリ小切ニテ受取 帰社 神戸支店ヘ送リ

午後斗時 砲兵大佐 柳沢信式 被着式ニ

行ノ件ニ付 高岳氏ヨリ来訪 未坊 金伺ヘト

ニテ 余ノ署名ハ三菱関係ノ

誤解ヲ招クヲ以テ 断ル

土居真次来リ 撰挙ノ情報ヲ聞ク 四時半退出

夜分ニテ 書類ヲ整理ヲ終リ 百十一名ノ内 五十

八名ハ民政党 四十名ハ政友会

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 計 晴

會合の時日

信友 信友 信友

十一時半ヶ社
與大風本ヶ社計畫ヶ圖ヶ画銀行ハ松迫方神戸ニ
養銀行支店長ニ依賴シ其旨ヲ村岡栄作ニ通知ス
午後四時ノ日々ノ号外ハ民政得ヒ一七ヶ二政友八十一
民政前優勢ヲ保ツ
久拿ノ得票未ヶ七位ヒリハ郵ノ余リ其ヶ内ニ世未ヒ
多分ヶ清ヒ理生ヲ乳ス彼レ根松地ヶ夕刻ヶ世ヶ
ヲヲヶヶヶヶ帰任ヒたにヒヶヶリ奉天ヒ後刻
自宅ヶ事ヲ過ヒ帰ヶヶ直ヒ新兵衆ヒ当ヶ丁外会
ヒ列ス田中省相ト 内相鳩山書記官長ヲ除ヶ内
閣ヶ々集ル会スルモノ二十六名普機ヒ装集ヒ政友ヒ安
セス前田米井（活動大臣）ヒハ斗百十五名カトエフ久拿
最高ヶ機ノ報到ル大時過退出

あかあと夜空たこ山焼は
鉄父の山かけに出こえる　高野敏雄

天氣 晴 寒暖 計 晴

會合の時日

信友 信友 信友

十一時銀行重役会

十一時半十分出社ヶ共ニ夕食ヶ共ニ帰来ヒ社
午後ヶ
三時頃ヒ田中相ヶ来訪ヶ来ヒ七日午後十時大阪
ヒリ会合ヲ約ヶ
四時半退出たにヒヶ時ヲ移シ五時半工業倶楽
部ヶ於ケル後援会ヶ出席ヒ前田米井ヒ共ニ
午後ヶ
帰京ヒ直ヒ帝国ホテル会ヶ出席ヒ田中氏ヲ始メ
後援会ヶ打ヒリ疲労ヒヒ見エ井ニ早ヒ引取ル
翌二日午前十時半ヒリ前田米井ヒ共ニ
主催ハ倶楽部ヶヒ
午後ヶ
帰京ヒ直ヒ帝国ホテル会ヶ出席ヒ田中氏ヲ始メ
後援会ヶ打ヒリ疲労ヒヒ見エ井ニ早ヒ引取ル
翌二日午前十時半ヒリ前田米井ヒ共ニ
前田氏ノ観楽談ヒリ九時退
散

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	受信	發信	受信
晴			

和母へ送金

十一時四十五分ヤ社也社前白仁郵船社長来訪
社長、池田成彬未訪ノ趣ニ付直ニ電
ヲ發シ時事新報記者ト會見セル旨ヲ
セルインゼントヌス件并ニ南米郷ヒ
四時退社帰宅
此日本郵船會社中預ケ叔母家計費百圓
ヲ送金ス

本鉄官を東京に移す（明治元）　ゾエルダンク敗戦捕虜収容所開設（大正六）　山縣有朋大将陸軍元帥に昇進（大正七）　国勢調査施行される（同一五）

發信	受信	發信	受信
晴			

十一時五十分ヨリ社長津水電ニ付社長ト会見ス開
ハル社前津郵近衛師団長官邸ニ会ヒ
車同ジホテ
午後三時半根岸大正社会部ニ赴キ会式死
ニ一車同ジホテ二ツ遺骸ニ合掌ス
四時帰宅夜寒ヲ衝キ共ニ祥子別邸ニ往

普通選挙請願（延喜五）　富豪女を支那人に貢ぐ事を禁ず（明治五）　憲法発布恩赦（大正一）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 暖寒計

發信 着信 變更 消信

天滋暖ニシテ神気清快ナリ

午後原田甘太郎氏来墓敷地ノ事ヲ談ス（西夏（侑）成養子ニ貰ヒ九時歸去

天氣 晴 暖寒計

發信 着信 變更 消信

四ツ半西原何ノ一ノ下女ヲ以テ招ク仍テ今夜出會ノ約束ス夜半時ヲ

野村裏一氏来ル柏泉、仔友話候

午時四十五分皆祥ヲ生ス十一時四十分出社明治生命保険会社地ヲ卜ス値段ノ社決ス裏ニ居ル事ヲ聞ク裏ニ居ル事ヲ聞ク裏ニ居ル事ヲ聞ク裏ニ居ル事ヲ聞ク

午後四時半ヨリ雨ト成ル大ナリ小ナリ列ヲ為ス雷鳴ス

人間の誤る大なる罪は愚なる知あるにあり 福澤諭吉
© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

大正 戊辰 二月二十八日 (上弦 後零時二十一分)

天候 晴 寒暖 記事

朝九時半本山白雲氏来り高村光雲氏上世未学校卒業前後ノ事蹟ノ大略ヲ聞ク 余ノ午後出勤ノ為メ途中ヨリ分レ帰ル

午後一時半本山白雲氏来ル 金子圀一郎ノ肖像ノ件ニ付キ打合セノ為メ

午後二時半小石川大六天神境内ニ大江枕太郎氏ノ別荘ニ会シ打合セノ為メ青山学院ニ津野院長ヲ訪問シ面会ヲ請ヒタルモ不在ニテ空シク帰ル

午後五時白雲氏来リ会シ高意ヲ謝シ帰ル 夜ニ入リ白雲氏来訪 金子圀一郎ノ肖像ノ件ニ付キ打合セノ為メ

寿美枕川ニ帰ル

送信 受信

社会の今日

(欄外) 新しく設置なる道路に沿ふて植ゑられた並木の若葉が日に日に濃くなつて行く

(欄外) 金子圀一郎

(欄外) 貴族院議員互選(明治三一)・大阪松島遊廓移転事件起る(大正五一六)・第二次西園寺内閣軍部大臣現役武官制を決す(昭和二)

62

水曜 己巳 二月二十九日 (戊辰 二月 大)

天候 雨 寒暖 記事

社会の今日

送信 受信

十一時半本山白雲氏来ル 金子圀一郎ノ肖像ノ件ニ付キ打合セノ為メ

午後一時半本山白雲氏来ル 金子圀一郎ノ肖像ノ件ニ付キ打合セノ為メ

午後一時ヨリ斜堂会社重役会ニ出席

午後三時半田原藤吉氏来訪 金子圀一郎ノ肖像ノ件ニ付キ打合セノ為メ

午後四時小石川大六天神境内ニ大江枕太郎氏ノ別荘ニ会シ打合セノ為メ

午後五時白雲氏来ル 金子圀一郎ノ肖像ノ件ニ付キ打合セノ為メ

(欄外) 国旗掲出ニ関シ休日ヲ定メラレシ当初ノ趣旨ニ鑑ミ今後ハ単ニ祝日ノミニ掲出スルコトニ改メラレタリ 文部省

(欄外) 大久保利通暗殺(明治一一)・禁中宮女の提灯の印を定む(明治三)

63



動物園の雀　桃の節句も過ぎると、緑に落ちる日ざしも日ごとに永く、温む野川の水には早くも目高の走るのも見え、堤の青草も緑を増してくる。好晴の日曜あたり彼岸桜も綻ぶかと老人の公園に杖を曳くのもあり、子供引き連れた一族の三々伍々動物園に繰り込むのも多い。氷嚢の水を切る羽搏きも心地よけに、孔雀の金の翅をひらく白昼も長閑だ。さすがの獅子も牢のなかにゆるりと睡入つてゐる。

行事

一日　雛なます・蛤子山鳥猟禁止・帝国大学記念日・鮎漁禁止・上巳節句・雛祭（女子の節句として祝ふ）
二日　義士切腹忌日
六日　地久節
七日　摩耶詣
十日　陸軍記念日・金比羅大祭
十三日　春日祭（天智天皇）・八専入
十五日　梅若忌（梅若丸の墓前にて能楽を奉納）
十八日　宇佐祭（豊前宇佐八幡宮の祭礼）・池上本門寺開帳（廿四日迄）
廿一日　六阿彌陀詣（廿四日迄）
廿四日　社日
廿六日　仁和寺高僧講讃・大師詣・大石忌・春季皇霊祭・神武天皇祭・神道春季大祭・庚申
廿七日　各学校春季大休暇
廿八日　北野天神御忌・蓮如忌・聖母祭・甲子（納米市）
廿九日　各学校卒業式
三十日　品川子供競漕祭
已日　（学齢児童の入学準備・中学校の入学試験・室内装飾の模様替・遅咲の試しめ・又住宅内外の清掃去る行事。）

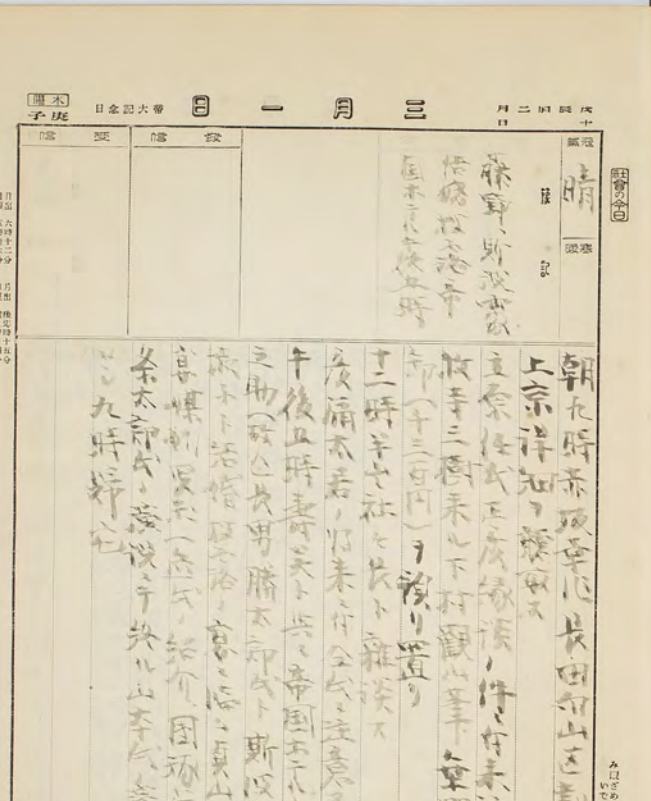
衛生　三月標語　はかりを各自の家に備へませう

時好

季寄　時令―春雨、春木、遅日、陽炎、緑遊、春の海、春の山、春の宵、朧月、朧夜、永温む、霞、若草、嫁子、陽炎。花―木蘭、海棠、春蘭、辛夷、木瓜、桃、杏、梨、金縷梅、山茱萸、瑞香、まんさく、李、木蓮、フリージヤ、アネモネ、アラセイトウ。食品―飯鮹、鰆、肋鯣、白魚、さより、蛤、赤貝、蜆蝶、三月大根、分葱、京菜、鬢餅、草餅、菜飯、木の芽田楽。

外興　大師詣で、金比羅詣で或は軽風に吹かれて郊外の春色を探る。草摘みによく、菜の花見物によく、一二輪綻びた彼岸櫻に興ずるも面白い。市川、野田、越ケ谷、大阪倉治等桃花見物。標草咲いて浮間ケ原遠足の人に賑ふ。安行村植木の遊覧、彼岸中六阿彌陀詣で旅行の季として京、大阪、須磨、明石、或は紀伊、大和等詩吉の旅に上るも興深い。

内趣　音楽―茗会。園祭の招待。盆栽の手入れ。草花の培養。鑑賞。寒菊の根分。金蓮花など草花類の播種。茄子、胡瓜等温床に播種。蚕、甘藷、豌豆、蚕豆等の施肥。



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 少雨 寒暖 計 晴

貸借の今日

貸 借 預 金

空も春雨ノ如シ十一時五十分出社理事会ニ入ル
列ス
午後一時社長、大会若干ヲ開ク旨ヲ告ゲ開会ヲ宣ス
案ニ対シ高橋是清氏ノ弔詞ヲ朗読シ是清氏ノ霊ニ対シ黙禱ヲ捧ゲ
式閉ヂ次ニ理事ト共ニ写真ヲ撮ル
社長ヨリ送ラレテ帰社
四時半頃出デテ帰宅
夜分清水辰三郎、牧幸三郎ヲ伴来訪高橋
氏ノ霊ニ弔意ヲ表サン為メ依頼ス

鳴りを鎮めて見る山目前　貞子

新種皇太子誕生（特殊切手九番発行）　文官ノ礼服ヲ洋服ニ改ムルコトス（明治四）　衛生組合規定制定（昭和二）

天候 晴 寒暖 計 晴

貸借の今日

貸 借 預 金

朝牧幸三郎来ル潤ノ処ノ観山堂桜数本剪リ
度キ旨ニテ高橋是清氏ノ霊ニ三百ノ入札ヲ依頼ス
十二時半社
生社会社事務田村氏来ル相談シ新築会社
株式引受ノ件ニ付意見ヲ述ブ
午後五時退出妻ト共ニ東京会館ニ赴キ八木
令嬢結婚披露ノ宴ニ臨ム伯爵浦渡新渡
島両氏ノ会ニ列席ス
介ノ様子記念ニ対シ余ハ一金ヲ代リ依頼スルヨシ
三月三日附ノ為メ住所ヲ聞キ取ル新郎
相撲ハ午ダケトラヘテ社会ハ余ノ意味ノ
相撲場ニテ新婦ノ許ニ帰ル様ノ許ニ帰ル
事ニ有倍ヲ礼ヲ述ベ宴ヲ大関相撲ヲ終リ
未社会ノ模様ヲ語ニ大関ヲ帰ル時半
帰宅

鳴りを鎮めて見る山目前　貞子

始めて合衆国と通商条約を締結す（嘉永三）　井伊大老桜田門外ニ於ケル（万延元）　第三十四議会（昭和二）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

午後二時半頃、妻十男許へ通夜、後二時頃、羊子特急帰途田島にて下り、栗又（坂下町）より坂下（二軒目）地一ノ布代表（後出川）まで送り二時半帰宅。

今正午正次神戸より来れ外出中なり打合せすむ。

久振りにて二人夕飯を共にす。

春の夜の物さびしきしらべかな　佐伯末吉詠

天候 曇

今晩より雪降り七時迄降る。正次川向中野佐平様より来り泊りシトシトとふりそそぎ降りつゞく。

十二時半社長本宅へ帰る。

午後一時頃より会社へ行く。

住友より来る。

社長ト囲碁ス。

五時帰宅。

正次ハ本日社長ト囲碁（海外）ヲ打ツ様ナリシトヨリ。

夜半迄雪降リ。

力なき筆といへる猫が思ひの外に筆をうごかす　浅草市人

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

寒暖計

記事

發信 受信

此日本ノ空ニ名残リ晴レ相光ウラ・カヽリ 開十時
牧手容奇業月下拓郎ノ端ヲ待ス又高橋ヒ清
年ヨリ入札ヲヤリ他ニ九円ト
ヲ思レニ枚円値ヤヲ落ヲヤリヤヲヤリ 他ノ
頼ヲ山場ヒセヲ瀬瀬世ヒ下国ニヨリヨリヤリ 御楠
ノ川新ヒノ指六枚ヒ円ト合計金百八枚ヒ円ヲ支拂
ヒ林茂祥ヲヒ張ヤ祢費百圓ヲ成ス
ヲ二時家在手前ヒノ礼ヒ坂本ニ心成何ヨリ祥
開歡迎ノヤ教会ヒ添ニ一時ヤ合出社直ヒ貴郷会
紅ノ宝祝会ヒ列席ス
ヤ後ヨ時ヤ社長ヒ前橋君ヲ合ヒ頂戴長ヲ成ス
世時半正出ヒビルヒヲヤリ右ヒ青漬供賀会ヒ陪
ヒ集ヲ阿ノ音楽ヒヲヤ四ヲ買訪ス
ヤ朝夫村利之ヒ晴休業ヒ止ヨ時代ル歌合ヲ未ル
坂本ヒ心成ヲヤリ玄開催ヲ共ニ帰開ヲ祝ヲニ未ル

天候 晴

寒暖計

記事

發信 受信

ヤヤ梅ヤ十暖ヲヒアヒ心里秋田ヒ神ル
ヒ一時半ヒ紅ヤ歓迎坂本ヒ面談
ヤ後三時ヤ朝沿ヒ部式ヒ道無機械ヒ有
指ノ件ヤ未済
世時半正ヒ
夜ヒ時泉川美介未済ヤ後リ頼ヤ歓合ヲ
刺
国楽協済研社会ヒ国楽協賛高飛百門ヲ支拂ヲ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝れ將棋對局ノ為今夕長田ニ寄リ可シトテ来リ
仍テ金櫻買入貰トテ金百円ヲ林茂ヨリ受ク

十八時五十分出社
昨月分納品ノ為メ未済ノ件ヲ社長ニ話シ置ケリ
今村商會ヨリ新ク
本社ヘ轉仕洋行ヲ命セラレタル由ヲ聞ク
社長ニ挨拶ス
寿美矢寿命日ニ付染井ヘ墓参ス

十八時五十分出社
城堡会社主教後任ノ件ニ付社長ト協議
仍テ協会社ニ於テ新聞ヲ読ミ居リ十時頃帰宅
明日ハ教会ニ於テ心祝ノ執行アリ内村成神ヲ始メ
各組ノ役員ハ勿論一般信者ハ自分ノ賛成ヲ得テ
下ニ集ル筈ニ付テハ大ニ骨ヲ折ル事ナリ
ソレ以外ハ何ノ事モ無カリシ

五時退出工業倶楽部ニ至リ室内体操協会ノ会合ニ出ル
仏教同志、山地ノ名家ニテ出来ラレ
モ仏者ハ少ナキ由ニテ会長ハ社長ノ長男ニテ
今回ノ如キ一同ノ歓ヲ尽スハ始メテノ事ニテ
ホントニ楽シキ一夜ヲ過ス事ヲ得タリ
来京、今ニテ二十五年目ノ祝ヲナスト云
今新年中村役員ニ六時中ニ退出

突然なる物音ある事なれば遠近の人々は驚きて
その原因を知らんとて騒ぎ立つ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 雨 寒暖 昨日より

午前十一時十五分 銀行倶楽部ニ於テ渋沢、坂谷両子ノ催シニカヽル文科大学内ニ新ラシク設置ノ科ヲ卒業シタル者ヲセードスルカメノ費用ヲ募集スルノ会合ヨリ朝日ヲ除リ松林楽人村ノ個人賛成ノ大部分ハ皆賛成セリ 午後四時ヨリ松本重太郎氏ト松本ニ於テ一時半ニ社ニ内話スベキ筈ナリ 午餐ヲ共ニシ一時半ニ社ニ帰ル 右ノ次第ヲ社長ニ報告ス

午後四時半頃ニ

この頁はこのかたにおさむしき
番頭ニそは隣りいでにけり 林小雪

天気 雨 寒暖 昨日より

午後三時東京美術倶楽部ニ於テ九谷白八郎氏ノ壺其他ノ観覧会アリ 帰途某氏ヲ訪ヒ氏ノ病気ヲ見舞フ 短冊良作アリトノ事ニ付キ

撲様面白カラズ 当人死期ヲ予知セシ人ノ述ベシ通リ

古稀の祝のみどりも杜守の翁 榎貴子

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	受信
曇 寒暖 晴 記事	

ケプ夏祭後援會
夜ニ樓祝賀會
工業俱樂部
午後六時

發信	受信

十二時出社
午後一時家庭ニ歸ル 務ヲ執ル 午後ニ
實家ニ行ク 福岡 母並ニ妹文ト 本年ノ濟ヲ
祝ス 正午ス
午後五時半工業俱樂部ニ赴ク 俱樂部ノ
幕末ノ候補 二十五名ノ 坐ス 大橋先ノ 祝ス 即
幕末ノ候補 二十五名ノ 坐ス 大橋先ノ 祝ス 即
八久宮殿下ノ 歳ヲ 午後 二十三名ヲ 祝ス 政友會ノ 玲即
ヨリ各自 座ニ 着ク 五席着ク 十三名
ヨリ各自 座ニ 着ク 五席着ク 十三名
ヨリ各自 座ニ 着ク 五席着ク 十三名

晴 暖

朝七時半起床 洗面 朝食 太田素行氏ノ病ヲ往訪見舞
メ隣国方面ヲ散歩ス 十時前帰宅

午前十時半山口豊次宅ニ仲ヨリ伴ニ来リ夫婦
ノ病気ヲ見舞フ 久シキ半ヲ坐談ス 午後一時半ヨリ
三時半川崎工場ニ会ヒ 引続キ銃木剛氏油工場
ニ至リ午後四時半ヨリ

九段美術倶楽部ニ名士慰労会ニ臨ム 夜ニ入リ
帰宅 晩餐後 喜寿氏ニ夜伽ヲ勤ム

富士山頂火口（九一頁参照）　ゴーキーリー生ル（一八六八）　（四一頁）　（完）

晴 暖

朝九時半自仁郎社長来訪 安田ニ自ニ
桃竹ノ葉ヲ貰ヒ 内孫ヲ抱キ 庭ヲ一巡シ
ウワフ四方ヲ眺メテ 一日ヲ洋行ヨリ帰宅ノ
件ヲ相談ス

西園寺次郎氏来訪 疲労ニ来ル

十一時五十分ヨリ社銀行協会後ノ宴席ニ列ス
午後一時青山ニ着 午後三時十五分
ノ発車ニ乗リ帰宅 直ニ入浴 食事ヲ終リ
直ニ就寝 夜中数回目ヲ覚ス

武田氏ヨリ 坂本中尉銅像
ノ写真ヲ贈ラル

吉松海軍大佐ヨリ 衛藤少将ノ銅像
ノ写真ヲ贈ラル

古市公威氏来訪 来春南極ノ風景ヲ見ル
ニ就テ度ニ注意シ 写真ヲ示サル

午後六時半ヨリ 銀行倶楽部ニ於テ 地理協会
六十五周年ノ会合ニ列ス 九時半帰宅

（二和唱）　通同一カルプーク山登歌　比叡登山ヲ歌ヒ　（寛永一〇）　す著講談師田第、講談師へ部来ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半社
正午ごろ仮寝より起き打合せ今日は葬儀
十一時半社
井上準之助氏葬儀
午後一時半より武田松之助氏葬儀
今三十分位より会社に於て来前史内地発覚人の件に付緊急打合せ
二時頃より
帰途

天氣 晴 寒暖 昨夜雨

記事 記事の今日

朝ハすり盛和すり朝れ時、牧幸来ル、容春ノ庶山
又松一鳥ノ二階入札美値ス
ノ時半壽美ト共ニ幸祥寺ニ赴リ、金次神宮表
来道ニ面シ浅野侯爵分境地ヲ視ル、日午陽処
ナキ値段ナシ
幸祥寺別御門ヲ隔テ前井ニ庭内ノ紅梅八見
事ニ咲ケリ、豊柳崩芽シ、万作ノ花最盛ナリ、椿
ホゲ彼岸櫻ノ蕾ヲ綻ヲ始メテ春ヲ彩ルヲ近シ七時半帰
宅

河津の芝生にをれる蓮華草
節章上り君を抱いてゐろる日　與謝野　寛

天氣 晴 寒暖 昨夜雨

記事 記事の今日

午前十一時半社
午後相撲祝賀ヲ兼ネ青木邸ニ於テ宴ヲ開ク、会スル者
次ノ如シ、其他ノ会合アリ
午後四時半過ヨリ王子ニ於ケル桜花ノ観賞ニ赴ク、会スル者
黒川氏ノ如シ、其他ノ会合アリ
午後相撲祝賀ヲ兼ネ青木邸ニ於テ宴ヲ開ク、会スル者次ノ如シ、其他ノ会合アリ
午後四時半過ヨリ王子ニ於ケル桜花ノ観賞ニ赴ク、会スル者
黒川氏

大正 己未 三月二十日 成立二十九日

晴 寒暖

午前十一時半十分出社
午後も何かより社長ト会食会社ノ理事ノ合合ヲ
リ開鮮水電地処買入費拾壱百円ノ議案ヲ松東
カ門ヲ支出ノ事ニ決ス
会食ノ者ハ三村氏ト注意ス
午後四時三十分川氏ト会食山口ヨリ来ル
ツ
七時ヨリ帝国ホテルニ於テ松方侯夫妻ノ為メニ
リ午前ニ三十分川氏六十ノ達ヲ祝ス
ヲ招キ夫ヨリ食事ヲ供シ数枚ヲ回リ八重ヲ代ル
テ何モ代ル代ル午前ニ三十分川モ亦カツギ
タルカナ

社會の今日

84

晴 寒暖

午前有田ノ今朝今ヲ訪問ス
午後二時立原佐氏来訪
夜十一時頃明朝会見ノ事ヲ申来ル九時

社會の今日

春分 前五時四十分 戌 大正 己未 三月二十一日 成立二十九日 申 庚申 酉 辛酉 戌 亥 子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申

天候 晴 寒暖 晴 曇 雨 記

社会の今日

設 信 発 信

朝九時半起床 天気晴朗 暖気春の如し 午前十時半出社 十一時半社倉庫の定会に列席 各委員前会決議の件 金(拾万円)を以て三菱川商事会社より精糖工場 昔日設置の申込有之 寄留人ハント返答ス 主旨貿易未だ 社友ハント対談 金曜ノ夕刻入浴ノ途ニ 張り手代買ニ 出逢 共ニ帰宅 夜食ヲ認メ 就寝ス

十二時半 社倉庫の定会に列席 各委員前会決議の件 金(拾万円)を以て三菱川商事会社より精糖工場 昔日設置の申込有之 寄留人ハント返答ス 主旨貿易未だ 社友ハント対談 金曜ノ夕刻入浴ノ途ニ 張り手代買ニ 出逢 共ニ帰宅 夜食ヲ認メ 就寝ス

午後二時 安倉 定会ニアラズ 仮会 臨時議会 被為開 其筋 呼出 三百人ヲ目途ニ 造り 改正 仮条例 外国交際ニ 関スル 一款 国際 航海一万噸 以上 船 許可ニ 関スル 件 審査 委員 九名 内 五名 ハ 在京 ニテ 不参 ニ付 補助 委員 ヲ 以テ 代ル 事ニ 決ス

午後二時半

晴

社會の今日

大祝祭日 公園音楽堂ニ於テ東京倶楽部ノ例会アリ午前八時半頃ヨリ出会ス

午後三時ヨリ倶楽部ノ例会ニ出席ス 永坂君ノ発起ニテ玉川堰ヘ行ク 帰リ来リシハ夜ノ十時ナリ

一時ヤ社ニ於テ会食ス 松方家ノ養子ニ行キシ君ノ弟ニ当ル人ナリ

四時ヨリ倶楽部ノ例会ニ出席ス 而シテ会席ニテ模様ヲ披露ス

十二時下業倶楽部ノ例会ニ出ス 大祝祭ニ付休業 奉祝準備委員会ニ出席ス

晴

社會の今日

公午前十二時半ヨリ倶楽部ノ例会ニ出席ス

午後ヨリ晴

朝晴ヤ後ヨリ曇リ強風吹ク

午後三時頃ヨリ雷雨一過来ル

今夜九時半銀川茅ノ事来ル 久保氏ヨリ月会見ヤ

今夜ヨリ中橋前町ノ模様ヲ披露ス 十一時辞ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

午後七時半歸宅 新川堂介君招宴 久保田譲君 頼母木桂吉君 頼おう君

八雲流し 十時半寿美会 直通卸売社

午後一時久楽ノ件ニ付望月圭介氏(逓信大臣)来訪 首相ト会談事 余ハ政治ノ裏面ニ関シ 信吾ヨリ首相ニ対シ 女子ノ服装ニ関シ 首相ノ妻ト信吾ヨリ 首相ニ対シ 久楽ノ立場ニ関シ 首相ノ妻ト信吾ヨリ 首相ニ対シ 久楽ノ立場ニ関シ 首相ノ妻ト信吾ヨリ

松村及小松行一郎氏来訪 競売ノ件ニ付来訪

午後三時ヨリ五分寿美ト共ニ仔犬ヲ連レ 散歩ス

午後六時 新井堂無名会 集リ会食ス 幹事ヨリ

午後六時 新井堂無名会 集リ会食ス 幹事ヨリ

社會の今日

十一時半ヨリ社

社長室ニ寄リ 帰宅面会

位右衛門一ノ町水産社債借替ノ件ニ付来訪

福泉錦次郎氏ヨリ 佐志紀介状持参

西村理事ヨリ相続税ニ連帯ニテ 会社資産

評價ノ模様ヲ聴取

午後三時ヨリ 来客面会 来客次第

午後三時ヨリ 来客面会 来客次第

午後八時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前九時五十分二宮驛着再發途上車中ニテ仮
眠ス午後一時半國府ニ到リ直ニ入浴後仮眠
正午醒午餐後長田ト共ニ小林商会模様変
更相談ヲナシ七時近ク旅館ニ帰リ七時半
帰宿ヨリ夜前ヲ續ク

午後一時長田ト別レ土佐ヲ視ル五時半正ニ汽車ニ乗リ
帰ル乗上ノ旅費四拾圓ヲ投ス
七時帰宿九時二十分ノ特急ニテ西下

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

受信 発信

清水行き乗船
来る会談後出発
新

若松来屋宅会合
下刻十一時

朝八時半下ノ浜着 発木庶事支店長夫部宅庫
支店長 庭船次席 国司浩介 鈴木(二郎) 若松
支店副長ヤトノ迎ヒヲ受ケ直ニ市司ト後リ発木若
松副長ト共ニ若松ヲ十一時ヨリ開会ノ若松案
港会社ノ宴会ニ臨ミ種々ノ話ヲ交ヘ到リ先ヅ 鈴木二郎
発木智一ヲ訪ネ伴ニ銭道ヲ市司ト帰リ発木自車
支店長青地郵船支店長ヤトノ迎ヒヲ受ケ 新栄ノ郵
船支店ヲ一覧ス 木次郎

午後七時青地中村ノ郵船正副支ボンベイ出仕リ途次ヲ
ルボンベイ支店長国司浩介外在門ノ社員古名ト晩
餐ヲ共ニス

非難状て為る為るからず 森子

後深草上皇綸旨師清(正應三) 村田銭叡明(明治一三)

天候 晴

受信 発信

若林達共ニ若
木来る会談五時
ヶ合ヒ夫ヨリ迎国
赤島

朝九時国司浩介来訪談話数刻ニシテ辞ス
午後二時共ニ貝島太市夫人訪ヒテ前ニ四時帰
宿
発木夫部両氏来リ晩餐ヲ共ニシ九時二十分発リ
特急ニテ東上ス両氏外郵船ノ正副支店長国司浩介
赤島庭船次席ト貝迄リ帰リ

人間の権利に関する宣言は、われらの生れながらにもつ自然権を、われわれ自身と子孫のために、確認するにとどまる。 堀江邦夫

始めて請願権に依り会を行ヒ(天福四) 皆稱者ダーカートル生ル(一五九六) 郵便貨幣通運関係開通(明治七)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



京洛の春　鉦の音が花吹雪の石段から石段へとつたはる。三十六峰の東山を前に泉水に散る連翹の風情を愛でながら、智積院の廊下を踏む眉美しき若僧のあとについて山樂の襖絵の前に立つ。老木の横にさし出した烟漫たる櫻花の散りも厭もせず。四百年の昔の夢を宛らに、かゞやかな桃山の春を偲ばす五彩の筆の痕を見入れば氣も豐かになる。夜は南禪寺の松林、夕月のかゞやう邊りの鐘の音きけば恍りとなる。

月事

一日　各學校學年始・大和祭（大祭）・五月人形賣出始まる・萬愚節
二日　松尾祭（由緒）・平野祭（由緒）
三日　神武天皇祭・梅宮祭（由緒）
四日　廣瀬祭（大祭）・龍田祭（大祭）
六日　泉佐寺義士祭（二十日間）
八日　灌佛會（龍谷大學・佛教大學・種智院大學）・復活祭
十一日　吉野花會式
十四日　壬生念佛（二十四日迄）・香取祭（下總）・日吉祭（由緒）
十五日　聖德太子祭・平安祭（由緒）・建部祭（由緒）・綠祭停止
十八日　東照宮大祭（上野）・諏訪祭（諏訪）・入鹿忌
廿二日　伊弉諾祭（淡路）・多賀祭（多賀）・孔子祭・潮干狩（深川・本牧・金澤）
廿七日　尾山　祭（金澤）
廿九日　天長節・觀兵式・外務大臣官邸夜會
三十日　靖國神社祭（廿九日より三日間）

○月初の隈を寒き處は四國邊を改む中旬より關西特に奈良は夏の裝ひ出づ。

產　生　春蠶掃立始まり日光祭。

四月總論　動物や植物を愛しませう。

季寄

時令　鰆魚、蝶、百千鳥、春の雨、ゆく春、鳳形寶出始まる・萬愚節
呂、雉、猫の戀、芒の芽、櫻もち、花の雲、花吹雪、春晩、夏隣。**花**　櫻、春蘭、草、櫻草、紫荊、九輪草、小手毬、山吹、矢車草、紫蘭、薄華草、鳴鳴草、礎草、ヤキシス。**魚鳥**　櫻えび、櫻鯛、車蟹、蜂、蛤、さはら、あなご、いか、鰻、三ツ葉、蓮根、にんじん、若布、ひじき、莢布、茅萱竹、田芹、莢豌豆。

外遊

雲雀總き、わらび狩り、或は運動會、遠足等遊樂頗る多い。花に滿開して上野、小金井、飛鳥山、多摩川、荻川、吉野、嵐山其の他の名所衣香傘影に滿つる。潮干狩に具を採るもよく、鐵樂裝潛に勝敗を爭ふも面白い、都踊り、廣邊節り、島原太夫道中の見物、又東都吉原の夜櫻江戸の面影を今に傳へて雅俗の遊覽に賑ひする。はや、なまづ釣り。祭禮には義士祭、花祭其の他數あれども靖國祭は全國民に由緒深くして最も賑ふ。

內庭

花見に人を招ぐ。小鳥飼養、鶯啼合會。音樂會玉菜、落花生、除蟲菊等の播種。楊梅、石楠花、木蓮、柑橘類の移植。薄荷、蓮根、芹、料理菊の根分。花壇及び釣物の施肥。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午後一時半長田と約キ遠二庄ヲ過督ス小林ハ今朝植辰ト共ニ新川ニ赴キ船内ニ在キ昨年迄ニ庄右ヱ門ニ検拾弐ノモノ代金ハ持込其他ヲ合メ三百五六十円位アリトノコト仍買入ル事トス

六時半宗盤花瓶ニ赴キ鋳者式ト暁家ニ帰ル例年梅内斉藤ニ巻拵ノ為メトリ九時半帰宅

午後ハ長田ニ於テ会合ス式ト打合セ長田ニテ会合ス仍山橋界ヒニ隣地買入見合ノ事拾ニ置ク合計四日ノ夕敲ヲ始ム

京都の者酒を禁ず（寛元三） 長慶天皇御位御考證の功勞者八代諸侯氏族（大正一三）

朝雲リなし正午ヨリ雨降リ出ス止ム事ナシ時曙レタルモ急ニ来ニテ長田ニ赴キ赤坂亮ヒテ伴ヒ自動車ニテ明石ニ往キ加茂並吉ニ宿ニテ川村両名ノ周一福（四十五円）ヲ茶ヒ雇ヒ合（五円）ヲ躍ニ外ニ五々ヲ与ヒ作井ノ花生（五十銭）ヲ購ヒ来ル恵福ハ長田ニ止ム翌ヲ夜分夜叛ヒ物語ヲ来ル暁翌食ヲ為ス天

旁吉小田原城を開む（天正一八） 豊光寺御墨化（延寿院） 明治天皇東京都遷都（明治二）

天候 曇

社會の合日

午後一時 宇松川又右ヘ 松井嘉幸 及ビ前ニ述ヘシ 長田 森下二事ヲ 議シ六時半歸宅

今夕 栄之丞 也、 並船ノ御右、船舶ノ宇川高幸ノ 松井、銀行ノ高木 今井、 村奈保陵ノ 八ツ

ヶ根キテ 飲養ヲ 共ニス 今朝歸神ニ 及ビ 正義 組 設研究ノ歸途 立寄リ 食膳ヲ 共ニス 正義 支度

ノ一部トシテ 三百円ヲ 與フ 外ニ 本日 赤坂ニ 出立 西月

ノ 会長料トシテ 百円ヲ 及シ 置リ

新ニ 貿入セル 小三ノ 鳥ノ 右ハ 波名ヘ 持込シ 帰リ 全

部 室 堂 ニ 拾五十 銭 新川 波斗 百五十円 運搬賃 八拾円

梱 辰ノ 銭 斗 拾五円 計 参百 拾五円 ヲ 支拂ヒ 為

金 弐百円ヲ 小林 我ニ 渡ス

各 部 長 一部 及 波吉 西氏ノ 母 堂 死去ニ 対シ 弔 慶ヲ 表

ス

たゞひとり都路の朝風より
設け出でて来し君をこそおもへ 吉井 蕙

（四阿）宇鏡宗時源頼（元治）朝私地を造る（元治）宇鏡宗時源頼北（元喜延）川徳（七安弘）宇鏡宗時源頼朝に戸水こし宿を死の宿す（明治）前に戸水こし宿を死の宿す 100

天候 晴

社會の合日

午後一時 長田 森下 来訪 並ニ 當石ヘ 松ノ 家

ヘ 植ヘ 宇風 加入 ヨリ 五時半 歸宅 七時五十二分

三高発ノ 急行ニテ 東歸 正義ノ 外 保木 幸次 御

右ノ 造船正副長ト 松葉 喜八 氏 見送ラル 車中ニテ

田中 隆二、 幸次 ノ 両氏ト 会合ス 御歸見物

ノ 宗都ニ 泊リ 翌朝 帰宅

會庫支部人 田中 金三 勘氏ハ 長田ニ 余ヲ 訪ハシメ

こゝわざに誘はぬ宿の玉椿
ひくまでもなきのち露ひきに戸

十四日第二九

永井志津 海軍を超す（安政安）太政官 認を後行す（明治九）勝選挙の憲法制定（同二六）

101

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴　寒暖 [illegible]

朝九時半分中央驛着直ニ赤坂ニ行キテ一泊翌七日午前九時半ニ社ニ出ル

[illegible]

[illegible]

[illegible]

社會の今日

晴天

昨夜の雨

近頃ノ好天気ニヨリ春ヨリ延テ郊外ニ出ツルモノ無慮百五十万人ト称セラレ殊ニ昨日ハ一日ニ十万人ヲ超エタリト称セラレ甚タシキハ前日ヨリ徹夜シテ押掛ケタルモノアリ

病院ニ機上ヨリ

午後四時青美ト合葉湾洋水地ヨリ上水道ヲ下ル所ノ山岸ニ機ノ巳ト一廻リセシモノアリ三十分間位トライブシテ帰社ス

社會の今日

晴天

寿美子夫人ヲ訪ヒ午後ヨリ帰社ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

昭和十年四月十日

午前六時半起床

朝九時半出社

午後一時半より本社重役会

午後一時より株主総会

会社重役会

会社重役会

午後一時半より株主総会

午後一時半より株主総会

午後一時半より株主総

社會の合白

発信	受信	変更	発信
晴			

十一時半社各務議長ニ代リ船木書記官長登庁ニ付キ内閣官制改正ノ件ニ付キ内閣官制改正ノ件ニ付キ内閣官制改正ノ件

天氣	晴	發信	受信	受信
寒暖	昨より			

社會の今日

十二時七社
午後郵便物来る 松田氏より招キ八巻ノ自工夜実作
午寝ル
山下金三郎氏八宮ゆかし川越桜杉ヲ来ル
四時頃去
夜分牧寺来ル 恐キ大福餅ノ来贈（五十個）ヲ
貰ヒタ
寿美神戸より午代来ル 庭園ノ変化ヽ符キ居シ
ソリ

山吹や戸を引きあふて水浅し　蕪村

高杉晋作挙ヲ（慶應二） 光孝大皇ノニ皇設置（明治八） 帝國共和國となる（大正一）

天氣	晴	發信	受信	受信
寒暖	昨より			

社會の今日

武井野吉来校
（午校ヲ午ヲ休ム）
所

朝九時半午頃ヨリ午寒暖ヲ午ヲ伴ヒ自分ノ周
祐ヲ郵便ヲ使用セラレ校ヲ来ル
午後一時ヨリ祥ヲヲ四時小金井観桜ノメ直
田ヲ伴ヒニヒヒ出カケ入ル 除 後藤夫婦病室次
男ト会ヒテ散駆ノ途ヨリ花ヲ園内ヲ廻リ
小梨ノ後相伴ヲテ小金井堤ヲ到ル 堤ノ洋水池
ヨリ車ヲ捨テ徒歩 花毒散花ノ群集ヲ 雑ヲテ
金井橋ヲ到リ歩ヲカヘス 十余町ヲヒテ迎ヒ来ル
ヒ相分ヒテ帰社 茶ヲ飲ヒ直ヲ帰宅ヒ 所リハ
時前将花

噛きとめ額の太鼓聞と家で
節の窓灯ヤ床になる　加藤楓花

病死の因人に刀創を試すめ事を験す（明治三）日清和講和条約成る（同二八）費水戦沈没佐久間艦長以下殉職（同四三）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一時朱十分壽美神ヲ祭リ歸宗 小林滿七公
伴歸宗ヨリ下リ右神中ノ榛構ヲ外シ社
務所ニ入リ 加藤知事ノ催サレタル
高知縣人ノ午餐會ニ臨ム知事村長ノ挨拶
案ノ如ク會ヲ終リ 知事來
ル廿七日ノ衆議院總選擧ニ關シ
左ノ如キ談話ヲ發表セリ
一、全般ノ投票ハ公明ニ行ハレ
立候補者ハ平等ニ機會ヲ與ヘラレ
ルベキコト
二、投票ハ各人ノ自由意思ニ基キ
絶對ニ干渉ヲ加ヘザルコト
三、開票ハ正確ニ迅速ニ行ハレ
ルベキコト
四、選擧ノ結果ニ對シ不當ノ言動
ヲ爲サザルコト
五、以上ノ諸點ニ關シ違反者ヲ發
見シタル場合ハ嚴重ニ取締ルベキコト
ヲ期スル旨ノ談話ヲ發表セリ
午後二時ヨリ高知縣立農事試驗場ニ
於ケル高知縣農會主催ノ農業講習會ニ
臨ミ講話ヲ爲シ 知事
午後四時ヨリ高知縣立高等女學校ニ
於ケル高知縣婦人會主催ノ婦人講習會ニ
臨ミ講話ヲ爲シ 知事
午後五時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後六時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後七時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後八時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後九時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後十時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後十一時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後十二時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事

天氣 晴 寒暖 昨日ニ同ジ

午前六時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後六時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後七時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後八時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後九時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後十時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後十一時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事
午後十二時ヨリ高知縣廳ニ於ケル
高知縣會議員ノ懇談會ニ臨ム 知事

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝九時半中川邸ニ於テ総会ヲ開キ、出席者左ノ如シ

何事モナカリシ由

一、本社一時南米拓殖会社ヲ二回ノ協議会ヲ為メ工業倶楽部ニ於テ開キ、未決ノ儀ハ来ル廿日ノ総会ニ譲ル事ニ決シ、尚ホ本社ハ来ル廿日迄ニ資本金ヲ募集スル事ニ決シ、尚ホ本社ハ来ル廿日迄ニ資本金ヲ募集スル事ニ決シ、

一、

日本仮病院総会ニ於テ吹奏会ヲ催ス事ニ付テ打合ノ為メ午後六時ヨリ大坂ヤト大坂ヤニ於テ会ス出席者

（出席者ノ氏名）

朝九時ヨリ山ヲ白雲氏来リ逗留ス

十一時来宗海上保険会社ノ保険会社ノ打合ノ為メ

役会ニ於テ十二時半ヨリ常置委員会ヲ開キ大川

半三郎藤田謹一両氏来リ午餐会ニ列ス

半時半ヨリ社

郵便汽船及ビ鉄道会社ノ業務ニ関シ重ナル

変更ヲ通知セントテ青木氏ヨリ通知書ヲ送リ来リタルニ付キ取締役会ヲ開キ

其ノ通知書ヲ朗読シ且ツ之ニ対スル答書ヲ発送スル事ニ決ス

五時四十五分頃ヨリ大会者吉八郎氏（宗像）ノ

来訪ニ付キ病気ヲ見舞ヒ且ツ帝国ホテル迄モ送リ

ホテルニ於テ木村林次郎氏ヲ始メ数名ノ紳士ヲ招キ

晩餐ヲ饗ス

食後ニ於テ三名ノ紳士ヲ招キ撞球ヲ始メ

十二時頃ニ帰宅ス

（出席者ノ氏名）

本社ニ於テ松宮敬、鎌田治吉氏ヲ始メ一般ノ社員ヘ午後ヨリ

（出席者ノ氏名）

日本倶楽部 佐近木倶楽部 社会の今日 明治二十六年 四月二十一日 晴 雨 午前 午後 午後 午後

天氣 大雨 寒暖 晴 雨 計 昨日の今日

午前会 新井栄吉 午後六時断

夜来の豪雨午ヲ過ルモ尚ホ止ミ止ミより晝ハ休ス午過下リ漸ク晴ル寒中ノ感下リ三時午餐ヲトリ居ル折柄辻ヨリ葉書ニテ壽美、春ト共ニ下山六時半ノ汽車ニ搭乗ス仍テ留守ヲ賴ム旨申越ス八時半新宿着直ニ乗ジ八時四十五分帰宅ス

天氣 晴 寒暖 雨 計 昨日の今日

昨日来ノ大雨今朝ニ至リ漸ク霽ル

朝九時校手ニ樹来ル武井家壽美ヨリ午ニ直注文ヲ受ケ十一時四十分之ヲ直ニ社長ニ対面（昨夜箱根ヨリ帰京ニ付）一南米拓殖会社創立株募助人トシテ五千株引受ノ義承諾ヲ得タリ

午後今福田衛氏吉松氏ノ紹介代理トシテ坂本甲周西士銅像建立費御寄附金五千圓受取来ル（小切手ヲ以テ直ニ吉松氏ヲ以テ送金其ヨリ領収書ヲ受ケ置ケリ）

鐘紡取締役福来八郎氏ノ紹介ニ南米拓殖株引受ノ件ヲ確メ来ル（橋仙取締役ト其旨取極ム）

朝鮮俊哲新設務振興池上四郎氏ヨリ金弐拾万圓ヲ明夕六時山口ニ招待ヲ受ケシ旨申込ム

晩ニ半風出大倉喜八郎氏ヨリ帝劇ニ招待ヲ受ケ（七ツ二出ル）ニ行ク海ニ乗リ帰宅寿美吉祥手ニ往ク

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

宮内省
主馬寮

天候 晴 寒暖 [illegible]

社會の合日

設 [illegible]
受 [illegible]
設 [illegible]
受 [illegible]

[illegible]

朝六時起床 洗面 朝食 [illegible]
十一時半 [illegible] 社
午後一時半より社長 西本部ト自分ノ [illegible] 議会
午後五時山口ニ到リ池上朝鮮政務総監ノ来ルヲ待ツ 九時半 甘藷業 [illegible] 福士来ニ [illegible] 両人ト [illegible]
其ノ来ルヲ次ノ生田内務局長（青三郎）林拓殖 [illegible]
（長樹）倶ニ [illegible] 臺湾 [illegible] 長（高代）水田 司計 [illegible] 長（真宗）
（三郎）山本 [illegible] 局長（秀雄）[illegible] 業務局長
青木、[illegible]、三好、[illegible]、松田、[illegible]、清水 [illegible]
三十余ノ九人也 小 [illegible]、[illegible]、[illegible]
河井 [illegible] 次郎 [illegible] 後援会 [illegible] 三年 [illegible] 金 [illegible] 百五十 [illegible]

[illegible] 後援会 [illegible] 送金ス

破れた窓にふるえながら入りたんぽぽの
白きをふめば柔かげにけり
北原白秋

天候 晴 寒暖 [illegible]

社會の合日

設 [illegible]
受 [illegible]
設 [illegible]
受 [illegible]

朝十一時出勤ノ途次池上総監ヲ訪問セントシ [illegible]
[illegible] 留守ニ付入リ後為民政長ニ面談 [illegible]
[illegible] 不在中ノ残ヲ [illegible]
午後一時 [illegible] 半会社宣伝会ニ列ス
松村竜太郎氏来訪 [illegible]
島村 [illegible] 氏ニ依頼ス
午後四時半 [illegible] 共ニ江口 [illegible] 氏会見 [illegible]
次ヲ [illegible] 結婚 [illegible] 茶ニ帝国ホテルニ [illegible]
下村宏氏ニ [illegible] 対シ内田康哉伯ノ [illegible]
来ル仙石貢氏ノ [illegible] 対スル干杯アリ 余ハ江口氏ノ
親友タル [illegible] 要セラレテ新郎ノ [illegible]
[illegible] 五百余人 [illegible] 会ニ [illegible]
[illegible] 六時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寝室 晴 雨 曇 欠 陽 英 陰

朝茶野松太郎氏来ル 明後日陸軍准尉卯吉
設計ノ為メ箱根ヘ参リシ件 電話貰受ケ宮ノ下茶
ヨリ午ニノ下郎使ヲ以テ 十二時ニ社
午後一時ヨリ株式会社 航空機会社ト改名ノ件
会ノ列席ヲ依頼ス
夫村利之来ル 松村ト打合ノ上話シ置リ
実業世界ノ寄事 又々後動相
談ヲ済リ置リ 五時帰宅
午ノ人不手ノ色アリ
澤著三井ノ有力氏ヨリ明政会ノ土産ノ産業振
興ノ一件ニ付意見ヲ求メラル 設置民政党鵜飼幹事ノ件ニ
再度電話アリ

寝室 晴 雨 曇 欠 陽 英 陰

朝十時関寛氏江ヨリ来ル 社ヨリ自動車ニテ
ニシル 横松ト来ル
三時ヨリ社
午後二時ヨリ 株式会社室役会ノ列
会立ル 工業倶楽部ノ役会ニ臨ムヒト 来ル来ル
後リ
会ノ件 池田成彬氏ヨリ祝ケル 時局談会ニ臨ム
大川内ニ赴ク不在 三垣栄村、水野、備ニ、各数、
情況及会ノ次第リ 十時半散会

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 晴

日仏会社理事会
午後 議会ヲ復開
井上角五郎入会ヲ許ス
竹工業倶楽部ヨリ
十六時守社 正夜上京ス
午後 戸村利之来ル 工場ノ地ヲ仲裁
裁判ヲ依頼 情実ヲ以テ
五百円ヲ以テ 譲ル見込ナリト
午後 野大舎吉八郎ノ告別式ニ
宅ニ 会葬者ヲ
午後四時半 吉祥寺ニ
吹伏ニテ 解散

天氣 曇 寒暖

本日天長節ニ付 新帝始メテノ観兵式アリ
近藤真一氏来訪 正夜ヘノ餞別ヲ持参ス
夜ニ入リテ正夜来ル 由紀子縁談未タ進歩セザルヲ
両親ノ意向ヲ伺ヘ一応此際打切リ事ヲ談合ス
栄寿松丸帰来リ 箱根ヨリ知改造伴ヒ
諸々茶菓ヲ出ス

晴

正午前七時ヨリ工場視察ニ出ヅ
十時五十分吉祥寺発ニテ出社 寿美ハ昨夜疲合ノ為
果トシテ藤田ヨリ先ニ千葉ニ帰ル 千沢夫人ハ午
後一時 新葉会社 朝来皇后会ニ臨ミ後会社ニ出
ノ筈ニ来ル 川沢
昭和三年度会社損益処分案ヲ決定ス
来村利之来ル工場敷地売方ニ付百五拾円ニテ限
度トシテ取極メヲ依頼ス
松村重太郎氏来訪 夫ト工場ノ件ニ付会セリ
湯川夏吉氏 先日ヨリ懸合ニ賛同方申込ル
五時退出帰宅



八十八夜 二日
立夏 六日（前三時四十四分）
小満 井一日（後四時五十三分）

不月見月・皐月
五月雨の晴間も見よねぬよりや
月見月雨と云ひはじめけん 鶴峰

満月 五日 ◐下弦 十三日
●新月 十九日 ◑上弦 廿六日

青嵐 さく
初夏にかよふ大風や、
岸の汀の青麦の
なびきやう〳〵変る頃、
草にかくろふ蛍狩り、
おぼろのこゝろのあるやうに
ひいて消え飲る窓の水滴。

奥伊豆の晩春

山に入れば白い辛夷の青葉のしげみに亂れ咲き、村娘めく石楠花の葉蔭のやうな紅も魅はしけである。修善寺から天城の奥に入る晴れやかな登り路、山の靄氣に育ち咲く八重櫻のうら〳〵と散るのも懐しく、聳老けた老鶯の明らに囀づるをきくのも遖く春の名殘を思はす。山の湯のしづかな滴りをそほふる雨のうちに聞き、若鮎のほのかな風味に舌つゞみうつも晩春山荘の捨てがたい夜の情趣であらう。

行事

續く樹で武者人形を飾る・労働祭
端午の節句（五日）
朝神祭・芝清正公縁日（六所神社）
六日 各所染師開帳・花の市・植木市（大阪四天王寺）
八日 金比羅神社開帳・愛國婦人會・日本赤十字社總會（三會共に九段會館）・下谷神社祭（九時より始まる）
十一日 夏場所大相撲
十二日 入梅入
十四日 東寺線供養・出雲大社祭・京都日枝祭・葵祭（宮家にては種痘の開組センナ氏）
十五日 山域加茂祭（上野・神田明神祭（東京）
十七日 昇天節・淺草三社祭（十八日迄）
廿一日 庇申・見貞大師降誕會（東京第地西本願寺）
廿四日 甲子
廿五日 大阪天満・松島各天神祭の市
廿六日 東京高等工業學校記念日
廿八日 海軍記念日
廿九日 各地不動祭開帳（二日迄・神田・品川五社）
已

○本月より金曜日は休日となる。
月末より来月初旬にかけ、梅雨前の大掃除・蔵の虫干・布団丸洗ひ・衣類の整理・行李・箪笥の塗換・屋根の修理。

養生

五月の標語
日光と土に親しみませう。

歳時

季寄

時候 新樹、若葉、鯉幟、菖蒲湯、あやめ酒、粽、印地打、青梅、つり忍、藻の花、初鰹、更衣、葉櫻、遅櫻、短夜、羽蟻、立夏。**花卉** 牡丹、夏水仙、突羽根草、金盞花、芍薬、薔薇、藤、一八、燕子花、忍冬、石竹、鉄線、菊、金雞草、卯花、躑躅、金衣花、天女花。**鳥虫** 蜜、たなご、黒鯛、鮎、鰡、穴子、鯊、鰹、赤貝。**物** 蕗、蕨、魂迎、馬鈴薯、蚕豆、ちさ、苺、バナナ、夏蜜柑。

外興 燕の去来繁くして薄暑更衣の節に入る、花は躑躅の盛りでは比谷、館林の名所大いに賑ふ。藤、牡丹の見物。春意新緑に一変して箱根、霧原、松島、或は保津川、男鹿半島等に旅行を試むるも面白い。小倉山、清閑寺等杜鵑聴き、乗馬の遊びもよく、田植見物も興深い。夏場所大相撲始まる。又成田不動尊の開帳歴ぶ。神田明神、加茂神社等東西二大祭礼。釣には鯉えび、はや等の獲物があつて一竿子か喜びである。

内趣 花壇の手入れ。養魚。風爐窯。活花。新緑の賞め、枝豆、十六ささげ、擬宝、撒根、溜防風等の播種。経類、檜、茶、竹の移植。木香、鉄剪花の挿木、春蘭の移立。

社會の會合

天晴 星雲 風 北 午前六時廿分 午後六時廿分 月出 午後三時八分 月没 午前三時十九分

天晴高二十二度五分
本校会生徒千何
北寮会主催 新

朝江沿春子子息健助氏夫婦子公道桜枝ノ来
牧幸三樹来ル 丹夏魚一字池川先庫 杭湖日文武館
ノ二階落札代弁百七拾八円ヲ支払フ
十二時半社ヲ長欠勤
午後一時半三井銀行ヘ池田成彬氏ヲ訪ニ過日晩
餐会ノ礼ヲ述ブ 本日二条公卿ヘ於ケル万葉集
講義会ヘ出席 雑談数刻ニシテ帰宅 メイデイ
ノ騒ニ赤風運動ノ行列ヘ出ル勿レ
樽木石油ヘ社長島村金次郎会社事務
取扱件ヲ依頼ス
主奈ヶ来社ス 平夜漫談 午切リ昔ヲ作フ
午後二時半家庭事務ヲ終ヘ 明午中会社
全体懇親会長ヲ呈シ明午本社、利益処分ヲ決ス
諸事例ノ通リ 散会 帰宅

五月二日

天晴 星雲 風 北 午前六時廿分 午後六時廿分 月出 午後四時廿分 月没 午前三時廿九分

天晴高二十二度五分
本校会生徒千何
北寮会主催 新

午前七時半社
天晴未ダ藤田田紀子源次郎ヲ訪ヒ漸ク昨日ノ
大ガヲスヲ親族決議ニ至ルヲ報ス 夜ニ入リ
帰宅 三郎氏 平沢幹氏訪問 依頼ノ件ヲ
氏ヲ招キ其旨ヲ通ズ
家庭事務ヲ終リ午前中ノ訪問 明午中ノ本社幹事
大久保利通侯五十年祭紀念事業 昨日依頼ヲ受ケ
ルノ件ヲ社長ト協議ス 社長ヨリ話ス 依テ 西園寺公会長
渡川公ヨリ
各方ヨリ白仁武ノ両氏ヲ訪ヒ来ル 井上準之助中止
ノ案ヲ高木八郎氏ヨリ依頼ス 依テ 井上準之助中止
ノ件ヲ引受ケ 斯ル事トス
五時田金中ニテ催サレル友若手氏 厚生省ヲ送別ヲ兼
テ久保総裁ヲ招ク 会スル者三十三名盛会ナリ
午後帰宅 徐漢明侯ノ名刺ヲ受ケ 来訪ヲ謝ス

天候 雨 寒暖 晴 ばね おび

社会の全日

欠席	届	遅刻	届

一時起床、洗面、朝食ヲ終リ
掃除、習字ヲ為ス、不在中
掃除ス

十二時出社
昨日ノ電話ニ付会セニ着キ服ヲ一ニ改ヲスデールヨシ
おでんニ行ク 楠公社ヲ仮題ニ再ビ
依頼アリ三方ニトリテヤリモソハ六ケ敷カルヤリ除ク
ノ上返答セルコトニシ帰リテ之ヲ社長ト相談シ
ヨウ同
出掛ノ事トス
ヨリ時江本聖氏来リ松本忠雄氏洋行ニ付補助ノ依
頼アリ会社ヨリモ何カ相談スルコトニ事
ス
不在中横山賀吉氏来ル大人保護会ニ付キ
件ナリ
五時退出

天候 晴 寒暖 ばね おび

社会の全日

欠席	届	遅刻	届

柳島翁ヲ訪ヒ（支那ニ行ク
ヨシヲ報告ス）
夜ハ楠陵校落
ヲ夜ハ中国ヲ

十時出社
社ニ用ナク
午後ヨリ松ヤ藤田行ニ行ク氏ヘ返事ノ為メ
午後ヨリ師範童役会役会ヲ二十五日ト定メ
ヨリ出ヨリ来ルヲ待ツ
午後五時寿美ノ来ルヲ待ツ帝国ホテルニ孰レ
ニ結婚披露宴ヲ開カン事ヲ
島翁方ヘ
相談ス
来会者
伯爵ノ
ノ金典ニ
子爵ノ
馬ニ有ト

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨日 今朝

信書 電報 郵便

社會の出來事

十一時半出社
社長ト商船會社ノ模様ヲ報告ス
家庭事情ヲ知ル爲メ第何回ヲ初ニ大久保故侯爵ノ事蹟ヲ發表ス社長筆記ヲ依頼シ松本忠順氏洋行費用ヲ江木翼氏ニ依頼ス
神戸ニ行キ相談スルカ又ハ南條ニ付キ之ヲ人ト相談スル事ニ付夜分電話ヲ以テ江木氏ニ通ジ本人ヨリ直接ニ申込ム事トス
シルルートス
神戸湊公社供膳費ノ内ハ金五万圓ノ寄附スルトステーションホテル泊ノ服部一三氏ヨリ申込ム
四時退出歸宅
藤澤社ヨリ命令ノ來信ト日本電力會社ヨリ一月ニ一回ノ五社料請求書ヲ受ケ明後日濱屋ニテ永末取引ノ依頼ヲ會時ニ交付ス筆ヲ置ク

金五拾圓ヲ投入（寄附金）

五月川柳をかすかな石字

天候 晴 寒暖 昨日 今朝

信書 電報 郵便

社會の出來事

五月六日

正午天神恒太氏ヨリ
左記ノ件

早川第四代谷滝所長工校舎ヲ前十一時ニ訪ス

朝支村利之ヲ訪ス
十一時發天神恒太氏同市田園都市ニ林ヲ訪ヒ歸リ掛合ノ名義ニ將又各會ヲ相集ニ
モ林權助男柳原伯三井高橋男森村ニ
只福島栄天（今春）等ヲ勧ム午餐ノ
後令閨同行會ヲ催ス夜ニ入リ和シテ
ハ金ヲ得ル方ト打合一勝二敗ノ時ハ
手ヲ取リ山吹ヒヒ酬ヒテ霜島獨リ奪リ
六時歸宅ス

いたづらに汽の調べとなりかえて身の程とては思のいわれもの　雨谷鶴洲

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 計 昨

午後一時半校舎竣工日本婦人海外同志会事務所

午前十一時四十五分吉祥寺ヨリ出社
午後二時頃小松弁護士来訪 支村工場敷地買収ノ事ニ付キ十四日午後一時会スル事ニ打合セ
本部ヨリ来訪
午後五時過帰宅 寿美ヨリ電話(昨日)
午後七時頃寿美ヨリ電話ニテ寿美ハ午後吉祥寺ヨリ帰宅 婦人ノ一人ヲ訪ヒ七時頃帰宅セリ

鎌屋五階ニ於ケル婦人議会ノ第一回ノ会合ニ出席ス（大保三） 始メテ二十五名ニ増士議員ヲ設ケラル（明治二一）

天候 雨 寒暖 計 昨

午後四時半城部
午後二時ヨリ
午後一時ヨリ

雲気ガ会外二十人大会仙台ニテ開ク
正午帰宅 婦人会ノ一会場ニ参集
茶山氏自宅ニ園遊会

朝九時大村利之来訪 自分ハ登社セズ
十時十五分出社 今日ヨリ上野精養軒ニ於ケル大世話会ニ出席 興津貴美会ニ出席
午後ヨリ来会者五百名ヲ以テ盛会ナリ
午後四時半ヨリ会場ヲ閉ヂテ三時半ヨリ社ニ於テ会議ヲ開キ 次ノ見習場ヲ相談ス

婦人矯正委員ノ会ニ出席ス
本社ノ件ニ付浜川氏来訪 今ノ参会人数中
署ヨリ四時ニ出頭ノ命アリ 大川内正敏ニ会ス
午後大降リ 清南寺ニ行キ会開ク 三次出席
会後懇親会アリ 晩餐ノ御馳走ニ与リ八時半帰宅 甘露寺ニ寄リ帰外出ニテ来ル

大阪築城（元和五） 清国留学生帰国（明治三一）

五月頃のころとなればほととぎす出づ 君が情けとあぢさゐの花 山本とみ子

唐色の紅いのは初の語句なり 横町はまだ踏みも見ず恋知り

役割	設置	変更	廃止
晴			

朝来ヤヽ頭痛ス 十一時半出社
弘前銀友河金三万五千円也ヲ自分御用ニ引受ケ入ヲ正式ノモノト取換ス 来納ニ五千円ヲ渡ス
同午中傳来取母ノ家計費ニ百円ヲ仏壇ニ供ス
送金ス
午後一時半樽山資英氏来訪 大久保枝候五十回忌ノ件ニ付キ
会計庶務ノ人ノ件ヲ
同郵便ニテ服部一三氏ト保川神社ノ件ニ付テ電話ス
午後ヨリ神社ニ参ル 四時過ニ帰宅 神戸ヨリ岩井夫婦来訪ニ付キ
ヒトヅヽニ 寿美下男ノ分ヲ渡ス 十一時半帰宅
田中隆二氏 藤田男爵ノ件ニ付キ来社

役割	設置	変更	廃止
曇	午後五時半頃地震	午後三時半頃村久迄ニ帰宅	午前十時半迄ニ帰宅

前輪邸ニテ晩食
午後五時半頃地震
午後三時半頃村久迄ニ帰宅
午前十時半迄ニ帰宅

十一時出社 十二時高輪邸ニ於ケル午餐会ニ列ス
本吉枝候市政及奈良本部ノ両氏倍席
八自分、半田、松岡、三橋、永峯、仁川外ニ岩井祥
次君ヨリ奈良ハ夫婦ニテ且銀婚ノ祝ヲ受ケタリ
岩井男爵ハ昨夜ノ名士ノ俳句各一首ヲ作リ
其他始メノ名句ヲ掲ケタリ 奈良氏歌賞ヲ
三時四十分丸内ヨリ東京会館ニ於ケル久世
島村（浅次）両家ノ茶話会ニ
午後ヨリ岩井保氏夫婦ヲ別邸ニ
夫人ハ本日吉祥寺ヨリ
寿美ハ夜十一時半過福泰寿子、岩井夫人ナドノ
岩井夫人ニ付キ

朝九時藏宮松方邸式未訪一昨夜催し置キ昨夕
帰京別荘ニ於ケル模様并ニ変後貴人扮装
ニ付永菓一対ヲ贈呈ス
十一時半松村家
十二時半ニ分ニ社理事会列席
太郎式未訪先村工場ニ於ケル模様ニ付キ係リ
井上日銀総裁ニ来訪ス 総会社設立委員長ニ推ス
ノ件ヨリ
支那次女業俊氏代理トシテ来京竹物鈴女
支那着半夜秋保松治氏産業教育後見
収支不足金三千円ニ付キ打合ノ上ニ依頼ヨリ三井ニモ
半ヲ入ルヨリスバ和方打合ノ上ニ来ラレシト申置キ
本家ニ行ク筈ヨリ
かね銀行ニ寄リ
高橋太一老并ニ某氏ニ面会
尾去沢 荒川 西鉾山
四時頃ヨリ今朝帰京ニ付社面会
夏の水底の人江の藻の緑の
青き色にして花ニ光栄る
與謝野晶子

日曜
日伺会ノ為メ松枝公
邸ヘフラ訪ノ為メニ
午後ヨリ
葉俊宅訪ノ為メ

十一時出社
正午工業俊来訪ニ付キ
帰リ支那半和陳答ヲ
齎ス会ノ為メ其他ヨリ模様ヲ
任理半ト相談ノ上ニ其時機ニ非ラスト認
メ帰ル事ニ
昨日入ヨリ帰朝ノ西ヶ原ノ技師ヨリ
今朝面会申ニ付キ
今朝正ニ神ヨリ
小松侍一ノ氏来社ニ付キ梅村地処ニ
付打合ス
四時頃ヨリ河岸ニ会ヨリ
老打合ノ件ニ付キ

石に寄る岸にいたらむとたつむり 京 啓

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天気 晴雨

午後一時半帰雨ヲ犯シテ吉祥寺ニ赴リ到レル雨和上ノ

正夜、井上、久奈、近友、杢、藤田政輔ノ方ニ賜ヒ膳ヲ

ト却キ午後相陳会ニ出席夜十時頃帰来祥

孫談ノ件ヲ語ル帰朝近現状維持ノ意ヲ

午後ニ至リトス

天気 晴

午後一時半ニ新築ノ県下会館落成祝宴ノ

案内ニ接シ九時半祥宅

ヨリ明夕八時半迄会人全テ田中首相

会見ノ申込ヲ以テ

春日大平代表人ヲ介シテ藤田ニ迎春ノ件

矢方全快ヲ喜ビ又ヨロシク伝

ヘラル

六時起床 正夜八時来宗ニ参リ自分十時半

ト却ル

夫村上陽一郎梅村此処ニ寄リ賀参ヲ乞ヒ行ク

金三万千百五十円ヲ納ム百坪ヲ以テ

工事ハ倶楽部ニ主事勝ヲ来ル

松村義太郎氏来ル

午後四時半新築ノ県下会館落成祝宴

案内ニ接シ九時半祥宅

ヨリ明夕八時半迄会人全テ田中首相

会見ノ申込ヲ以テ

春日大平代表人ヲ介シテ藤田ニ迎春ノ件

矢方全快ヲ喜ビ又ヨロシク伝

ヘラル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 雨　寒暖 暖　気圧

記事

受信 発信 変更 信用

十一時半出社
午後一時より斗酒庵、常務理事トノ例会合ヲ
ヤリ
午後斗酒庵ヨリ帰社、来社夫村工場入札（十六日）
ノ件ヲ会ス、十万千余円ノ金矢張収拾正彦ヨリ
四ト分ト現金四千円ヲ受ケ下座名義ニテ受ケ
千余円ヲ入レノ
ヤリ
直ニ退出ス松屋ヨリ五時半魚川美介ヲ訪ヒ
会ス十分ニ田中首相ノ来着ヲ待チ会ス
入閣交渉ノ意向ヲ聴リ望月氏ヲ内訪シ
ヲ其筋ヨリ出石ハ他日外相ヲ
セル階段ヲ
釋明アリ十一時半首相退出ス
ヤリテ二十二日頃（三五大役ヨリ特別上）
ヤリ
ヤリ

天候 曇　寒暖 暖　気圧

記事

受信 発信 変更 信用

朝九時十五分正彦ノ会通吉祥寺ニ参リ
正午藤田社二郎氏夫婦及悠紀子午伏新氏
夫婦来荏午餐ヲ共ニシテ閑話
午前ヨリ
六時半木村ノ新築祝ニ招キ無名会ニ列席会ス
ルモノ二十人片岡直温氏ヲ始メ
月十五日
ノ両氏幹事ヲ指命セラル
寿美十一時半吉祥寺ニ
ヤリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	受信
曇	

寒暖 昨日より

冠紙 曇

朝九時半歸田ニ着、一泊、夫婦正彦外五名

朝ハ村外扶桑ニ来ル

牧野ニ朴ノ樹ノ花ヲ見ル 四枚八圓ヲ支払フ

久留米大来ル

三吉二夫人及木刀川千代夫人正彦外五名扶桑ニ来ル 三時宴席ニ移ル

来京ノ上陛下ニ拝謁ノ為メ

宴後会所 谷鐵利ヨリ電話アリ

寿ビヨイ大変ヨリ中野千代女ヲ扶桑ニ

寿ビヨイ大変ヨリ中野千代女ヲ扶桑ニ来ル

三時寿美会並ニ社 寿ビヨイ八重州ニ入 歸京ス

正彦外五人孤島 安平島(足摺岬)ト午餐ヲ

共ニシ正午ト共ニ大変ノ青木ニ移リ正彦ハ

当根ニ泊ル 昭七、四ル

發信	受信
曇	

寒暖 昨日より

冠紙 曇

朝十時半浜夫人来ル

今晩ハ扶桑唯一ノ正彦外五名ノ扶桑ニ来ル 鐵川谷

今年 塩田春香氏夫人ハ上

十一時半ヨリ社 理事会ニ席

寿ビヨイ大変ヨリ会社ニ 新株二〇〇ヲ株券用五

千枚ノ取ヒヲ 下ス(二五株トナル)

夫村利之来ル 今日場越理事ノ件ニ付コロタイプ印刷

業 湯田政美氏ヲ代理氏来訪(神田区三味町二十

目百番地)

土佐真人来ル

午後二時迄御船 重役会ニ臨ミ支時振会社ニ就

任其他ヲ決ス

四時半辞ス

(七三同ヲ屋通ヲ位一従ニ常時様花(元始祐)ニ常時様花(六化文)ニ常常倫官間

發信	受信
曇	

寒暖 昨日より

冠紙 曇

朝十時半浜夫人来ル

今晩ハ扶桑唯一ノ正彦外五名ノ扶桑ニ来ル 鐵川谷

今年 塩田春香氏夫人ハ上

十一時半ヨリ社 理事会ニ席

寿ビヨイ大変ヨリ会社ニ 新株二〇〇ヲ株券用五

千枚ノ取ヒヲ 下ス(二五株トナル)

夫村利之来ル 今日場越理事ノ件ニ付コロタイプ印刷

業 湯田政美氏ヲ代理氏来訪(神田区三味町二十

目百番地)

土佐真人来ル

午後二時迄御船 重役会ニ臨ミ支時振会社ニ就

任其他ヲ決ス

四時半辞ス

(同) 歌人記之賀之賀ヲ (大正九) 練兵之賀ヲ (明治二) 始の賀之賀ヲ (同) 国本武揚等揚伏

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一時正彦公道出社ノ途次大川田中幸吉兩氏ノ一
行ニ會ヒ大川ニ到リ田中氏ノ八部其他兩氏ノ一
行ニ對面正彦ヨリ合テ十二時出社
午後一時正彦公伴ヒ會社ニ出デ役員ニ會シ挨拶ヲ
終ル
午後三時二十五分發小林茂子ヲ從ヘ福寶ニ赴ク
車内三人ノ外ニ無シ午後五時三十分ニ福寶ニ着
無事ニ宿ニ入ル六時三十分ニ食事ヲ終ル新緑ノ
候スカスガレ十一時過就眠
今日ハ大半出來上リ僅ニ一行ヲ殘スノミトナレリ

七時起ニ床永菜ト家計普ストニテ石園ヲ發ス
十時京公道二ノ手ヨリ自動車ニテ芦ノ湖畔ニ着
桐屋ニ到リ晝食ヲ終リ箱根ヲ經テ熱海ニ相
次テ到リ四時頃ニ着ス晴天ニ富士ノスカタ頗ル
觀ヨシ風ナク波靜ニシテ汽船ノ出入モ少ナカラス
午後六時ニ着ス

社會の今日

天氣 晴 曇 雨 雪

發信 受信 要信

今日午前一時半大震ありし強震なり就床
早き者は殆ど起き出でたり各地中小被害あり
部屋は殆ど無し大半と云うべきも上々なり未明
近畿東海地方に暴風雨襲来中部地方は暴風雨
東京十五センチメートルの地震 江ノ川七ロヲリト

十一時半出社

午後一時 閣見邸にて 松本内閣 松村逓相 内閣
書記官長 政務次官引見 三時帝劇 水
雷会 持ち注意あり

帝劇中幸子 秘書役及 青木 菅原 頼と 道り
三時退出 夫人に日比谷 銀座 青木堂にて買物をなし 帰
宅 月末近往 買掛金百余円を 井上 渡す
八時半より 支那料理にて 正下

社會の今日

天氣 晴 曇 雨 雪

發信 受信 要信

下午 外相を訪
田中前相 幕内
将

午前十時頃 神戸驛着一列車先に到着し居り林
義公驛に待合せ居り 共に長田別邸に入る 庭園
菜遠く臨む 午後一時外出せず
山本直友夫婦 夫後とて来り 政治も亦大変り
来り 正友 市青服とて工場と勤せり

つよく見ゆる深木の花のうらうらに
幽光に入れば感覚るなり　金子薫園

昔の口誦にしらげたあとを
想いて通るべきとき　雪

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前中當振込ミ為メ銀行ヘ行ク
午後銀行ヘ行キ船知ラセヨリ正彦ヲ為メ探ス
午後六時宮崎ヨリ久保清子、恭子、井上貞子ヲ招キ自分ヨリ為メ来神ト名ル藤田夫人、悠紀子ヲ加ヘ十五人夫婦正彦ヲ合セテ八人晩餐ヲ共ニス
九時半帰ル島村香椎正彦花行券代正分ヲ持参シ来リ伴ソ正彦ヨリ正二名ルヨシ
ニ付ヨリ婦ハ座リ断リ十時半帰ルヲ為メ香椎ハ十二時頃ヨリ帰ル

朝ヨリ雨降ル十時半ヨリ愛護着京都ヨリ特別列車ハヒヨウリヲ着シ久保母子ヲ藤田悠紀子母子次子来ル井上貞子夫婦正彦銀行倉庫ヨリ途中ヨリ乗リ見送リ帰ル之刻ヨリ悠紀子ハ下ノ子ヲ連レ宮崎ヨリ黄紫青白糸相就テヲ残ヲ惜シ壮観ヨリ船白山丸ノ進行ヲ見送リ帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 暖寒 記事

午前八時ノ雷ニ後晴天トナル白山丸八時八日入港九時半帰正彦氏内ヲ伴ニ上陸大吉ニ入ル朝飯ヲ済セ壽美正彦氏ノ前十時半ノ汽車ニ貝島幕子ヲ送ラント十一時発川ニ着キ船ヲ訪ヒ幕子夫人ト共ニ母子保坂ヲ交ヘテ午餐ノ饗応ヲ受ケ三時正彦ヲ伴ヒテ帰宿六時郵船正副文部人奥野白山丸船長々桝麻吉三菱支店長倉庫造船ノ正副長同司店介、貝島太市ノ諸氏ヲ招キ正彦、井内ノ両氏ト歓餐ヲ饗ス

川ニ留残リタル壽美八十二時前帰宿セリ

晴 暖寒 記事

正早白山丸上海ニ向ヒ解纜貝島幕子帰国ノ途ニ就ク帰正彦氏ノ友人等ヨリ船ヲ迎ヘテ馬関流島附近ニテ船ヲ迎ヘ庫島ヲ我児ヲ高ク打ヒシト祈ヒテ親ノ

ホヒ計リヲ

午後三時壽美小林公道下関発車四時着ヲ伏拝着後金四十分荻柴ニ転宿六時半光明帝躍着自動車ニテ柏十分ヲ所着祝飯後別飯ノ海辺ニ連テル森玉ニ旅宿ヲ食膳ニ上ル魚介鮮美ナルヲ以テ木快ヲ叙セリ午前二時半ヨリ八時海

島見物ノ為メヤリ

船ヲ打ニ小舟ニ乗リ浪モ穏ヤカニ

都ヲ去ヲ子ノ船ヲ見送ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 記事

食 昌 要 昌 摘 要

社會の今日

廿日絶好ノ天気ナリ壽美ハ朝早ノ定市場ヲ見物シ歩リ
石垣築前船ヲ雇ニ八時ヨリ十二時迄四時間ニ青海島
ヲ一周スル奇巖絶景連續夜間ニ百景ノ雄ヲソナリ
島周廻七里内ニ湊水湖アリ又大日吹ノ有名ナル洞アリ
日本海ノ海我ハ北方二十里ノ処ニ行ハル時砲声ノ隆々
タルヲ聞ケリトゾヘリ
午時旅宿ヲ立テ深川（今湯本ト称ス温泉アリ）ニ着キ深川
ノ陶窯ヲ視ント林ス宝文堂リ現ニ製シツヽアルヲ手ニ取リ見ル
ニ葉呂一二尺ヲ隔ニ轉ヒテ大筆ヲ以キ大内義隆自
殺ノ跡ヲ写ス（從右角版トテ右ノ方ヨリ左ノ方ニ横書ニ
タレドモ）四時十分ノ汽車ニテ全発ス明治ニテ小林ヲ念
ス六時半秋穂ニ着富田屋旅館ニ入旅装ヲトカズ
直ニ城跡ニ登リ遠ク輝ク夫妻ノ墓アリ城跡今公園トナ
ルヤモ利大膳大夫ノ下級ノ志士ヲ念ノ為ニ供ラル茶
亭アリ

（九五七）

天氣 晴 寒暖 記事

食 昌 要 昌 摘 要

社會の今日

朝九時頃ヨリ壽美ト共ニ宿ヲ歩ミテ市内ヲ散
策ス由緒ア旧家富田屋ニテ深川焼若干個（三十円位）
ニテ朝鮮水指壱個（八十円四本入円）オランダ水指
壱個（十五円）唐物小箱（三十五円）オランダサラダ皿（十
円）唐物銅花生壱対（百六拾円）ヲ購ヒ帰宿
午後九時壽美小林ト共ニ自動車ニテ松陰神社
ニ参拝松下寿夫氏松陰山一件ヤラヲル公爵ノ宅
作藤技文公ノ旧宅ヲ見ル 我ヶ濱ニ却キ宝介生氏
ノ池ヲ案内 時ニ午潮ニテ後郎氏ノ夫妻ヲシ
壽美夫ニ夫妻ヲ帰途生ヲ訓ニ立寄リ七時
頃帰宿ス主人ノ息来道ス
（ナモ利屋代ノ基所（ナガラ川勝平太ヲヲル福原屋
司益田ノ三家友人同市ノ豪ナリ）

（九五七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

宿　晴　寒暖

社會の今日

記事　欠席　遅刻

朝八時自動車ニテ富田座ヲ発ス若主人案内役トシテ全家ス迎ヘ取リ後ヒ七ル約十里山岸ニ沿フテ屈曲ス爪先明美ナル岸断絶壁危険甚シク十時須佐着仝四十分発江ノ飯浦ニ向ヒ着ノ三驛ヲ歴テ石見益田ニ十時二十分着仝処ニ一時十二分仝発濱田ニテ午餐一時廿四分仝発濱田ニテ午餐一時廿四分仝発濱田ニテ午餐一時廿四分仝発濱田ニテ午餐一時廿四分仝発濱田ニテ午餐

六時十分発仝五十七分松江市着留美館ニ入旅舘ハ大橋川ニ浮リ左岸ニアル花道湖岸ニアリ爪先美ナリ待ヒ夜分漁舟ノ点火ハ浮動アリ湖ハ淡水ナルヒ水浅リ爪哇ノ為メ湖面ノ濶キヲ見ル事ヲ惜ム

男女に論なく俗物は常に貧窮よりも富のみが如く良家に生育したるがきの憐愍を蒙ふ　エピクテタス

東雲暁雨帯鐘亡ニ（一四五三）　小橋残驛絵機を東京に置く（明治五）

宿　晴　寒暖

社會の今日

記事　欠席　遅刻

遠天手中島酒ノ菜ヲ指て

ねぬつけた書永ノ世俗なるー生月をどる

午後の川波

朝八時廿分松江驛発ノ汽車ニ搭ス午前十時廿分仝驛ニ着ス仝驛ヨリ人力車ニテ仝市ニ着ス仝市ハ人口四万ニ余ノ大都会ニシテ今市着ノ九二七一ノ時二十三分発ノ汽車ニ搭ス仝四十分大社驛ニ着ハいなばや旅館ニ投ス午後一時仝旅館ヲ発シ人力車ニテ大社ニ向フ大社ハ出雲ノ国造ノ作リ仝社ニ属スルヲ以テ一ノ市街ヲ為シ神殿并ニ建ツ塩梅ノ神ヲ祭ル仝社ニ入ル門ヲ入レハ左右ニ石ノ狛犬アリ又オカシ仮名ヲ以テ仝社ノ由来ヲ記シタル石碑アリ仝社ハ山ヲ負ヒ海ニ臨ミ仝社ノ前ニ一ノ鳥居アリ仝社ノ前ニ一ノ鳥居アリ仝社ノ前ニ一ノ鳥居アリ

宮司ノ家ハ仝社ノ前ニアリ仝社ヨリ里余ノ処ニアリ仝社ヨリ宮司ノ家ニ至ル間ニ一ノ鳥居アリ仝社ヨリ宮司ノ家ニ至ル間ニ一ノ鳥居アリ仝社ヨリ宮司ノ家ニ至ル間ニ一ノ鳥居アリ

一時五十六分松江帰着旅宿ニ入ル

一時旅宿ニ入ル人ノ案内ニテ一行不昧公ノ茶庭ヲ観ル庭ハ郊外ニアリ山荘山雅ニ入リ眺望ヲ恣ニシ庭内ヲ逍遥シ今日家老某氏ノ有タリ茶室ニ入リ茶ヲ喫シ庭内ヲ逍遥シ帰途、松平家歴代ノ家廟及塩冶古墳ノ某ヲ観ル天王森ニ松平直政ノ創ル像ヲ観ル北ノ辻ニテ人力車ヲ下リ仝所ヨリ徒歩ニテ松平家ノ菩提所ヲ観ル

彼ヲ木馬綱ノ墓ト指ス又

仰ヲ薄暮帰宿ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 暑

朝九時前舟を漕ぎ出でて大橋川を後楽園に送りつゝ小荷浜船と共に外湖に出でて大橋を入り川を上りつゝ美保ヶ関に着く。船八十里境に至ること三十分にして美保ヶ関に着く。時に十二時半なり。

美保ヶ関行の船に

波静かに進みもせず

船上の山天下界の隔

船上山（長子）

船上の山の松蔭を辿るかな

船上の山の松蔭を辿るかな

船上の山天下界の隔

船上の山天下界の隔

船上の山天下界の隔

日出 四時二十七分 日没 六時五十一分
月出 後四時四十八分 月没 前三時一分

天氣 曇小雨寒暖 晴 曇

大會の全日

發信 受信 返信

米沢より帰来寿
筏会 帝國劇場ゟ東京会館
午後四時半 迄期

朝飯時ハ淺草ニテ香住ニ立寄リ座敷ニテ名人筆蹟ヲ観ル 半内ノ襖壁床ノ間等ヲ始メ座敷其内人ノ筆ヨリ座敷ノ間山水ノ間ニ至ル迄悉ク其筆ニ非ス 枚数 、、、

天候 晴 寒暖 昨日 本日

午前九時三十分 木田久一郎氏子山林より無賃伐採の件 庭園を観覧 庭園内明治大帝 照顧の松 洋館 宗春殿初め洋館一同 午後 お茶 午前南禅寺無隣庵

午後 九日迄 滞在 天中の神々 採山の事 壁画 家康 高虎の木像 都おでん 山内 今在ラス 都 新開 買地 視察 二十二時半帰宿

自動車 八時 帰宿 大津 西庵 立ち寄 自ら為すべき事を他人に任すべからず 英国俚諺

社會の今日

設備 志賀 建代七拾円 中華菓二十五円

変更

設備

変更

天候 晴 寒暖 昨日 本日

午前九時 寿美女王帰京 午後 銀閣寺、哲学の小径、南禅寺 花 午後 俥夫

社會の今日

設備 志賀 建代七拾円 中華菓二十五円

変更

設備

変更

朝九時 寿美女王帰京 午後 銀閣寺、哲学の小径、南禅寺 花 午後 俥夫

かの出の景近くにちいさなる 蒙をいとたふ君と住まし 王陽明一部

午前雪 午後 雪 午前雪 午後 雪 午前雪 午後 雪

大正 丙子

六月五日

天候	晴	寒暖計	最高	最低
食事				
信書				
会合の件目				

朝九時十分無事着京、弁天町ノ邸ニ入ル 沐浴ス
十一時半出社
海老甲ノ座敷ニテ 各会長ヨリ報告アリ
四時半退出

自砂かす子の尻踊し夏の水　仙境子

（元禄二年の夏の風雅祭を定めるる（元禄元）　昭和壮観起源説を試む（昭和一一）

六月六日

朝九時十分無事着京、弁天町ノ邸ニ入ル 沐浴ス
十一時半出社
海老甲ノ座敷ニテ 各会長ヨリ報告アリ
四時半退出

十一時半社
午後四時 八重洲ビル朝我会社ニ於ケル 役会ニ列席
午後五時山口ニ於ケル田原朝我会ノ招宴ニ陪シ
午後九時半帰宅ス 坂本秘書役ヨリ報告アリ
九時退出

世にたつは苦しかりけり鹿児島
金がりなりには行りかざめども　鵬洲

仰人情井色有経ヲ経ヲ（元明三）　兵庫開港（慶応三）　農業以卒去（大正五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十時廿分出社
十一時理事会ニ帝銀事件ニ就キ
午後一時十分頃在七郎氏来訪後藤代議士ニ対シ帝国通信社（旧新進社）ニ対シ支払ヲ（改ヲ員ニ）交渉ス 十万円
依頼アリ 御故障モノ 如何ト考フルモ三井家有
力ナル会社ナレバ 引受ケル ハ 懐ヲ痛ム 何分
返事スルノト申置リ
帰途 上野 齊美術館ニ立寄リ 報知新聞
催ノ 洋画会作品ヲ観ル 夕刊ニ 視力 恢復帰宅
六日午後二時 林庭事 当知ニ 高知県ヲ訪ヒ帰リ
カケ 別紙ヲ社ニ立寄リ 四条ト 懇談ヲ一時夜ト
ル夜リ 依頼アリ 高知ニ 出張ス 村上 場 弁護士
事ニ 四条ト 意見ヲ 交換ス 依頼ス
六日ノ分 未ダ帰来ラズ

十二時七社
午後一時半 松村竜太郎氏来訪 大村件ニ付キリ
三宅川南事会ニ立寄リ四時半帰宅ス
井上日銀総裁 来訪 紙定会社ニ付キ事ヲ
聚ニ 勧誘ニ 応ジ 金ノ 絆ヲ 承メル
午後五時 陸体ノ役員ノ 役員ヲ 会ヲ 開キ 報酬
連中ノ 慰労ヲ 伯雀ノ 講談及 高砂ノ 謡ヲ
十二時七社 散会ス 帰宅

八日ノ分
南直彦氏ノ 紹介ニテ 来訪 弁護士 谷田実氏 来訪 件
ノ 御依頼ニ 地検ヲ 主地ノ 場 処理 貸ノ 依頼アリ
改築ノ 陸体ノ 要ヲ 見ル ニ 地上権 買得ラレ
ニ 消ト 断リ 置キ 其旨ヲ 書 ニ 宅川 氏ニ
ニ 話ス 置リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

雨九ツ半大村刺足来ル十夜会社ヲ催ス
十時来京産金銀、松ケ、京都心風景ヲ描ク
任来住山代青花銀火会香炉（六十五円）汐田宗山代銀
砂繍花紋花瓶（五〇円）及紋草物セット（二五円）任来
平春心鉢（宝袖一〇円）前鉢（一八円）浅見五兵助
心白繍袖花紋花瓶（五〇円）清水正太郎心葡萄栗鼠
花瓶（七五円）永野金泉松雪重次鉢（一対（四八円）計三
百四十円ヲ貰物ヲ平春山ノ三人ヨリ来ル
午前十一時商事会社役会来ル午后六分郵ヲ
午後一時ヨリ造船重役会ニ列席
午後二ツ半松村養太郎来ル
今晩時幣宅五時壽美会催ニ付手ヨリ

（その頃ならんでとたり福の子　野口昌）

終日静養

（屋号湯のいたはしきかな白樺に　光りをばゆくり日するさへ　武間定一）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一時半祥寺ヨリ出社
午後二時幸倶楽社重役会列席 支村利之来訪之事 先ず田舎豊成 支村工場復興 きの者トヒテ倉成文太郎 社長室ニ在リ 中止ヨリ明日開会ノ約シ 本件ノ大要ヲ伝ヘ立ス
午後四時四十分退出 其ノ倶楽部ニ寄リ六時新喜楽ニ於テ小川 銭相ノ招宴ニ臨ム 日本ヨリ新支援助依頼ノ為メニ 会スル者 下ノ如シ 倉成ノ 達中ヨリ九時過 退出

銭相小川平吉氏 招待ニ付 午後六時 新喜楽ニ於テ

六時着

午前九時 祥寺ヨリ出社
午後一時 本社ニ於テ 重役会ヲ開キ 本件ノ協議ヲ遂ケ 其ノ決定ヲ 社長ニ報告ス 其ノ要領ハ 左ノ如シ

一、倉成文太郎ヲ 本社ノ代表者トシテ 支那ニ派遣スルコト
一、倉成ハ 支那ニ於テ 支村工場復興ニ関シ 一切ノ権限ヲ有スルコト
一、倉成ハ 支那ニ於テ 支村工場復興ニ関シ 一切ノ権限ヲ有スルコト
一、倉成ハ 支那ニ於テ 支村工場復興ニ関シ 一切ノ権限ヲ有スルコト

午後五時二十分 田舎豊成 倉成文太郎ノ 世帯用ニ来ル 支村工場復興ノ 主任者トシテ 権限スルコト 倉成ハ 支那ニ於テ 支村工場復興ニ関シ 一切ノ権限ヲ有スルコト

午後七時

天氣 曇雨

晴 雨 曇

發信 受信

朝十時今村東柄氏株券を携へ来り余に左の如き依頼をなす

株券御一覧の件

湯面攻剛

十三町半ヨリ社石川南店ノ海老名係ヨリ後門氏来訪

支村工場ノ件ニ付

国家主義社長ト称スル自称陸軍士官候生ト来訪ス

前ノ件ニ関シ説明ス

湖ニテ春ノ京都大学生ト称スル者ヨリ用談ニ付電話ヘクメヤ氏ヨリ

ハ変名ニテ本名ハ清(ハ清)窃盗ノ前歴者ナリ

共産主義者ニシテ注意ヲ要ス

松村竜太郎氏及会社員ノ文太氏ヨリ会伴ノ支村工場ニ関スル打合セニ来ル

打合セ終リ午後一時ニ散会ス

北條義時卒す（光仁光）　明治光海光誠ヨリ（天正一〇）ベルリン着（一八七八）

天氣 曇雷

晴 曇

發信 受信

午十二時仕事ニ着

御一休憩ニ食事ヲ終ル

午後五時ニ終ル

帰宅ノ途中ニ

市内山口ニ於テ

社長ニ出会ス

朝九時ニ出社ス　客来ナシ

午後三時ニ帰宅ス

午後三時ニ帰宅ス

五時ニ帰宅ス

幕府ニ出ス名前の頭書かな　秋霞子

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 曇 晴雨 晴 晴

社會の今日

訪客	訪信	電報
經濟研究會員	無名會新委員	帝國水利會評議
俱樂部幹事	午後出掛ケ	員會ニ出席ノ
午後出掛ケ	浩城新外相ヨリ	爲メ午後四時ヨリ
耕牧招待ノ爲メ	午餐會ニ招待	開會ノ旨通知
出掛ケ	狀	狀

午前六時半起床

一 朝食ヲ濟マシ書齋ニ入リ新聞ヲ讀ム

一 十時半ヨリ十一時半迄ノ間ニ來客アリ

一 十一時三十分ヨリ十二時迄ノ間ニ來客アリ

一 十二時ヨリ一時迄ノ間ニ來客アリ

一 午餐會ニ臨ム

一 一時半ヨリ二時迄ノ間ニ來客アリ

一 二時ヨリ三時迄ノ間ニ來客アリ

一 三時ヨリ四時迄ノ間ニ來客アリ

一 四時ヨリ四時半迄ノ間ニ來客アリ

一 四時半ヨリ五時迄ノ間ニ來客アリ

一 五時半ヨリ六時迄ノ間ニ來客アリ

一 六時ヨリ六時半迄ノ間ニ來客アリ

一 六時半ヨリ七時迄ノ間ニ來客アリ

一 七時ヨリ七時半迄ノ間ニ來客アリ

一 七時半ヨリ八時迄ノ間ニ來客アリ

一 八時ヨリ八時半迄ノ間ニ來客アリ

一 八時半ヨリ九時迄ノ間ニ來客アリ

一 九時ヨリ九時半迄ノ間ニ來客アリ

一 九時半ヨリ十時迄ノ間ニ來客アリ

一 十時ヨリ十時半迄ノ間ニ來客アリ

一 十時半ヨリ十一時迄ノ間ニ來客アリ

一 十一時ヨリ十一時半迄ノ間ニ來客アリ

一 十一時半ヨリ十二時迄ノ間ニ來客アリ

一 午後ヨリ夜ニ入リテ來客アリ

一 午後ヨリ夜ニ入リテ來客アリ

一 午後ヨリ夜ニ入リテ

晴 曇雨

日本護法聯合会ノ檄
支会ニ於テ
福地三会堂ニ於

靜養夜ニ入リテ雨降ル

晴

午前十時半ヨリ社
京都ヨリ帰京以来引続キ諸用
午後三時ヨリ常務ヨリ朝鮮出張中ノ社長ヨリ水電延期
ノ件ニ付電報ニテ諒解ヲ求メ来ル午未ダ延期ノ
意向ヲ確メタル処未ダ報告ヲ受ケ
池田成彬氏ノ招ニヨリ
懇談会ハ今日全ク取リ直接案内ノ告ナク尚廿一日
其後アルヲ以テ
松村ヨリ尾太ノ倉庫ヲ不ノ西氏未ダ処
理ノ件ニ付
利用小松ヲ加ヘ
午日常務ヨリ倉庫借用ノ
四時五十分退出

天候 曇
寒暖
社會の今日
記事
出入 出 入 出 入

朝九時町田忠治氏来訪帝國商業銀行ノ件ニ付キ演説ヲ為ス
午後一時ヨリ藤田好三郎氏ヲ訪ヒ為替ノ件ニ付キ打合セヲ為ス
夕方依頼ノ通リ
夕六時七社
午後一時ヨリ商業會議所ニ於テ新春ノ宴会アリ
夕三時ヨリ小松行一郎氏来訪若干ノ金ヲ貸ス
夜ニ入リ小雨降リ出ス
商事會社ニ於テ新春ノ宴会アリ
五時頃ヨリ雨降リ出ス
夜ニ入リ小雨降リ出ス

天候 曇少雨
寒暖
社會の今日
記事
出入 出 入 出 入

朝十一時四十五分ヨリ社
午後社ヨリ対談ノ為社長早ビケ
京都ヨリ帰リ来ル
夕六時ヨリ小松行一郎氏ヲ招キ晩餐ヲ饗ス
小松行一郎氏ヨリ本日金壱千八百円
ヲ受取リ領収ス
商事會社ヨリ大阪ヘ向ケ出発ス
朝七時ヨリ出発ス

十一時半ヤ社
午后参時半ヨリ来客海上保険会社重役会列席
四時半帰社
六時山ロ、斗ヤ自分主人トシテ地方官ノ招
待ニ晩餐ヲ饗ス、ヨリハ二三席ヲ更ヘ八時
頃散会ニナリ、来客二十三名主人側ハ七
名十時過散会ス

十一時三十分ヤ社ヘ行キ重役会列席
十一時四十分松村常太郎氏来訪其後ノ経過ヲ報
告ス
午後一時半ヨリ村工場ヘ行キ各般ノ設計ヲ為ス
貸金ノ払ノ件ヨリ来訪依頼ヲ受ケ
午后参時御堀重役会ニ出席ス
三千百円社債、其募集ニ付来
月十三日ノ株主総会ニ付協議ス
会ヲ終リ帰社ス
六時ト共ニ打揃テ
会食ヲ為ス
客二十七人伯爵浦辺、西山ヨリ九時半帰宅
ス
廿日中天長ニ向ヒ出発ノ筈ナリ、
土佐頁岡来ル

天氣 晴 一暖寒

記錄 欠席 遅刻 早退

社會の今日

三田紙室輸送會社準備調査委員會 來る會敎 午前十時半

久拿連相會合集 正午 清興會 工業俱樂部 七時頃

朝敎まで來し 春秀ノ夜汁當我ノ三個汁代金五百円ト抓掴差引殘十萬九千四拾五圓ヲ受取ノ領収証ヲトリ送リ來り告

十二時半社ヨリ紙室輸送會社準備調査委員會ヲ開會ヲ以テ(本部ニ)直ニ來ル會敎ニ臨ム久拿連相ノ座談中ヨリ會ニ臨ム件ニツキ井上專二郎代ノ參會ヲ許リ調査委員會ヲ開キ者ヘリ會社設立發起人名ノ理事ヲ開會ノ上相ノ上參ニ移リ引拂迄社長ト面談

實内松夜堂ニテリ 美術飯連ノ招ニヨリ出席ス

一際の賑き湖きに興茶かな 巨江

天氣 晴 一暖寒

記錄 欠席 遅刻 早退

社會の今日

工業俱樂部 清興會 午後 七時頃

辭表

朝十時過ぎ藤宮社長來箱根別邸ニ赴ク

昨日來員各自知用品鈴木注文ノ分代六百弐拾七圓ヲ受取ル

朝世夫來れ之ヒ、全人勤之日ヨリ土産トテ小瀬洋子箱膳ヲ除ク外セメタル五百圓ノ半額弐百五拾円ヲ家計員トシテ受ク半額弐百五拾円ハ全人和久拿弁葉新株払込ニ充ツ

先月中旬支拂ヨリ外ニ祝賀弐拾円ヲ受ク全人今夜ヨリ五発歸國ノ旨

時間の超越を得たる者には何人も敵せず 藤角信藏

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

社會の今日

昨夜来風強り午前九時頃大雨あり十時頃止む十一時晴天となれり十一時半吉祥寺より出社

午后松村倉蔵未訪利藻氏面会后避の模様を報告す行て皆実堂の真意を叩かしむ

午后四時退出小松生と共に山口喜蔵を訪ふ九時半帰宅

寿美午後七時頃吉祥寺より帰る

正彦新嘉戌より来着未れり

天氣 晴

社會の今日

午前六時半起

朝九時半芳村利之来れり父利藻氏と共れり勤辞す

十一時半社

十二時新喜楽にて午餐す午後駒子林生と午餐す其後川部氏送別席に於て日物す果て為すり斗時半帰社

松村倉蔵来り貴美堂主人と共に先田迄と会談す

四時退出

麹町にて濱口氏と明日午后会見す約す

帝国木材会社に藤原銀二郎氏より依頼せり金壱万円を賜はるべきも三十三日会式と遠慮と辞せり

本日辞令を以て校閲と見へたり

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天に在りて河海を支配するは悪魔なり
地に在りて建設するは人間なり　ルーテル

兒が泣けど叱るも泣きたきこの家の
淋しき針をめぐる飯炊　山田邦子

朝十一時半小社
本日午后一時より引続き益船祝宴、霍桜三会
社ノ懇会有之候ニ付、小石川水道付近ニ
日椎亭ゟ迎ひ旨申越候ニ付、引続キ之ヲ
社ゟ報告ス
午後五時半三菱信託会社ノ懇会ニ臨ム筈
ニ候ヘ共、止ムヲ得ス
此時午九分発ノ出雨ニ
乗ル
午後八時半ニ京ニ帰リ藤井
氏ヲ訪ヒ木葉造氏ニ会ヒ、
ノ近況無事勃興ノ模様ヲ報告セラル
宮田行保氏タワオヨリ来ル是迄一氏ノ件ヲ
打合ス筈ナリ

朝十一時半小社
午後川井霍桜会ノ打
合ス
社長ト打合セ、模様ニ依リ、
模様ヲ為ス筈
小松行一郎氏来社、今ノ実行利益ト面会ス
午後一時ヨリ打合ス
四時退社帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

六月二十九日

雨

六月 日午

仮支拂送金社渡
立華備参首参
賀解嘱

進信有

十一時半心社

午後松村長太郎氏来訪 此夜小松小利恭氏ト会見ス今夕 商会ノ若トニヲ招月末必要金支出ノ依頼アリ 其旨承知ス午後ノ汽車ニテ帰途ニ就ク

社交ヨリ天代ノ写真二葉ヲ渡リ之ヲ持ニテ日本銀行ニ立方依頼ヲ受ク行内掲載歴代肖像油絵復旧ノ為也 用済ノ上ハ返還ノ事ニ取計ヒ呉レル筈ナリ 帰宅後石橋和訓氏来訪 重ネテ右ノ依頼ヲ為ス

ナポレオン一世米國へ落亡を企つ（一八一五） 九段上に招魂社を創立す（明治二）

六月三十日

雨

利十次ノ立期ノ通
依テ大越保衣ヲ

終日小止ナク降リ続ク 十二時半社

午後一時針葉会社重役会ニ列席ス

仝二時北野天満宮ニ詣ス 山田新一郎氏来訪 社庫実務ニ関シ打合セヲ為ス

上坂京助氏ヨリ大世紀会ニ関シ紙建貸トシテ二百円ヲ受取ル

辰馬悦蔵氏ヨリ大世紀会ニ関シ書状ヲ受取ル

高橋善太郎氏ヨリ三竹常務ノ紹介ニテ会見依頼ニ付 仝社入社ノ儀ニ付 村越理員トシテ金弐千円ヲ松坂銀行ニ送金ス

京都ヨリ古賀松次郎氏来訪 金百五拾円ノ預金ヲ為ス 仝氏ハ郷里ニ帰国ス

四時退社 帰途三山銀行ニ立寄 上山満之進氏ニ面会ス

進信有リ 依テ本日ヲ持テ廃ス

煙草入ヲ購フ

元軍醫總監（弘安四） 名和長年誕生す（延元元）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



［山上の星宿］ 六根清浄、お山は晴天、昔乍らの檜笠と金剛杖に、燒石踏んで喘ぎのぼる富士講の一隊、金明水に口を嗽いで朝爽の雲海を眼下に、遙か鳩の如き大洋の白帆を數ふるのも快い、或はアルペンストックと、リュックサックに身を固め、日本アルプスに千古の雪を探り、黒部の溪谷に氷河の如き水を啜るも炎暑の快である、しけき夜露の天幕の褥を温す山上、燭々たる星宿を仰げば自づと神秘の感にも打たれやう。

暦術

季寄 〔時令〕清水、夏の月、川狩、打水、蚊遣火、氷、蟬時雨、雨乞、行々子、麥湯、盛夏、苦蟬、夏の雨、青嵐、行水、浴衣の〔花西〕暮陀綿咲、夾竹桃、天人菊、孔雀草、段菊、朝露草、木槿、夏菊、夕顔、木芙蓉、夏椿、木瓜、檀特、水引、〔同〕疣鯛、生節、眼張、車鰈、川鱠、和加奈、茄子、蔬、里芋、胡瓜、越瓜、黄隈元、苹蒿、夏蕨、冬瓜、枇杷、水蜜桃、杏、巴旦杏。

外興 富士詣で、大山參り、或は燕巌、黒部の溪谷等高山み跋渉し山水の勝を探る、植物採集よく、昆蟲捕獲よく、晝中休暇を利して地歴探討の衆に上るも面白い、識には華厳、露降、那智、猿老等名高く、湖沼には十和田、猪苗代、榛名、溜名等著名である。地蔵尊詣で、岡隆參り、觀世音四萬六千日には此日參詣すれば四萬六千日の功徳ありと稱して淺草其の他の觀音堂ふ。京都紙園會見物、又全國に名高き隅田川川開の花火は此月下旬に催され、兩國橋上今も昔に變はらぬ雑沓を極める。

内趣 開基。將棋。囲碁。九月大根、扇菜の播種、肉桂岩梔梔の挿木。冬蔥、韮、芍薬の移植。草花類に日覆を設け旱害を防ぐ。

二十四節

半夏生	二日	
小暑	七日	（後六時四十五分）
土用	二十日	（前八時三十九分）
大暑	廿三日	（後零時三分）

月相

㊎滿月	二日	㊐下弦	十日
●新月	十七日	㊌上弦	廿四日

誕生 文披月・文月

たなばたの淺き夜の空のかげ見えてかさなりてたる文ひら今月 最も榮

紫陽花

朝つゆに
日ごと色増す紫陽花の
うつり變りの七いろよ、
おゝふむ心はかはらねど
切なり夕なにきがかりな
移りごゝろの夏の戀。
さてクやにはふる雨の
消えてくづれて鳴れる蛙。

七月標語 〔一生〕

○月初めより各隣組芝居の催しを開く○此月十日頃より署名神社祭典の賽物懸入れ具持ち○行はる。
○月末より各隣組芝居の催しを開く○此月十日頃より署名神社祭典の賽物懸入れ具持ち○行はる。

時候

一日 商家中元賣出し開始・富士山開・水泳場開く・鳩鐵鬼（十五日迄）・元寇記念
日 鳩濱開港記念祭
水防出初式（五色の組に日本橋區内署し防技に
七日 棚機祭（願ひて笹竹に短冊を結ぶ祭）
十日 觀世音四萬六千日（淺草觀音）
十一日 八專入
十二日 草市・藪木流・神川祭（鎌倉）
十三日 盂蘭盆會（十五日迄三日間は家内に精霊棚）
十五日 中元（前祭は前月に後祭は月初）
十六日 寨日・閻魔詣（參詣人に一月山祭（月初）
京都紙園會（二十四日迄、十六日は山鉾の巡行あり）
十七日
十九日 庚申
二十日 定家忌
廿三日 甲子・陶器市（東京西巣鴨廿五日迄）
廿四日 六地藏詣・法華宗ほうろく灸供行・下加茂神社御手洗會・土用丑（前日を含む）
廿五日 相州大山開
廿八日 己巳
廿一日 住吉神社夏祭

汐さゐやくるわの窓に汐の江に
風を乗れてゆくふねの船 若山牧水

日食の發生を廣く（明治二、治めて官報を發行す（同一六）第一國立銀行（同三）第百五銀行（同三）第百五銀行を廣く（大正一五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の全日

十一時半四十分吉祥寺ヨリ出社
午後本社付二新式来仿 大村利蔵氏ト面合ノ模様ヲ聴取シ本人身柄ノ保証ヲ為スニ決シ様子ヲ見タル時四十分帰宅 寿美子ノ病ノ為メ吉祥寺ヨリ帰宅セシ 自動車ヲ遣ハシ金次ノ用ヲ以テ

社會の全日

永坂卯暁餐
午餐日本生活研究会新聞社会部
雇田仲保、藤田 ヨリ為替

十一時半出社
正午ヨリ業務部ニ於ケル 日本生活研究会ノ幹事会ニ出席 午後、京島両市場ヲ巡回シテ 大阪ヨリ来ル卸売商ノ応接ニ当ル
四時半 三重出張ノ社員 武敬吾来ル
永坂ヨリ金次ヲ金比羅宮ニ遣ハス
南洲屋ヨリ古今屋 餅(四十円)ヲ受ケ 香炉(十円) 朝鮮ノ白分五個(十五円) 雲雀餅(廿五円) 合計百四十円ヲ購入ス
雇田仲保、藤田 ヨリ 永坂卯ヘ
社長及ビ将棋ノ駿答アリ 金、青木、三好ノ諸氏 外ニ数名来ル
南洋漁業株式会社

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天晴 雲飛 風静

社會の今日

發信 吉村 周正 書状 当中 堂未回之 堂未回之 小泰貞 今夜後一時半

發信 さるおり 彼地 さ着しとの 知らせを 受け

受信 なし

朝十一時半出社

午後一時半 周正大臣安邸へ 於ケル 当中 堂未回之 工業小委員会出席ス 吉植政務次官ヲ大臣代 未貞良 農林省 委託 農林省 其理事ヲ 同省ヨリ 会ヒ特権ヲ使用料 金支払条ヲ 意見ヲ述ブ 四時ニ及ブ 四時半ニ及ブ 次官ヨリ 意見モアリ 次官ヨリ 輸入価額 百円ヲ 場合ハ 何時ニテモ 開税ヲ 特別ノ 権能ヲ 議会ヨリ 得シテハ 傾リ

四時半本省ニ 帰ル 本要 途中ニ 高橋係長、 斯波本省ニ 帰ル 羽野ヲ ニ伺ヒ 相手ニ 置ケリ 十時退 散 正庁ニ 於ケル 着（マルセール）ノ 数三日 祥子 逓信 梅子 鈴

今宵よりわれに縁はる、鈴蟲の聲を手にとり顔にせて見ろ　武山英子

社會の今日

發信 晴 雲

受信 なし

泄田崖三郎来訪 山口ヨリ 午後本時 出発

久奈連相 歓迎ヲ 養 工業倶楽部

發信 なし

受信 なし

朝散ヲ 乗リタルモ 両会セス 十一時半出社

三ヶ年工業倶楽部ヨリ 於ケル 久奈連相ノ 歓迎ヲ 兼ネ 会ヒ 会員多数来会 山本農相モ 亦会員トシテ 集リ 会ス

午後四時 帰社ス 其ト 面談、 大川川又八郎来訪 四時退去 帰途 其ノ 面ヲ 一瞥 入ノ内 雲雀ノ 菓子 鉢（二十五円）ヲ 貰ヒ 香炉（一円）ノ 花瓶（三十円）及 窯元不明ノ 古石青磁ノ 似タル花瓶（十五円）ヲ 受領ス

「借りた傘の話」一語も出ぬなき故に 口ヲ探めて返す傘 日記庵

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

稟議	決裁	受領
七四五		

十一時半出社

本日午後四時ヨリ重要倶楽部ノ部ニ理事会ノ召集アリ
議題ハ明カニサレザリシモ恐ラク
午後四時退出直ニ同ジク池田竜三郎氏ノ山口
松月楼ニ陥ル九時半帰宅

夫根津一未ダ サイアムニテ来信ヲ看ヨリ
出ヅ

稟議	決裁	受領
日曜		

午後三時ヨリ倶楽部ニ理事会アリ
午後四時退出直ニ同ジク池田竜三郎氏ノ山口
松月楼ニ陥ル九時半帰宅

十一時出社直ニ三浦重吉氏ヲ招キ今日ヨリ
倶楽部ニ出ヅル事ニ付内意ヲ含メ置ク
十一時十五分倉庫会社ニ於ケル重役会ニ出席ス
四時退出直ニ伴ヒ共ニ副ノ書ヲ立テ見ヨ帰
七時六時半ヨリ会社ニ吉祥寺ニ於ケル
造船所改善問題ニ付 社長ト懇談ス

七夕

梅雨もはたてぬ今宵の逢瀬さへ
晴ゆかぬ空の川霧
年ごとにたえぬ思ひの糸ながら
つもる心を何にたとへん

晴 曇

社會の今日

欠 席 遅 早

辭表
午後三時頃辛ふ一義来訪

晴 曇

社會の今日

欠 席 遅 早

少雨曇

十一時五十五分吉祥寺より出社アイスクリーム製造
器四個代(八十八円)ヲ直田ニ渡ス
午後庄田仲佑氏及山中ヲ月見ス
社長ト面会三吉酒屋ニ行林檎酒ヲ一升余
ヨリ船田ヲ招キ自宅ニテ其ノ親玉ヲ見ス
四時半過出帰宅七時頃寿美吉祥寺より
迎ヒ
橋本周雲氏ノ叔母会セノ書面ヲ出ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十一時半工業倶楽部ニ於ケル紙空輸送株主会社発起小委員会ニ出席看図ス
大村西華ノ諸氏ト工業ニ動ク欠席 株式割当ハ五株ヲ公募シ三万株ヲ三井三菱安田住友ノ諸ケ 残リハ七株ヲ他ノ賛成人ニ発起人ハ各自十株宛トシ総株ハ日本紙空輸送会社トシ目論書之ニ決ス其他ノ議案ヲ決ス
発起人会ヲ六月廿日午前十一時ヨリ
社長及成田氏ト些細ナル改革ヲ付協議ス
五時一条公爵邸ニ於ケル五菱未醒講会ニ出席ス
席ニ出席者ハ二十名程有副議長、武島大将、荒木中将、仮夜海軍少将池田成彬、松山主計ノ外福原井上両泰氏ヨリ福美外リテ晩餐ヲ共ニシ時分後ニ帰ヲ終ル十一時半帰宅

十算文を以て一開と宮も(甲拾二) 米露海軍火薬廠へ納置水兵百名修繕ス(大正一五)

午前 晴 寒暖 記事

本日モ朝ヨリ八十度ノ暑サヨリ回復セズ式ヲ
那日死去ノ報アリ会葬ヲ頼ヲ来ル
午後社長ト室ヲ武田、三宅川二氏ト会合席ニ於テ
業ノ方針ヲ来レ会ヨリ之ヲ演田会長永谷常務ヘ伝ヘ勘考セラルヽ事トス
五時退出

帯座布団白となる(大正一三) 倫敦に亡き中の前者帯主活用難し同人志望の報告は(大正一五)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

住所 氏名 羊雲 寒暖 晴 曇 雨

改	除	除

紅会の合日

昨夜座し十一時半ヶ社十二時半分帰宅寿美子伴て青山青場ヶ於ケル田原坪堂ノ芥俄ニ臨ム寿美い祭典(伝雲一ヲ終リ帰宅余ハ止リテ告別式ニ待ツ三時雲車ノ次芥場ヘ到リテ送リテ帰宅セス

五時相撲ニリ永楽来ル来月分支払ノ為金百五拾圓ヲ渡ス

八時半分濱田君相ハ其儘支那人来社

雨乞や諏天焼けて月一つ 蘭南

住所 氏名 羊雲 寒暖 晴 曇 雨

改	除	除

紅会の合日

郵船会社臨時総会ノ為午後斗時

午前十一時半ヶ社ヶ出ト午後面談

午後斗時郵船臨時総会ニ臨ム社債三千万円募集ノ件可決閉場ス

三時帰社四時半過ヨリ寿美ノ洋会ヘト共ニ自宅ニテ午後六時帰宅

染井ノ幕内ヲ観ス

八時新橋劇場ヘ到リ文楽ノアヤツリ人形 瑠璃ヲ聴リ

津太夫ノ千太郎ヲ相生、太閤ノ朝日奈村ノ深久松ノ段ヲ聴リ

津太夫板ノ来ル祝儀百円ヲ与フ

寿美ヲ始メ一同ヘ送リ

羊帰宅

社紫知に二日の月々夏夕 砧 村

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

乙卯 無冠 晴 寒暖 ほぼ同じ

社會の今日

十一時半ヤ社
午後松村兼太郎氏来訪
社会ト大共和ニ保存論者ニ付テ
石坂川端諸子、吉川重吉等ニ
京都橋本開雲
土田夢痴ノ二子
時半辺ニ
暑中見舞ト高輪名物御ところテ
アイスクリーム三ツ御恵ニ預リ久方ニテ
後堂ニ於テ
午後五時半ヨリ新富座ニ於テ
今我十六名一中節戦板
ノ両会ノ幹事ハ若槻
両氏ナリ

夕日さす旅館の窓のカアテンに
なかば見えたる顔を忘れず
信川すみは

丙辰 無風 晴 寒暖 ほぼ同じ

社會の今日

朝迎日の同会ニ対シ橋本開雲ヨリ書合ニ来ル
見込ニテ午前ニ筆ヲ執リ書面ニテ送リ
藤田武輔中元ノ扱ニ来ル
午後三時寿美ト共ニ吉祥寺ニ詣ル

詩前月水分看る。鶏ふらくは恐れ地上の還なし、
頭を擡げて三山月を望み、頭を低れて五嶽を思ふ。　李白

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

気圧 晴 寒暖 昨 今
役 信 変 信

社会の合言

午前十一時半吉祥寺より中社
午後五時漆原直吉氏白仁武郎君と交互取りタル金子弐(五十円)返却し来ル白仁武ヲ訪フテ未訪ノ親戚ヲ訪ベク手土産弁ケ(金五百円位ノコト)打合ス尚会氏ヨクス政吟振路船注文ノ件談注意ヲ与ヘタリ
午後四時半池田卯一郎ヲ会合ニ着ク午頃、藤村湯川、各務、久主人ノ七名ヨリ水野直子病気入院中トテ欠ノ為メ欠席ノ旨ヲ聞ケリ打合セ散会ス(食事ヲ供ス)ハ時半過ギ
九時半能川美介来ル共存ノ母人病気再発ノ趣ヲ持参スルヨシヲ人明朝帯着ノ旨美ヨリ電報ノ程アリテ、吉美(吉祥寺ニテ)ト転宿ヲ見合スコトニ決シ帰ル

松に原て侍ふ人や盛の月 石 鼎

気圧 晴 寒暖 昨 今
役 信 変 信

社会の合言

午前十一時半吉祥寺より社
午後一時半池田卯一郎ヲ訪フ
席各務氏ト白仁氏ト打合セ右
田氏ト打合セ右
放北原国蔵男ノ子池田相氏未訪
在ハ午ヨリ借地ノ先三年ヨリ南松ヘバ毒
撃除虫剤ゴマ用ヒトテゴム頑林ト仕五年間
五十万円借用ノ事ヨリ後ニ立退スルトス相
氏ハ且ツ妻ノ人伏ゴム園ヨリ又水産ノ仕験ヲリ三ケ川
商事会長トハヤヨリ氏ノ妻女ハ舟越氏ノ妻ナリ
帰リ
休憩ス帰立後会長ヨリ電ヲ以テ藤
阿ヽ採用ノ件社ヘト打合セ主張仔集院名古屋
工場長取締役ヨリ仕ノ件ハニヶ歳ヨリ立ツヘク
丸山氏ヨリ
七時寿美吉祥寺ヨリ帰ル

江戸を京東と京東を戸江 (元治明) す稿改を法刑 (三一同) す布発を布発 (同一三)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

水東 未巳

七月十八日

氏名 両 渡邊 記

清浦子爵案内
閣行社(元殿)ヲ
後五時頃

田中侯爵ト午後八時
半会合ノ筈ヲ

社會の全白

欠席 小松原(一部出席ノ筈)

欠席 (午前中ニ出席ノ筈ノ処差支ヲ生ジ午後ニ出席ノ筈ノ処差支ヲ生ジ断リ来ル)

欠席

十二時頃社

列ス

東京府知事及府下ノ主ナル安政狂四郎氏ノ依頼ニ付自分ノ経歴書ヲ筆録シ及ヒ之ヲ謄写シ之ヲ一平田秘書ヲ遣ハシ之ヲ交セシム

午後八時頃清浦子爵ノ招集ニヨリ九段閣行社ニ於ケル会合スル者

徳川家達、宇垣一成、尾木貞太郎、小山松吉(横手県知事)江木千之、関田貞子、藤村紫朗、藤高橋(一郎)、本山彦一、井上準之助、団琢磨、安達謙蔵、尊厳冑、渡辺洲、鈴木久五郎、人ハ変化ノ枚挙ニ遑アラス

昨日ノ交換ニヨリ九時半在ル会合ニ於テ、昨日田中首相ト会セル処ノ首相ノ全ク交代スル如キ新設セル(甲)短奇会後ノ奉莫迦ニシテ深意ナキ外ニ別ニモノトハ推測セラル

徳川元帥ノ病気ニ関シ深ク心配シ居リタルモ深意ナキ一行ニ於テ

社會の全白

社長ト共ニ会合ノ模様ヲ池田相氏ニ報告ヲ

今朝来訪(宅)ニテ九時神田警保局長ニ依頼ノ件ヲ報告ス神田ト一緒ニ模様ヲ瀬下ニ知ラシ池田ノ件ハ三宅川前事会ニテ之ヲ会セリ其ノ際ニ誰ヤモトス

午後三時半府庁事務所ニ出勤ノ前ニ沼野タリヲ銀行ニ対シ本社ノ負債ハ大正十四年金五万円ヲ返済シ預金ノ件ニ移リタル旨ヲ報告シ尚ホ三十余分経テ帰宅

夜分服部来ル

大阪来信

十二時半社

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十時直ニ工業倶楽部ニ於テ紙業輸送会社ノ発起人会ニ臨席シ月論見書、定款等ヲ決議シ株式募集ニ関スル件等ヲ了シ夫ヨリ午餐ヲ共ニス

午後七時半社ニ

午後四時半辰ニ後山田晋吾宅ニテ唐物青貝模様ノ卓子（五脚一組）ヲ

六時海軍大臣官邸ニ於ケル

進水ニ関スル祝宴ニ列席シ後藤野村（洋々社）等ト卓ヲ囲ミ談話ス

十一時半帰社

十二時工業倶楽部ニ帰ル

午前十時直ニ工業倶楽部ニ於テ紙業輸送会社ノ発起人会ニ臨席シ月論見書、定款等ヲ決議シ株式募集ニ関スル件等ヲ了シ夫ヨリ午餐ヲ共ニス

午後七時半社ニ

午後四時半辰ニ後山田晋吾宅ニテ唐物青貝模様ノ卓子（五脚一組）ヲ

六時海軍大臣官邸ニ於ケル

進水ニ関スル祝宴ニ列席シ後藤野村（洋々社）等ト卓ヲ囲ミ談話ス

十一時半帰社

十二時工業倶楽部ニ帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の公白

発信 昼雲 寒暖 晴 曇
受信 至急 普通 数信

朝九時 寿美ト共ニ御祥手ニ参リ
正午前ヲ辞ス帰途月内相来ル午餐ヲ共ニス時
刻ヲ誤ス内相ノ辱意ヲ余カヲヤリテ山感ヲ議
会ヲ助ケ脱セトスルガ如シ余ハ政権ノ授受ヲ
ハヤシト申置リ三時半辞ス
正午文村利之来リ夕ニ面会ス 多劇改メ来リシト告ク

社會の公白

発信 半雲 寒暖 晴 曇
受信 至急 普通 数信

十二時半午餐ヲ共ニス祥手ヲ辞ス社
午後三時芝倶会社臨時総会 永原三仔 西一取締役
辞任ノ件ヲ作決ス 取締役新
任ニ亜細亜殖産永原武次郎ヲ 決定シ引続キ
西取締役会ヲ開キ取締役社長ニ 元田肇ヲ指名
就職ノ件ヲ議ス
午後三時半東株東株主総会 大内兵衛 取締役就任ノ
件ヲ決スル外 来田ヘト共ニ 社長室ニテ 海上ニル変
地貴ノ即値段ノ件ヲ打合セアリ
午後四時 商事東株総会 大正製糖会社ヲ従来ノ
債権額ニ近キ五百万円 国ヲ二陽四在債保二百万円
東洋倉庫ヘ保証百五拾万円ニテ整理ノ件 来諮ヲホニ
ル議ヲ決行スルヲ余ハヨリ 債権額ノ指名ヲ求
メ回収ニ勉メルヲ 厳ニ戒告シ置リ
文村利之来訪、二十日帰朝ノ旨ヲ告ク 月見出席

有明の月のにほふらんかぎりこそ
住のくるしさ語の恋歌 鈴木松雄

限に好きに過ぐる者よりも
必ら平過きに過ぐ 関西雄弁

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候　曇晴雨　寒暖　晴　雨　記事

夕新女樂

社會の今日

收信　通信　受信

十一時小社ヲ出ヅ
午後京都女樂座四日目浅見立助ト流レ来ヘ午ヲ祝ス瓶（二升）大工瓶二個鏡餅一個送料共三拾六圓三十銭ヲ送金ス
松村竜太郎氏来社
七ツ新規自動車クライスラー大形一台ヲ引取リ立替ノカタヘ旧ハップモビールヲ返ス
新規自動車試乗　栄龍ト乗キ母ト宇治ヲ周ル六時過新女樂ニ到キ助ト辰新ト晩餐ヲ共ニス十四日ノ日ヲカニル　加友故相ノ艶聞茶ヲヤリ洛急振リヲタキ　破ラカヘタリ養平ヲ呼ヘカリシ惜ム
九時半帰宅

井戸端ヒ肩ヲ合ヒテ力論　孔雀

天候　晴　寒暖　晴　雨　記事

社會の今日

收信　通信　受信

朝九ヶ所ノ村正氏ヘ
振ヲ乗ル

天候漸リ回復ス十一時半ヶ出社
御所ヨリ助男代理相馬良成氏国債保険会社創立ノ件ヲ勧誘ニ来ル　会社ハ其ノ保険ノ制度ヲアリ　工場ニハ保険ヲ附シテ破ヒニ賠償セサルヤ否ヲ確メ何分振ヲスリヒトヒ手ヒ高木常吉ヲ呼ヒ話シ善面及書類ヲ渡シ鈴善吉ヲ招キ他ノ要向ヲ研究セシム
八州自動車会社ヘクライスラー自動車代六千三百五拾円外ニ代物引ヲ月分税金一百弐圓六拾銭ヲ支払フ
池田旭氏中出ヲ以テ入マトテ南堀貴振助件ハ多大業風刺ヒ費増額ヲ否ヲ以ノ除ヲ不本意ヨリ出ニ庭ヒ善ヲ以ノ旨田中花助ヒ七ヶ所ヒ通ヒテ断ヲ入ル
二時半帰宅井上ヲ訪ヒ事別ヲ辞リ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 昨日 今朝

元老院会議終ル
文部卿ヨリ奉職
ヲ以テ前十時半
工業倶楽部
ヘ出頭

十一時三十分工業倶楽部ニ於テ元老院大会
依嘱終ル文部卿殿下奉職ヲ以テ会スルモノ総テ三百
名ニ近シ殿下ヨリ開場ノ辞アリ次テ殿下ヨリ今日ハ諸氏ノ
為メニ開キタル会ニ付キ各自ニ談話セヨトノ事ニテ
各自ニ談話アリ殿下ハ午後一時半ニ退場アラセラル
ヨリ午餐ヲ中食堂ニテ喫シ午後二時半ニ再ヒ会場ニ
集リ引続キ談話アリ午後四時半ニ至リ閉会ス

工業倶楽部ニテ新設造船事務ヨリ出頭ヲ請求シ
来リ依テ直ニ出頭ス

五時退出久保氏ニ誘ハレ同氏ト共ニ
依頼ス大阪ニテ紡績会議ニ付キ依頼ス大阪ニテ紡績会議ニ付キ依頼ス大阪ニテ紡績会議ニ付キ

天氣 晴 寒暖 記事

社會の今日

交信 至 信

十一時半古社
三仟圓大村西座事ト水電（朝鮮）事共行悲
ノ事件ト決ス 京ヨリ着リ
小松伊一郎氏大村ノ件ニ付来訪
白仁郵船社長庵信太郎茶林太郎ノ依頼ニテ川崎
造船所ニ手紙合振リ為桑山次長ヲ訪ヒシ処
久保庄相談セント武田本店ヨリ招キタル件ニ
来訪ス 京ニ行カルヽ旨ニテスト及ヒ手ス
実何ヨリ田中首相ト行ケル件 飛脚ニテ申来ル
社内高木郵船会社ニテ来ル 社長不在ニ付其旨返事
ス 其儘帰宅セリ
寿美丹後行 藤田ノ案内ニテ川（千見物ニ赴リ

置場に何物をも置かれ兵隊を
通るのみ

英國倫敦

天氣 晴 寒暖 記事

社會の今日

交信 至 信

朝ヨリ曇天時々晴而リ十後ニ時半頃大村
寿美ト共ニ吉祥寺ニ到ル 成濱平 屋ノ前ニテ三
仟氏夫ト帰リ帰途ニ寺合テ
夜分又雨降ル

君にいま選ぶの命のかぎりに
思ひこがれわが門に現ず 吉井勇

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

雨

十時壽美会道志祥来訪即チ伴ヒ寿美ハ直ニ
武ノ於テ下車十二時出社
午後一時三長針業会社室ニ於テ重役会ニ列席ス
午後三時川崎車会長ヨリ新渡戸三郎氏ヲ紹介ス
武ハ二階ニ於テ採用ノ件ヲ協議ス
武ハ社ヲ去リテ採用ノ件ヲ協議ス
武ハ社ヲ去リテ採用ノ件ヲ協議ス
武ハ社ヲ去リテ



海濱の夏　燒けた砂上には海豹の如き男女の裸の群、黒い兩肩を天日に曝して横はる。紅紫さまざまな流水着に、日傘の色も艶めくモダンガアルの肉體縦やかな風姿も海濱には適はしい。紺碧の海に限りなく晴れ、烽火の如く燃え上る雲の峯は、巨人の歩む姿して半空を蓋ふ。銀の如き快走船の帆が續り、半島を周遊するも樂しく、游泳に渇いた喉を深井戸に吊した西瓜に温すのも炎暑一日の興である。

行事

一日　八朔（徳川家康江戸入城の祝日）・氷川祭（武蔵・秩父）・林間學校開かる・盆會（大阪・三重）
北野天滿宮祭（山城）
土用二の丑
七日　精霊迎（盆の用意をなす）・星下り（夜）・西鶴忌
十日　鹿兒島祭（大隅）・諏訪祭（信濃）・諫祭（東京）
十二日　王子神社祭（十二日祭）
十五日　大文字火（京都）・五山送り火（京都）・盂蘭盆會（三日間）・盆踊（～十六日）
十六日　堺の内侍法寺子部會（二十八日迄）・盆
國祭（京都）
十九日　鎌倉圓覺寺盆供（～二十四日）・愛宕山燈籠（～二十四日）
二十三日　鎌倉長寺開山忌（二十六日迄）・樟太
廣瀬神社祭
二十五日　藤島祭（鶴岡）
二十七日　日蓮佛合祀忌日
○土用後丑の日（鰻の日）

季寄

秋　初秋、秋の蝉、秋風、稍寒、秋冷し、初嵐、花火、鈴蟲、松蟲、花野、秋の蝶、秋の空、秋の蚊、下り鮎、秋の蛍、蟋蟀、秋扇、花南瓜、秋海棠、葛湯、女郎花、紫苑、漂瓢、月見草、夏菊、野菊、蕎、美女櫻、桔梗、向日葵、松蟲草、百日紅、朝顔、（盆前）顔、鳥蛾、蝉、蟋、蟋、蛉、紫蘇、茗荷子、新甘藷、枝豆、瓜、刀豆、南瓜、冬瓜、葡萄。

外興　線外風死して暑さいよ〳〵厳しい。日光、箱根、伊香保、輕井澤或は勝浦、北條、江の島、大洗等の暑海水浴に走くも勝れたるものとも、川狩、納涼會、夜店の見物も銷夏の興として面白い。芝公園内首都、堀切菖蒲園等別製の蓮花咲いて不忍池畔に枝を曳くも雅致深い。舊暦六市見物。大宮氷川祭には東遊十二番の古雅なる御樂あり。社寺には賓物の曝手行われ諸々の町村には草相撲が催される。

内趣　扇合せ・水遊び・芸妓團扇・將棋・盆山・盆栽などな造り遊ぶ。桃、梨等果樹の接木。四季咲薔薇其他花卉類の手入れ。秋蒔草花及び小松菜、秋大根の播種。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

経過 雨 寒暖

感情

交際 信書 変更 信書

社会の合図

船川市八文島南西ニ停滞 時々小雨未ダ十一時半分ヨリ社ニ社ニ先チ八時半市ヲ徹夫ガ未ダ訪セリ
午後ヨリ松村一郎氏来リ宮田警視廳巡査ヲ紹介シ名刺ヲ置ク
本屋地所部長、川村藤太郎氏
恩賜財團済生會ヨリ金五百円五ケ年分納ノ不村男ヨリ
業知通告ノ旨社長ヨリ報告アリ
青木菊雄氏ヨリ夕ニシテ三瓶賜ル
四時半退出 今朝ヨリ服薬下痢アリ

シャンパンを抜く音呼ぶ二花水 陸夫子

経過 曇晴雨 寒暖

感情

交際 信書 変更 信書

社会の合図

十二時半社
午後出社ス 下新来訪 慈恵院（五万円五ケ年ノ）ノ件ニ付 板谷ノ兼十徳川公爵ヨリ話アリタルモ院ニ来ラ（一回ニト宮内省ヨリ一人）就任ノ依頼ヨリ 巡査ヨリ職務ノ大切ナル訓示ヲ述ベ職務ノ規定ヲ守リ又ニ回ニトヲ相談ノ上ヲ返事スルト返答ス
添田東洋大氏来訪 白仁氏年末ハ考慮スルト返答セリ旨ヲ伝フ
松村義太郎氏来訪
四時半退出

風を避けて窓際を離り雪を見ゝて 感心な見ら

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信 受信

晴雲 雨

夕金田中

朝七時四十分山本直春神戸ヨリ来ル 全人会同志相会休職トナル 全人四十年(明治)準員トシテ入社 六年後正員トナル準員中一回給正員トナリ 十年様正員在勤満十五ヶ年 猶務致シ異ル処給額ナシ 三千圓ニ近キヲステ満ロスルヲ申サス 全人ハ来京在勤中(明)妻帯ノ前ノ者生タリシモ 正妻ヨリ大阪ニ在勤明治四十年退職 除籍ノ金額知レ 同地ニタルヘシ

小松行一郎々松村竜太郎来ル 差押候旨 自分債権ノ 金五千圓家屋一部抵当ニ入 分ヲ金庫ニ 裏成シ裏成シヲ債務者ヨリ村利之支 村落ニ面会ノ書類ニ面外シ委任状ヲ渡ス 小松年ヲ護士ニ午後ス

五時ヨリ前迄ニ金田中ニ到リ 十竹美作宅

雨 曇

終日静ニ在宅一読ノ次ニリ アメリカメロン三箱ヲ贈ラル

永田新之丞来ル家内面会ニ午後ニ来ル

故宮の夜の明方々蓮の花 六 花

来信(五一同) 現東京監獄ニ一時囚ヲ(六正七) 井原西鶴ヲ読ム行伝ヲ読ム行伝ヲ読ム所ヲ読ム所ヲ読ム所

天候 晴 曇 雨 雪 気温 最高 最低 湿度 気圧 風向 風力 雲量

船ハ西ニ去リ立浦ヘトヤリ名モ又九州北部ニ依ラズ終リ陽晴未タ文マラス箱根ノ如キ八月三十日以来今日迄天ナリトカリ

朝七時半神田雷共氏来訪病中ヨリステ新ル病胃未タ癒ヘス却テ床トモクヤウ以メリ

十一時五十分出社青天会等所トモテ小川平吉氏ノ三井銀行ヨリ五千圓ヲ振込ム

針業ノ件野城二ヶ文生前ノ様ナ来ル

小松行一郎又松村竜太郎氏来訪小松氏ヨリ転達ニ明書又印鑑(分)証明書ヲ及ビ松村ヨリ村証書貸金トシテ五千圓ヲ受ク

四時十分退出

庭田行信ヨリ見

成辰倶楽部創設準備ヨリ青木信光氏ヨリ八日演所ニ於テ会合ノ事ヨリ趣意不明ナリ断ル

木下利玄

天候 晴 曇 雨 雪 気温 最高 最低 湿度 気圧 風向 風力 雲量

十一時五十分出社

午後四時半島通船知友木下東心氏ヲ見

直ニ真一社債成立ノ様ナリ未ル

四時二十分退出

七月廿一日調収支勝善表関収支社長ニ呈ス

現る神経衰弱より江湖に出でて諸大家に質れと思ひお月様國のなじみはお互へひとりぢ

雛ひ給へ雛を前に會得すろ雛鮫か扇の息なつかしむ 木下利玄

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

水

八月六日

月 寅 戊

天氣 曇

晴

寒暖

記事

社會の出來事

受信 發信 變更 信號

十一時五十分出社ス長久勤

午後斗時團琢磨氏未訪工業會館建築ニ付
ケ三井三菱六先後助ノ件ヲ打合セアリ三菱
六拾万円（内四拾万円ハ各社會館ニテ支出ノ筈
ノトコロ）トシテ箱根ニテ名称ヲ會合昇座仮設
ノコトヲ尚若槻病院ハ三菱会様五万円寄附
ノ筈ナリシモ此事ノコトハ一應斷リ置クノ
ト事ナリ

明日ヨリ箱根ヘ移地ノ激立ヲ自分実印ヲ和郎
秘書役ニ渡ス筈ナリ

午ハ三菱ニテ防火ホコブ置庫建築費ノ内ヘ金百
圓ヲ寄附勸誘ニ来リタル 収入役及ビ會会議員
二名ヨリ現金ヲ交付ス（矢島氏ヲ除ク）

四時廿分退出

北られる度に息子の年が知れ。
勤来た道へゐ組織あはれなり。

（五一正大）　224

八月七日

月 寅 戊

天氣 晴

寒暖

記事

社會の出來事

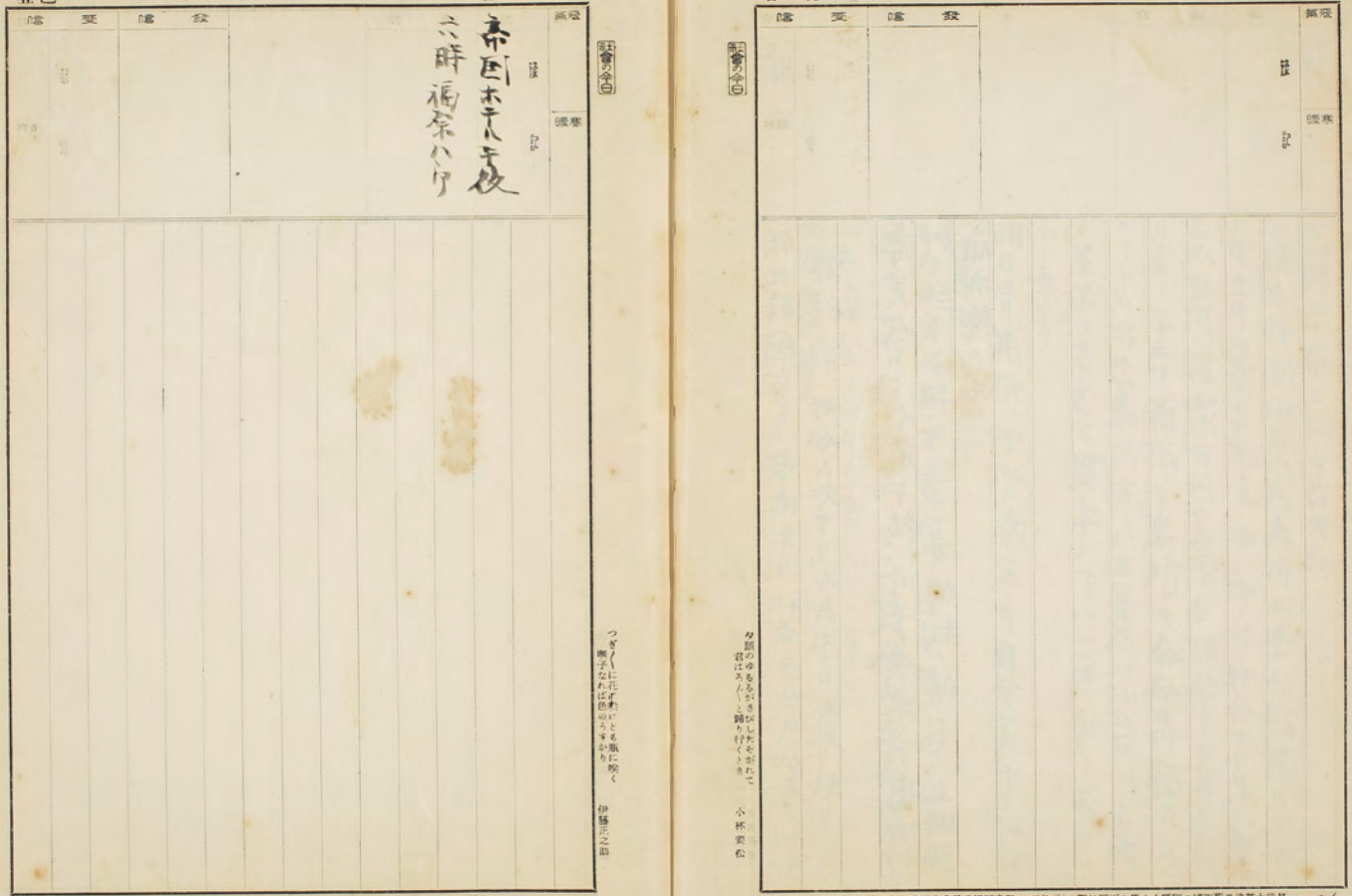
受信 發信 變更 信號

朝九時團氏ヨリ電話来リ社長ヲ今氏仙石ノ別邸ニ招待ノ件打合ス依テリ今氏本日今迄ニ斷リトス

壽美代トハ今道午後一時半ヨリ淺草ニテ箱根別邸ヘ出ニテ今朝来ル筈ナリシモ仲秋ノ候ナリ
五時淺草別邸ヘ入ル

凡ベて二階階には鍵みあり　英語使部

箱九年の役（天喜四）　外人の内地雜居を許す（明治三二）　東京市区改正委員会設置無届出版禁止（大正一五）　225



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

火曜 木星 戊子

八月十六日

大正二年 七月 二日

社會の今日

感想	感激	感銘	感受
寒暖			

日出 五時十六分
日没 後七時十六分

感謝なければ放失勿論せず　英國俚諺

（二水二）む誠を履理ての始（三四七一）る生ーアジアボラ者力婚の見種素質（四元延）る成記鉄王皇神

水曜 月星 乙巳

八月十三日

大正二年 八月 六日

社會の今日

感想	感激	感銘	感受
寒暖			

書あらざれば日を暮しから子　英國俚諺

（二池明）むしぜ誠を一分三萬造酒の調蹟國暴調未（〇一政文）す留山茶昔者魔

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

寒暖	温度	雨量
晴		
曇		
雨		

ちやめんのなまのゆしさがうら淋し　山田邦子

秋の晨午

（七三）戰海の神山館　（明治三三）る居を京北軍合聯

社會の今日

寒暖	温度	雨量
晴		
曇		
雨		

萩寺は萩のみおはし遊の身のおくつき所ここと定めむ　落合直文

（五一正大）す世歴名館十六櫻鎭櫻代米町代龍田秋（九一治明）定制制規人證公社記置（二安弘）も所に多博な者建の元

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

日曜 甲申 八月十日 庚辰 明治 六十二 七月 日

受信	發信	摘要
		晴

社會の全日

（雨）

（大正一五）　ダニューブ河チエルベエ島の兵營大爆發兵三百名死傷す　（大正一五）　米國版初版の國債る成（一八三〇）

日曜 辛卯 八月十九日 庚辰 明治 六十二 七月 日

受信	發信	摘要
		晴

社會の全日

通る人に茶店の世辭を謂ひし　九品太

（同）　（大正一五）　盛作盛氏醫作盛　（大正一五）　盛小個を刑す（天保三）　千餘年前の一切經を數千册下に發見す

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

ちかふかく都にかへらむ會はむひと夏のみの夢はかなし　吉井勇

秋近し病屋小いさき山の庵　鈴石

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

複寫 謄寫

發信 受信

複寫 謄寫

（大正一四）

社會の今日

複寫 謄寫

發信 受信

複寫 謄寫

（五一正大）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

記事	記事	記事
記事	記事	記事

和氣清麿霊社（神護景雲三）　鑑眞渡來（天文一二）　後野幸長卒す（霊一八）　米穀調成和立（大正一〇）

社會の今日

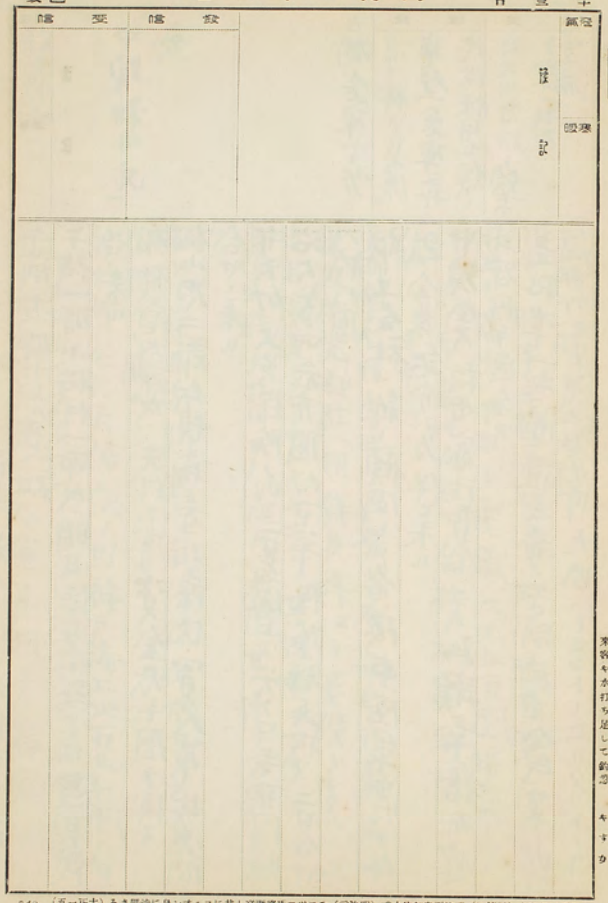
記事	記事	記事
記事	記事	記事

初秋の北伊の野の向に見る　赤色の空しろき虹　與謝野寛

御宮宮本又右衛門陽すく（寛永一四）　新東京光京陵すく（明治三〇）　新港港口にて村役沈船役仲仕四十八名溺死すく（大正一五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日



248 遼陽の大會戰（明治三七）林文圃支那留學生幹事川小村に伴ひ公氏吉平公氏訪問を終す（大正一五）文部講門成巻も成る（同）

社會の今日

249 員選舉新設す（正徳四）明治天皇御即位の禮（元治明）モロツコ英國と親善と共に二ニオンに昇流昇さる（大正一五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴多県曇

中関 和母ヶ浜 金

三商金庫ヨリ

午前十一時十五分出社
午後一時小松行一等文明日信州ニ赴ク 四日ノ予定
告ゲ来ル
松村竜太郎氏ヨリ大村工場ノ資金六千円ヲ預ス
松山ヨリ二等代理店ノ件ニ付状況問合セ来ル
井大竹次保険ノ内三菱海上火災ノ口ヨリ円明治火災ノ内来月四日ヨリ一年保険料及ビ二日合計八拾八円ヨリ
郵便会社ヨリ新ニ頼母子ヲ興ス旨会社ヨリ勧誘アリ
中須賀ヨリ大和家計費トシテ 山瀬幸猪死金 弐百円ヲ送金ス
昼松準一氏ヨリ昨日発ノ告別ニ来ル 公式サキニ済ヘノ通リ
午後四時十五分出社 荘司ニテ故髪神金岡田海相夫人ノ病気
見舞ニ行ク
午前十一時ヨリ社内ニテ打合セ
午後一時半三好治男ヨリ大阪商井等ニ付キ出ノ指ヨリアポ 鉄六松山行図借(年出ノ件ヨリ取引信用会社ヨリ会社ヘサセテハ如何ト申遣リ
午前奥村理事ヨリ谷野吉原商氏ノ計画ニテカネル電力供給会社(朝鮮長津江ヨリ基礎トスル)設立目論見書ノ三ヨリ受ケ其ノ通過ヨリ
午後四時大刀川又八商氏来訪其ノ話ヲ又聞リ
朝日ノ係平岡則盛山荊介記ニ依リ販賣ニ資ノ依頼アリ断ル
井大竹ヨリ次保険ノ内神戸海上四五五千円ノ分ハ十五円ヨリ十七日ヨリ一年ノ分(一年三分)五円ヨリ延ス
夜十打毒ヨリ美政ニ来ル通報ヨリ帰宅

晴

午前十一時十分出社
午後一時半三好治男ヨリ大阪商井等ニ付キ出ノ指ヨリアポ 鉄六松山行図借(年出ノ件ヨリ取引信用会社ヨリ会社ヘサセテハ如何ト申遣リ
午前奥村理事ヨリ谷野吉原商氏ノ計画ニテカネル電力供給会社(朝鮮長津江ヨリ基礎トスル)設立目論見書ノ三ヨリ受ケ其ノ通過ヨリ
午後四時大刀川又八商氏来訪其ノ話ヲ又聞リ
朝日ノ係平岡則盛山荊介記ニ依リ販賣ニ資ノ依頼アリ断ル
井大竹ヨリ次保険ノ内神戸海上四五五千円ノ分ハ十五円ヨリ十七日ヨリ一年ノ分(一年三分)五円ヨリ延ス
夜十打毒ヨリ美政ニ来ル通報ヨリ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昨日寿美ハ政栄ヲ伴ヒ下山ノ帰途大阪江ノ島勝或ハ辺ニ立寄リ夜十時頃帰宅ニ時頃迄語リツヽケ各々為今朝栄外ニ深遠ニシタリ

朝八時ニ県下ニ会議ニ出席ニ付国会ニ付電話来ル

今十時頃ヨリ富士見町迄大判知ニ付俥ニ乗ヲ合ノ件ニ付都合聞合ニ来ル若支ヲ与ヘ三日午前十時中頃ノ再来ス

正午七社

三七川武ニ付岩井栄治ヲ会計部長ニ移任ノ件相談ノ為会合ニ出ヘズ

武田電機会社ヨリ十月一日宴会ノ義ニ付案内ヲ以メラル

午後弁将半川田鷹氏ヨリ別紙ニ青山春場ニ会ノ件ニ付来ル

長谷天政栄会通告ニ付手紙ヲ以テ七ツ半帰宅

夕暮ヨリ雨ニ御蚊ノ流シ錠ニ

ナポレオン三世セダンにて降伏（一八七〇）陸軍開設（明治七）開墾奨励の勅諭を賜す（明治七）開墾奨励の勅諭を賜す和名名著集（大正一五）

社会の今日

天気 晴 寒暖 昨日ニ同シ

欠席 変更 欠席

暑気強シ

午前十時半ヨリ山の本氏ニ於テ一ノ会アリ出席ス 孟一子

居宅を移し表札を移す

十時半出社理事会ニ列席

午後坂本氏来ル

毎月営業税界野依秀一来ル 塔氏ニ面会セシム

長崎支店ニ三千円前小使タリシ時内基ヨリ息（二十二才分家別戸主ニ）就職ノ依頼来ル之ヲ三名会長ニ依頼ニ返事セシム

四時十九分退出

夫村ニ帰リ食後文太ヲ来社

世田東八氏銭湯会費八七八ヲ月分ヲ払フ文松ヲ

伊土トリポリ戦（一九一一）開戦アゾーレス群島大震災者五十餘名を出す（大正一五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



颱風一過　突然襲つた昨夜の颱風はもう今朝は金華山の沖に逃げたと新聞は報じてゐる。大した被害はなくとも町の看板の歪み、電線の所々切断されたあとなど一瞬の自然の惡戯を思はす。落葉の亂れた公園の水溜に映る空の影も今朝は晴れやかに、枝葉透く風のあとの朝のことに秋めいて青澄むのが感じられる。濁水の俄かに增して奔騰する小川の堰には簗をかけて魚を採る人を見る觀衆の物珍しげな顔が覗く。

紅葉月・長月

二百十日　一日
白露　八日（午前七時二分）
二百廿日　二十日
彼岸分　廿三日（後四時六分）
廿五日

下弦　七日　●**新月**　十四日
上弦　廿二日　○**滿月**　廿九日

演梅子

よしの山あをねがはの紅葉づき　時雨降り來て色もかはりけんかな　貞德翁

深山かげから咲いてゐた　わたしも撫子、　思ひ嘯りの色に咲く。

月事

一日　各學校始業・鹿島祭（宮城）大震災反省記念日・關東廳始政記念日
二日　鎌倉國學院山忌
八日　上州太田子育觀音開山忌
九日　重陽節句（菊花を賞し菊酒を酌む）・後の雛・二十六夜待・八專入
十一日　芝神明生姜市・日蓮上人法縁會（増上寺塔頭日秀・日也忌
十三日　乃木祭・石清水八幡祭（山城）
十五日　神田明神祭・横濱山王祭
十七日　繪會中備坊大權現祭・京都大悲山縁日・放生會
十九日　正岡子規忌・鹿島祭（大洗）
二十日　彼岸入り（行事等は自己・六阿彌陀詣
廿一日　甲子
廿三日　秋季皇靈祭
廿四日　芝愛宕神社祭
廿五日　鳥居神社大祭・鬼貫忌
廿六日　日前祭（紀伊）・國懸祭（紀伊）・己巳
廿八日　各地不動尊開帳（武州不動尊は廿九日迄）・中秋名月

備生　食料確保に加ほうるため庭で適當な廣さの畑を耕し又秋季清菜を作ふ。

九月標語　冬の準備に取りかゝりませう。

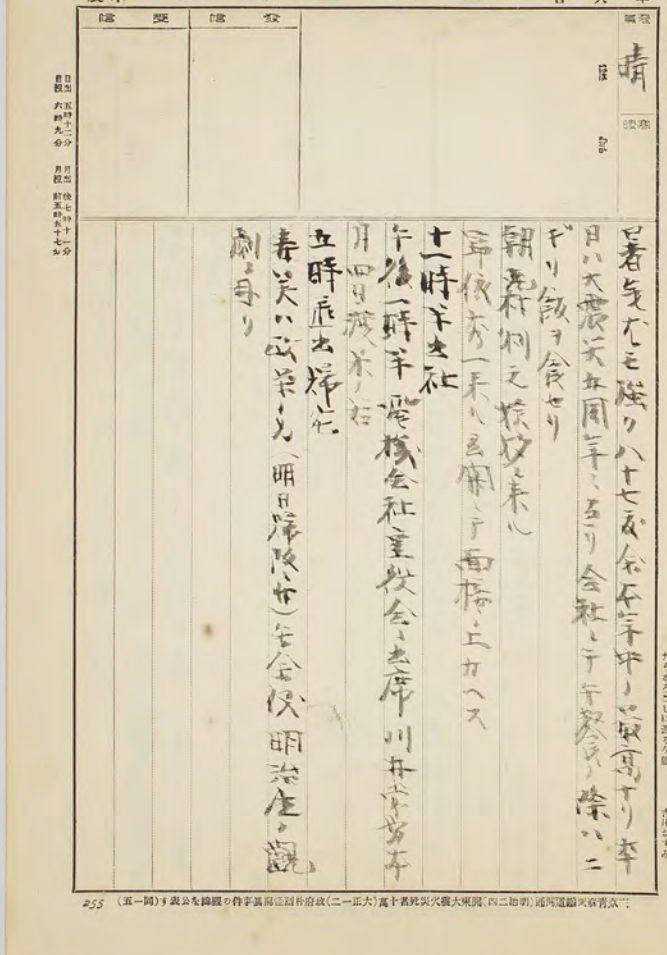
季寄

季寄（明令）霧、蜻蛉、稻刈、名月、桐一葉、稻雀、秋の雨、露、鳴子、案山子、秋の川、落し水、秋の山、初雁、鹽鮭（冬）、木犀、萩、薄、蔦、四季咲杜若、水引、鶴頭、木芙蓉、我木香、蜀葵、鷄頭、鷄冠（食品）、落鮎、かます、ひしこ、かじき鮪、小かれひ、鰡、鯊、唐の芋、八ツ頭、蓮根、牛蒡、慈姑、菊、菊酒、無花果、柘榴、棗。

外興　人は扇を置いて草に木に露に漸く深い。隅田附近・蘆蘆野・河内の三日市等蟲聽によく、日比谷公園、植物園等萩見物によい。尾花は小金井堤、深大寺附近よろしく、桔梗色の富士更に登廬を添へて、一幅の畫圖を思はせる。多摩川沿岸秋草摘み、鴻の臺中川土手等に彼岸花眞紅に咲いて人を迎へる。めだゞ、鯉にぜ、すゞきの釣りもよく、六阿彌陀詣でに近郊の寺院たち廻るも興深い。二科、美術院等繪畫展覽會見物。鎭守祭秋の杜を彩りて村々賑ふ。

内趣　名月に俳友の集り。初雁。蟲聽。花壇の手入れ。燈下讀書。細根大根、みつば、京菜類の播種、牡丹芍藥、圓扇の分封、黃梅、紅梅、葡萄の挿木、果樹冤枝伐採。諸作物の除草中耕、施肥。害蟲防除。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



二青森県震災救護所通知（明四四）　二東京大震火災死者十萬（大正一二）　三府市区復興事業の經緯を公表す（同一五）

天候 晴 寒暖 ほゞ前日

社會の今日

欠 缺 遅 早

六時半起床 洗面 朝食 掃除

土州 寿美会前まで 祥子 川口 迎り 昼食八十六七

夏瓜より甘味し 晩へて夜分まで甚し 座上にて昼寝

う 愛か

草の趣に適き候の秋日かな 鼠骨

天候 晴 寒暖 ほゞ前日

社會の今日

欠 缺 遅 早

十一時半十分 志祥子 川井 帰校 学務 明日十一時五分 立つ 夜来の疲労 未心

青木 十分程 手こり 実家地方 此頃 豊収 た値 夏

実の牛(四円四四) 驚ク

此頃 底土一枚 帯 天下自宅 立ち又 志祥子 迎り

夜分 室 着り二十日の月 朝々 朗々 タリ

脳病院使の話の話でと 二尺五尺の猫がじゃれる 俳話

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

社會の全日

十一時廿五分吉祥寺ヨリ出社
三吉針業會長ヨリ酒別隣席ニ依田父有炭山ニ關スル
即チ田中隆三氏ト會見ノ筈ニ決ス
午後三七川高等會長ヨリ天田工海水鎖事ニ關
事ニ付氏ニ對シ政黨味方ノ樣子ヲ
探ル
七時壽美吉祥寺ヨリ歸ル

天候 晴

社會の全日

十一時廿分出社
正午工業倶樂部ニ於テ浜尾中將來壽院
公爵準備ノ次第ヲ協議ス時日ハ十月一日午後四時
ヨリ場所ハ神田幸輔方ニ決ス
一時四十分歸社
三七川副事會長ヨリ獻金ヲ以テ新聞社
組織ノ件ニ付會社設立ノ件ニ關シ
協議ス
午五下リ明日臺役會ヲ一行キ實現スル事ニ決ス
四時退出
夜分壽美ト共ニ書生ヲ伴ヒ神樂坂ヲ本刀
ト依紀子ヲ爲メ湯巻、湯巻ニ及ヲ揃フ壽美
ハ新川ニ泊ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十一時半出社直ニ劇場会社臨時重役会ニ陸ム今会ハ満鉄ノ社債発行ノ件ヲ附議シ午后一時ニ散会ス其後ノ模様ハ後報ニ告ヲリ

土居勇次氏来訪

西岡竹次郎氏来訪市会明春改選ノ件ヲ来訪会式ヲ同会長ニ造船会長ノ就任ヲ勧ム

松村竜太郎氏来訪本月分収支報告ヲ持参ス

勝田文部大臣ノ招待ニテ今著ノ明夕ノ会合ニテ代表的基督信者ヲ庁内ヘテレクト依頼アリタルヲ断リタリ

四時半退出

夜分田中総理ヨリ来件ニ付、箱根社長ニ電話ヲ掛ケ会社設立ノ事ヲ通知ス

十一時半ヨリ社ニ出日比谷政談演説ヲ聴ク

午後松村竜太郎、倉成文太郎ヲ来訪例ノ勅語奉呈会ニ付テノ件ヲ来訪ヲ受ケ事ハ得ト答ヲ得タレバ其旨ヲ通ズル事トス

午後四時退出六時帝国ホテルニ於ケル大世会ノ招待会ニ出席田中、横田、西岡、後藤、永田ノ諸氏ニ逢フ

後藤川ヨリ通知アリ、来賓ヲリ本会設立ニ決シテ談話ヲ移リ九時頃迄懇談会ハ延年ノ一夜ニ推移セリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖

社會の今日

發信 受信 受信 受信

朝八時三十歳相ノ沢介ニテ支承 公未訪明後

日午後会社ニ而会ヒ物ス

今時此夜六時ニ社ニ帰リ居リ候ヘ共中野正剛氏ヨリ電話ニテ九州日報ニ関係ノ件ニテ未ダ筆ニ尽シ難シ

筆リ申ス迄ニ候ス

十一時帝國ホテルニ於テ 市松鉄波氏送別会ニ出席

昨年中ヨリ立名御ニ大村中島、星松商ニテ事務所

事ニ様ニ関係ニ御ニ会計監督ニ依頼ニ相成リ候ヘ共

漸ク保留ス事ニ相成リテ工業倶楽部ニ一室ヲ定メ十二

時退席ス社

午後上野ノ宿明会ニ赴リ帰リ申ス迄ニ社ニ

箱根ノ社長ヨリ電話ニテ加之会社ノ用向キ之迄ニ

事サス四時退出五時発東京ニ天ト志村ニ

荻田悠記ト来リ泊ス

本誌のまなこにらむ眼の眼。
わが罠を言はず國を小さがり。

天氣 晴 寒暖

社會の今日

發信 受信 受信 受信

盛夏ノ如シ

午後弐時宿ニ帰ル 市松氏未ダ来ラズ自宅ニ電話ヲ掛リ

村山野村ニ社ニ来リ五時半帰宅ス 晩餐ヲ共ニス

中間寿美ハ悠記ト共ニ午前ニ来リ後ニ八時頃ニ帰ル

鋼を見に鍛るいはじめるときに
たゞ鍛錬前見にかへりたゝ。 若山牧水

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十時半壽美ト会葉ス十一時半大内着壽美ハ直ニ馬島ヘ寄リ自宅ヘ帰リヲ待ツ十二時ニ
業俱楽部ヘ於テ森田逓一郎ノ帰朝歓迎ヲ兼ネ会ヲ催ス会スル者凡ソ五十名国際労働会議ノ近況ヲ演述ス
一時五十分帰社
午後斗時日本電報通信社ノ夫永 氏来ル
依テ来訪ノ件ニ付来訪ヲ待ツ
小松伊一郎氏ヲ村ニ訪ヒ会談ス
夕刻帰宅
本夜也時半退出

暑気強シ朝八十四度ニ上ル
午前十時半出社
午後一時ヨリ三菱商事株主総会ニ出席
日本海防協会副会長 松井茂氏 駐露仏人設立ノ件ニ付来訪
高知金融協会ヨリ為替業務ニ関スル件ニ付来訪
山田敏一氏ヨリ寄附金募集ノ為来訪香木共ニ高知ニ
午後五時半退出

天氣 晴 寒暖 陸 記 海 記

午後3時 依農大臣ヨリ
電話ヲ以テ
經濟審議會委員ヲ命ゼラレ
11月7日ヨリ 内閣

午後4時半 國民依農大臣官邸ニ於テ 歸途
依農大臣ヲ其邸ニ訪ヒ 來ル十九日ノ
經濟審議會委員ノ辭令書ヲ受ケ

午後5時 依農大臣官邸ヨリ歸途 朱竹
工業會館ニ立寄リ 來ル二十日 開催各業十會長ト會
見ノ件ヲ打合ス

午後6時 退出歸宅 夜ニ入リ 西祐武ノ宅ニ 壽矢郎ノ爲メ
自動車ヲ廻ス

安倍の水秋の人日に白々と
末はるかにも詰うて行く見ゆ 信義三郎

天氣 晴 寒暖 陸 記 海 記

午後4時 依農大臣官邸ニ於テ
同件ニ關シ 再ビ打合ス

午後5時 依農大臣官邸ヨリ歸途
工業會館ニ立寄リ 來ル二十日 開催各業十會長ト會
見ノ件ヲ打合ス

午後6時 退出歸宅 夜ニ入リ 西祐武ノ宅ニ 壽矢郎ノ爲メ
自動車ヲ廻ス

午後7時 依農大臣官邸ヨリ歸途 朱竹
工業會館ニ立寄リ 來ル二十日 開催各業十會長ト會
見ノ件ヲ打合ス

午後8時 退出歸宅 夜ニ入リ 西祐武ノ宅ニ 壽矢郎ノ爲メ
自動車ヲ廻ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

昭和十年 九月十四日 新月 前十時十二分

天氣	晴	發信	受信
寒暖	昨日		

朝十一時十分ヨリ社
正午池田氏林氏ノ招キニテ午餐ヲ共ニス午後銀行倶楽部ニ於テ本間駐米大使ト会見ス会スルモノ樺山愛輔、松永安左エ門、児玉正金、大方日銀、岡野、和田ノ各氏、尚ホ其ノ外ニ名ハ忘レタリ
引続キ帰社ノ上行一郎氏ト会食ス夫人モ来ル
特ニ久シ振リニテ会食ナリ午後五時半ヨリ約一時間ノ予定ニテ来客ニ会フ筈ノ処ソレヨリ延引シテ
五時帰宅和服ニ改メ六時小川銀相官邸ニ赴ク
今回ノ祝金五万五千余円ノ支出ノ方法ヲ了解ヲ求メル為メ
春日ノ料理ニテ政務ヲ共ニシ午前零時帰宅

冷酒と燗の意見はあとで　日本管理

昭和二年 九月十五日 生 昭和二年八月 日

天氣	晴	發信	受信
寒暖	昨日		

三度飯竹法会ニ出席会

えノ共青地方ヨリ地元実母成代小林一郎氏洋行
依頼為来訪
梅田信和氏来リ毒矣面会
十一時ヨリ社ニ於テ帰宅ヨリ社長ト面会先ツ財政
後世緊縮会ニ関シ懇談ヨリ話シテ後中食正
刷ニ午ヨリ件ヲ依頼ス
十二時前ニテ銀行倶楽会ニ臨ム
松村義太郎氏来訪小松行一郎氏ヘ御礼ニ参ル
五時帰宅毒矣会並吉雄寺ニ参リ金次神楽
ニテ何モ聞ケズ眠リ
六時ニ着

おいぼれし耐内ながし過ぎゆきも
霜繁地の秋のゆふぐれ　吉井勇

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

日出 五時二十四分 日没 五時四十八分 月出 前七時十二分 月没 後七時七分

天氣 晴 寒暖 昨日より

社會の今日

暑氣強し 古稀手八十度を下りしと申せ
ハ八十七度と下りタリトヤ
壽美、小林々枝太郎い菓ノ移植手入ス 余ハ
タ座ニ登リテ涼ヲトル
二日月ハ早ヤ西ニ一夕なぎの空をかす
めて小さうにいなづま

天氣 晴 寒暖 昨日より

社會の今日

朝雲り 温度下ル十時頃スコシ雨トナル十一時ニ
社倉庫常務三橋信三氏ヲ呼ニ一昨日内様
証明旨面ニテ郵達アリタル本田七郎ト田中金
之助ノ借ト帰ス約束物ト付大島立三ヨリ
自分ト面会ヲ求メタル旨面ヲ交付シ其答案
ヲ今午ニ
午後 坂本忠治氏ヨリ伊藤信義名ノ語
リ 宿田什保状ヲ見ル
本刀川又八郎型鏡ノ状ヲ社長ヘ通ス 会社ト
ハ全ク関係ナキ理由ト共ニ自分名義ニテ三十度猶無
ノコトヲ、社長ヨリ御心配ノ御ヨシ承知アリ
七月末収支損益表ヲ社長ヘ提出ス 社長ト新役
員自核会社ノ室数ヲ検査ス 副手田中完
氏ヲ相談スルコトヲ五時退社
壽美志摩ヨリ帰ル夜分雨

271 (五一正大) 米國フロリダ州ダリロ國ニ属シ一連邦ニ属シ一連邦ニ属シ一連邦

天候 晴 寒暖計

社會の全日

午前十一時半社

正午田中法理事務所ニ於テ幹事会ヲ開ク

午後一時半ヨリ社会部第一回ノ会合ヲ開ク

午後五時

正午田中法理事務所ニ於テ幹事会ヲ開ク

午後一時半ヨリ社会部第一回ノ会合ヲ開ク依テ法律部長トシテ挨拶ヲ為シ次テ幹事ヨリ本日ノ会合ニ付キ説明ヲ為シ然ル後ニ午後五時半頃ニ至リ散会ス

午前十一時半社会部会合ニ入リ先ツ幹事ヨリ本日ノ会合ニ付キ説明ヲ為シ然ル後ニ午後一時半ヨリ社会部第一回ノ会合ヲ開ク依テ法律部長トシテ挨拶ヲ為シ次テ幹事ヨリ本日ノ会合ニ付キ説明ヲ為シ然ル後ニ午後五時半頃ニ至リ散会ス

四時帰宅和服ニ改メ一泰ニ於テ弁当ヲ喫ス

四時帰宅和服ニ改メ一泰ニ於テ弁当ヲ喫ス

午後一時半ヨリ社会部第一回ノ会合ヲ開ク依テ法律部長トシテ挨拶ヲ為シ次テ幹事ヨリ本日ノ会合ニ付キ説明ヲ為シ然ル後ニ午後五時半頃ニ至リ散会

午前十一時出社

会十二時工業倶楽部ニ於テ国民ト労ト工業会長
古市公威男其他十二単会長（原敬、高橋、
大石川、今 、其他ノ諸士ト共ニ工業会設立
ノ件ニ付意見ヲ交換シ漸ク各単会ノ工業会ノ
意味合ヲ諒解シ一致ヲ見タリ

引時半社ニ帰ル

五時退去セントシテ立チ上リ右備前ノ徳利ヲ贈ラレタル
旨ヲ発見同五日之ヲ返却ス

六時新吉栄ニ於テ無名会ニ出席若槻件次郎
湖城之助二氏ト共ニ来会者引十二名ニシテ
来次竹二郎氏ノ来会セルヲ以テナリ
此日山田政一氏来社之ヲ招キシ引合セ支那ノ件
ヲ内ニ協議ス

山内豊信叢苑
西公訓格言常社
昇格運動ヲ会
合等候会銘ヲ
五時断

朝十時新川ヲ発シ寿美重渓ノ来訪
神戸ノ大倉ヨリ三来リ面会ヲ謝絶シ会席ニ
書ヲ以テ意ヲ述ブルヨリナリ
十二時十五分出社理事会ノ列席ス
十二時社長ト面会銀行公債取扱ノ件ニ
理事会ノ議ヲ以テ原木理事ヨリ移転ノ
件ニ付意見ヲ開陳ス
五時退去帰宅中村嘉料ヨリ文ヲ以テ
新川ノ落田政輔ヨリ二浦ヨリ生ウニ一箱
ヲ贈ラル美味頗ル治ヲ覚ユ
寿美宅ニ十方ニ帰リ蓄音機ノ歌（歌ト
テソンヒトヒト踊ラセタキ）ハ金不二得水ノ作ニテ当日
午前ヨリ各作ヲ見備ハトニテ得水金不二宗和ト
会スルハ明慶ヨリ十七年三歳ニテ二百七十余日且ト今時
今ヨリ五十七年百七十余日ナリ

天氣 曇晴 寒暖 計

午前十時卅分起

欠	缺	遲	早

社會の今日

十一時十分ニ社ヲ朝大鳥ヲ訪ヒ二面ニ来ルヲ面会セズ

午後二時大刀川又八郎来社依頼ノ次第ハ会社ヲ訴訟ノ件ニ就キ昨日ノ判事ニ面会ヲ遂ゲ其ノ模様ヲ報告シ且ツ今後ノ訴訟ニ対スル方針ヲ協議スル事ニ付キ金弐千円ヲ贈与スル事ニ決シ帰ル

四時頃ヨリ和服ニ改メ新井楽ニ赴キ午前中ノ判事ニ面会ノ目的ヲ果シ、尚ホ三上、大川、後村ノ四氏ヲ招待、尚ホ沢（実子）筑前琵琶（目明ケ）ヲ聴ク

七時頃帰宅

寿美ハ朝来芝ノ御夫人ヲ訪ヒ、久保清子井上夏子ノ御来ヲ待チ居リシガ十一時前帰宅

久保清子井上夏子ノ御来ヲ待チ居リシガ十一時前帰宅

秋夕ヤ入日ニ窓ヲ赤クス 鶴女

天氣 半雲晴 寒暖 計

午前十時半起

欠	缺	遲	早

社會の今日

朝十時半新川美人来ル

富みては語り貧ければ羽ふ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發	信	受	信

午前十一時半社前宇中ノ件妻ヲ処理ス

午後五時帰宅

夜八時半五分ノ汽車ニテ西下久奈清子夫人帰任ニ付壽美男送リ為メ東京驛迄全車ス 支笑モ亦母ト共ニ驛迄送リ却ヘル

伴友侯ノ三男ト縁組ニ付 御川家ノ後北氏ヲ会事ヲ

あきの刈萩みの浦さえ秋の野 ゆきて聴き給ふ思へり 羽太赤吉

發	信	受	信

朝九時五十分三ノ宮着落志ニ迎ヘラレ西宿ニ入ル

夜来腹痛ヲ訴ヘル為メ入浴後午餐ニ一盃ヲ喫シ時長田ヨリ不時ノ入来ニ付一ヲ備フル処ナリ

長田ハ見ヘサルモ伴ノ令宿リ最歸ヲ認メ下ノ別荘ニ入レハ池田女西側離ノ辺草茫々不満ノ余ヨリ来ル長田ノ顧ハルヤ先ツ其不信ヲ責メ非ヲ来ハヤ其怠慢ヲ叱リタリ余ハ人ヘ対シテヲ荒ケタルハ之トラ以テ始メトス止ラリ終リテ再ヒ改革アレバ幸ナリ

赤坂事ハ又異ナル駒ノ帰ルヲ待合セ七時過帰宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴雨 雲

朝未明雨午後晴ル 共田ヨリ到ル 本日ハ昨日ノ
為メ中停ノ（共ニ中後雨ス）着午ニ庵ヲ
七時過帰宿

共田行

晴雨

共田ヨリ

午後七時銀行ヨリ斗キ高木支店長久松井両手
支店長ヨリ面会ス夫ヨリ転ジテ盛船処ヨリ到リ船本校
術部長ヨリ面会五時半帰宿
夜分九時二十三分ノ神戸発待名ヨリ西下高木船
井両氏来リ見送ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

電報 晴 曇 雨 雪

若松某座敷会
午前十一時
名月

社交宮殿下の招

受信 信 受信

八時半十五分馬車着 夜烏谷共、倉庫、商事、針業各支店長ヶ迎ヲ受ケ若松支店長ト共ニ直ニ汽車ニテ若松ニ着キ十一時開会ノ築港会社ノ宴会ニ列席ス 重要後事アリ 三時ニ至リテ終ル 若松支店長及次席発来谷一郎ヲ伴ヒ下ノ雨ニ帰谷場長次席ノ連中ト晩餐ヲ共ニス 春為百十銭行頭取モ来会ス 九時十分下ノ雨発 待合ニテ来上太吉ヲ伴ヒ来リ送ル

此日仲秋名月ニシテ蒼谷瑛 満月雲ニ故ハレタリシモ左ヲ除ハ雲間ヲ分ケ 星雲次第ニ西散清朗タル月ハ天空ニカヽリ

十州乃月を一夜ノ浮事の旅

本日社交宮殿下ニ恒トヲ偕ヒ式ヲ奉ケテル連々御ヲ述国旗ヲ掲ケテ之ヲ祝ス

電報 雨雪雨

五前十時任済斎
我会次席
明石行

受信 信 受信

ヶ天典ヲ列ス通知

朝八時三十五分神ノ驛着 松井商事支店長ノ出迎ヲ受ケ 植瀬庶務ノ長等ヨリ神社会事ヲ聞ケリ 次ヲ以ヲ 午後 野手茂平ヲ明石ヘ遣ヲ 友作ヲ軌方ニ赴キ 各ヲ代ヲ其ヲ以ヲ支払ヲ他ヲ得ル処ヲ

夜分 倉庫支配人田中金之助氏来リ 昨夜会ヲ共ニス 次ル 磯島村秀雄夫婦 共男洋太雄次男ヲ 今伴ヒ校ヲ来ル

志宮久女 天典ヲ列ス ヲ 午後 帰途ヲ 梅ヶ峯ヲ詰ヲ ヲ 仔言ヲリ

此日留守中ヲ 大礒使次官ヨリ国家ノ功労ヲ以テ御大典ニ 参列セシメラルベキヤ伺ノ通知アリ（全国ニテ当十名）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

九月三十日

明治四十三年十月七日

天候 晴 寒暖

宛名 様 おば

差出人 長田

午後一時半長田と共に帰り来る田舎の気ト少キ異舞金沢園子賜ハル外ニ赤坂ノ母ヨリ之ヲ贈ル祖母、兵平、各自

五円ヲ賜フ五時半帰宿

今七時五十分神戸驛発帰来 島村 秀雄夫人

母ヨリ又長女ト公驛ニ見送ラル京都驛ニハ吉

富ノお久見送リシ来リ居レリ

車中内田海軍政務次官(信也)山口大井来賀ト

会合 深更迄話ス

社会の公告

遊べど暮れず(に住みたれば)
寂しからずや道の辺の
名も知らぬ草の花

森鷗外

靖國神社神楽殿新築試楽(明治三四)　靖國神社の先頭に立つ日章旗(大正一五)



時雨月・神無月

あらはして木の葉の後のしぐれ月冬の初めにたゆみなし 秋玉集

寒露 八日(後十時十一分)
霜降 廿三日(前零時三十六分)

土用 廿一日(前零時三十六分)
井 廿四日(前零時五十九分)

○下弦 六日　●新月 十四日
○上弦 廿二日　○満月 廿九日

街頭の秋

落葉するかや秋くれば、金の銀杏も、霰堅も、黄石にみだれ落ちては乾鰯に吹きも散らさる西ひがし。捨てられてまた踏る人もなき路の紙屑、新聞紙、きては女の四十路すぎ、空もつめたき人の酔。

競技季節

秋霖も晴れて愈々秋らしい季節となる。スポーツの秋、美術の秋、散策の秋である。神宮外苑に、郊外のグラウンドに、晴れやかな空を切る熱球の響きは都下幾萬のファンを唸らし、公園のプレイボールドの前はいつも黒山の人だかりである。銀座のカフエには新しき映畫の廣告畫かゝり、上野には人氣の焦點たる帝展が幕をあける。野外の庭球コート、網を越えたボールの飛び入る桑の畑には蚕の蠅が鳴いてゐる。

行事

一日 更衣(軍人着衣令)・各呉服店冬衣畫出・日記帳・年鑑出づ・朝鮮總督府始政記念日・東京市廳開廳
五日 逢魔ヶ時(薄暗き時刻)
六日 十夜講(淨土宗)・日蓮聖人入滅(日蓮宗)
十日 湯島天神祭
十二日 會式(淨土本門寺、通の内松法寺・淨源寺・若松寺・善光寺等淨土宗諸寺に續く)
十三日 芭蕉忌
十五日 徴兵檢査(本籍地にて)
十六日 日比谷大神宮祭
十七日 神嘗祭・帝展繪畫會開會・書文挿(大阪)
十九日 ベつたら市(日本橋大傳馬町)
二十日 諸講
下旬 陸軍大演習(十一月中旬迄)
廿二日 御取越・霰馬火祭
廿三日 靖國神社祭(廿三日より三日間)
廿六日 天理教秋季大祭・後の月
廿八日 秦澤祭(秦氏)
三十日 東京高等師範學校創立記念日

○本月中諸種の競技發表あり○夏季用寝具の整理殺菌○學校の運動會○季衣袷復仕立の準備。

衛生 見當に落外散歩の慣習(前額市場にとらゝ注意)

十月標語 子供の誤物や飯物に注意いたしませう

季寄 時令 野分、破芭蕉、秋深し、衣掛つ、行く秋、初汐、初紅葉、新酒、菊酒、秋祭、渡り鳥、初鴨、椋鳥、山茶、寒、花芥子菊、山茶花、木犀、八朔梅、梅もどき、茹萱、龍膽、葉鶏頭、フクシヤ、コスモス、櫨紅葉、(菊品)ぴらめ、さんま、たこ、芝蟹、わらさ、鰹。大根、小蕪、芹、甘藷、慈姑、松茸、初茸、里芋、百合、柿、栗。

外興 小春日和曜かくして遠遊近行心の儘である。茸狩りには浦和、大宮、京都稲荷山等聞え、競獵には御殿場、船橋、佐倉等東京附近の適地として聲いてゐる。園技館、花屋敷等菊人形見物、又日比谷公園の菊花品評會賑ふ。上野公園には帝展繪畫展覽會あり。此月迄上本門寺に行はゝ會式行事に、盛大全國寺院の第一にして、里館に亘る信者の萬燈行列火の海を現じて壯觀を極める。月見。ベッタラ市見物。野球人氣が呼んで駒場其他の運動場大いに賑ふ。

内趣 菜事。謡曲。圍碁。將棋。洋種大根、葱の播種。百合、薄荷、苺、西洋獨活の植付。夏葱、ふき、寒菊の分栽。月花子の挿木。葡萄の冗枝伐除。苗床に霜除けの準備。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 寒暖

朝九時十分中天曜着 御心改メテ十一時ヨリ社
ヨリ後一時 官業会社室ニ於テ三時ヨリ
夜四時半ヨリ帝劇ニ於テ 渋沢子爵ノ米寿祝賀
ニ臨ム五時ヨリ 宴行キ鳥久ニ吉田司会 因テ発起人トシテ
祝賀会ヨリ後ヨリ
帝劇ニ来ル会終
祝辞子爵ヨリ感謝
ル答辞アリ御出ノ別ニ寿像建設ノ挙アリ
ル答辞アリ御出ノ別ニ寿像建設ノ挙アリ
ヌ終リ来ル会終
家庭ニ於ル喜終リ
叫アリ一同之ヲ知ス祝詞ハ徳川家達公ヨリ
祝文ヲハ松方侯ニ呈シ次ニ男爵大倉之ヲ述ヘ
ル答辞アリテ帝劇ノ観劇トナル子爵カメ様ニ喜助トカ
ハヤカリ三番目、露西亜婦、舞妓庭ノ三番ヲ演ジ
ル此日内外政治家、実業家、学者、著名ノ者一堂
ニ会ス無ニ集ル九百五十名、余リ祝辞ヲ
ニ会ス無ニ集ル九百五十名、余リ祝辞ヲ
渋沢子爵ヨリモ答礼ノ演説アリ
ル答辞アリテ帝劇ノ観劇トナル子爵カメ様ニ喜助トカ
ハヤカリ三番目、露西亜婦、舞妓庭ノ三番ヲ演ジ
ル此日内外政治家、実業家、学者、著名ノ者一堂
ニ会ス無ニ集ル九百五十名、余リ祝辞ヲ
渋沢子爵ヨリモ答礼ノ演説アリ

晴 寒暖

朝十時永田町首相官邸ニ於テ第一部（注意）委
員会ヲ列席ス部長ハ枝野 出席 出ル事二十ヲ余ハ会時
トナシ二部委員ヲ会ヲ為其二部ハ本席ヲ
三部ハ大隈信幸侯首座タリ午一部ヲ先審終リ
午餐ヲ喫ス

十二時局ヲ去ル社松田夏次郎氏ヲ招キテ昼餐ヲ
ヲ喫ス来電アリ枝ヲ招ノ打合ヲ十ナシ
四時半帰宅和服ニ改メ六時新喜楽ニ於ケル東電
会長御氏ヲ社長若尾氏ヲ招宴ニ列ス主客ハ新任
ノトラストコンパニーノ ウオルカー氏及其一行ニテ来電
外債ヲ周旋セル仁ヲ陪賓ハ三十余藏相大蔵次
官四ノ両次官山本氏ヲ久金庫相団余、池田、谷勇
士方、鈴木、柳銀行家数十名児玉氏等十
無余ノ御ノ余ヲ九時半頃ヨリ帰宅

海外植民奨励主事田岡貴義、富田幸次郎氏深ク奨励致瑞資金三千円寄附
ノ件ヲ本省ニ申請ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴

注居喬談会
ヲ於テ府下ニ開

朝十時笠済審談会ヲ三部委員会ニ臨ミ勝田文相ヨリ教育制度ニ付意向ヲ聴取ス 中橋商相出席

地方時会社ニ於テ参会 終テ停車ヲ以テ帰社 社ニ於テ面会 銀行、保険会社関係者ヨリ件々ヲ聞給 法制決ノ意見ヲ聴取ス

午後四時再ビ永田府知事ヲ笠済審談会ニ招キ 中小工業ニ関スル金融ニ付意見ヲ聴取ス 商工省

文書ヲ以テ、中小工業者ニ対スル金融ニ付意見ヲ聴取シ五時退庁帰宅

五時三十分帰宅

晴

午来客 新聞記者会見
午後 閣議
午餐 官邸ニ於テ

清浦子府令副ノ

朝八時半中軍正副ニ未訪依頼ノ件ニ付懇談ス 今各軍ニ進ム事情ニ付キ概略ヲ聞ク

十時永田府知事ニ対シ 文政審議会ニ列スル関係ニ付懇談 改正ニ付テハ五年ヲ内後二年ヲ一部、二部ハ五年ヲ内後二部ハ 高木県知事ヲ教育ヲ加ヘ

徳井ト教育ヲ加ヘ 首相議長、勝田文相ヨリ説明ヲ次テ関屋、江木、川田委員ノ質問アリ十二時半後散会ニテ中ス

十二時五十分高輪邸ニ赴キ 社長、招待ニカル吉川重吉、手塚石根、川崎三郎、前ノ三友伯ト会食ス 三氏ハ京都ニ帰社ノ為メ

大世、散上 午后一時半帰宅

時長出神宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寿之夫会幹事為協議ノ為メ八時半五分ノ汽車ニテ高知ヘ出張ス

昨夜

久保夫人
逝去

十月五日

雨 暖 寒

来客会報ナシ
谷某

庚戌大阪事件
解放ヲ告ゲ
祝賀会ヲ開ク

陸軍庭球部員
トおハ何ヨリ十一時迄

地方大気ノ
件上候ニ付資料
展覧会明ヒル

三階トおハ何ヨリ
九時迄

大阪市街電報変

昨夜十一時半久保次男大亮（十七）ニテ友愛村（病院）ニテ逝去（ス）ト共ニ十六会ヨリ自動車ニテ（野村病院ニテ）帰途（ス）汉神宮行電車ト衝突、野村即死大亮重傷ハ時半知レタリトノ電話ニ接シ早速清子夫人ニ夫婦連名ニテ弔電ヲ発シ今朝八時白金久保宅ニ夫婦ヲ代行ニ届ニ弔意ヲ述ベ居ニ弔状ヲ送ル

十一時十五分出社、庭球会出席（発車）

午後役物部復興事務ノ宮松清行氏資金ノ件ニ付来訪、序ヲ以テ会計整理ニ就キ依頼セラレ事ノ取次ヲ頼ニ応ジ、社ニ於テ分系会社ノ株券四枚ヲ預リ置キ、尚ホ後日ニ於テ株券ノ裏書ヲ為スベキ旨ヲ約ス

渋沢子爵ニ会ヒ病気見舞ノ件ニ付来訪、就キ

昨夜

久保夫人
逝去

十月六日

晴 暖 寒

大日本下水改良
会ヨリ会報ヲ送ル

大阪会館ニ一
冊ヲ寄ス

朝十時半松村義太郎氏夫妻工場近況報告ノ為来訪

十一時半十分出社

午後永倉理事ノ招キニ応ジ午餐ヲ共ニス

社長ト対談

役物部復興事務ニ関シ依頼ニヨリ義捐金三拾萬圓ノ内金弐百五十円ヲ差銀行ニ振込ノ依頼ヲナス

十時半退出帰宅

発信 豪州 電報 着信 受信 着信

織前運輸の件
さりとは大儀、御列運
搬の注意書来れ

案外にも朝来豪州吉祥寺行見合せとなり
午後三時湯島天神下某所にて某方と会合
の書面協議の依頼あり

一守住貿商業 古島 宇治川先降等 消
一澁和喜業 岡家全慶 全
一呉俊明業 山水会 双幅 全
一野中兼山業 書幅 城 全
一柳里恭業 一行書 全

婦途某所にて古島と立ち寄り谷春高砂の幅を返
し南溟鴛鴦蓮葉の幅を求め(四枚図)大雅堂
山水(春山六明箱)一幅を預り来れ

夜分大阪白河大人の使宮田栄吉(塔之書来所
二十日六)来れ山本熊太郎氏より荷り来れる会
し鯉洋石磯の石摺数葉を会人と共に山本へ寄
送の依頼をなす

石磯氏明日死亡せりとの報あり

発信 両 電報 着信 受信 着信

午前十時東京会社
東京会社

実業世界社長田
東京会社

午時五十分社
午時五十五分東京会社と
前村平作氏の
自宅伯陸下に献上
後か取寄せ男爵
村法律上の頭取
村法律上の頭取
実業世界社の谷田某来訪
三菱製紙の田原某氏
書状参
四時過ぎ凡両益々其友
スル時閉幸静と帰ス

時々の留守をあづかる月なれば
風雅正道に精進致るなり 蓑山人

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 晴

社會の主日

送信 受信

午餐ノ新兵衆ト卦ヤ駒ヤ児太郎ノ四人ト午餐ヲ共ニシ退日ノ初ヲ茶ヤス三時歸社

日仏会館仏撰午餐会案

田中陸三郎ト

昨夜ノ暴風ヤシ今日ハ晴天トナリ十時半出社

十二時半新兵衆ト卦ヤ駒ヤ児太郎ノ四人ト午餐ヲ共ニシ退日ノ初ヲ茶ヤス三時歸社

世界平和同盟ヨリ招待状到着歸途其儘仏国郵船会社ニ立寄リ六時帝國ホテル於ケル田中陸三郎ニ胃ヲ痛メ陸三郎ト近況利子ヤ株ノ話等ヲ為シ夫ヨリ未会者ハ無慮六百人伯爵太田垣ノ講演アリ講了茶菓ヲ相伴夜ヲ打ヲ了シ山本達雄男ノ答辞アリ散会ノ際想像以上ノ盛会ナリ九時散会歸宅

天候 晴 寒暖 晴

社會の主日

送信 受信

正午高輪邸ヨリ自動車ヲ廻ハシ呉レタリ

葉俣堂部

芝浦会ニ後世代新

十時半出社高輪邸ヨリ社長バーネットヲ始メオルカー及ヲ甲ヲ天ヒー両氏招待ノ午餐会ニ陪ス

陪席ハ他ニ平田、巻務、武田、大内ノ四氏ナリ

時半退出歸社三菱信託会社ノ宴往会ニ陪ス

六時ヨリ高輪邸ニテ銀行關係歓送会アリ之ニ陪ス

招待歓送会アリ之ニ陪ス

芝浦倶楽部ニテ

銘島焼中西(大林区前リヤリ)ニテ

午餐ヲ了シ十枚許ノ変六枚ヲ六枚用シテ腸ヲ

高輪邸ニテ会後伯爵ノ講演アリ十時過退散

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖

十時半ヨリ社
十二時半ヨリ教育改善（文政審査会）ニ関シ打
合ノ為、来訪川島氏ト共ニ伊東屋ニ於テ昼食
午後一時ヨリ貴族院ニ於テ予算委員会ニ列席シ引続キ
帰社ス 社会政策学会ヨリ招待ニ応ジ
夜七時ヨリ帝国ホテルニ於ケル晩餐会ニ出席ス
今夏今年ニ避暑者ヨリ
十六年望アリ小田原ニテ
見ラレサルタメナリ
三時過帰社 社友ト面談 社長明夕京都ニ向ケ
出発ノ為

天候 晴 寒暖

午前十時 首相官邸ニ於ケル 注済ニ審議会ニ出席ス
後一時半ヨリ文部大臣官邸ニ
改善問題ノ委員会ニ列席ス 催サレタル午餐ヲ了リテ
帰帝国ホテルニ於ケル 社会ニ先ツ数分間
六時頃終リ更ニ新年祭ニ於ケル 無名会ニ出席
又本社ニ於テ九時頃退席 帰宅

注済審議会
第一部ニ於テ
地租増徴ニ関スル
ニ付意見ヲ述ブ

無名会ニ於ケル
演説
ヲ筆記ス

支部委員会ニ参列ス

最も美しき玉は最も深き地に在り 英国諺

岡田と兄弟分の盃山子かな 蕪村

午後一時半ヨリ教育改善

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十月十三日

天晴 寒暖 陸軍 海軍

十時半出社
午後一時経済審議会ニ出席ス 委員会ニ出席 四時退出帰宅
五時逆賊美会迫古祥手ニ到リ
夜分迄天下ニ宗まれり

[illegible]

十月十四日

天晴 寒暖 陸軍 海軍

午後七時成茨城県下稲敷郡入日軍宗病闘病者収容ヲ北浦附近ニ設立指令ノ件ニ付陳情ニ来ル
中村孝太郎 秦真次訪問

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴

十時半ヨリ吉祥寺ヨリ山ノ社
午後一時ヨリ得撰挙後援会ノ為メ田原、奥村、永倉ヲ集メ打合ヲナス、依テ青木町長モ林会ヲ開カレタル外ニヨリ説メ且社員ノ三種ヲ得トシテハ得撰セズトナス、故ニ後援ノ理由ハ保留シテ本年ハ之ヲ後援スル事トシ船田、奥村ノ両氏ヨリ青木ヲ後援スル事ヲ伝フ
団琢磨氏次女ノ死去ノ報ニ接シ依テ永倉、柳、斗ヨリ団文子及ビ故田代氏ヲ面会ヲ申込ミ会社ヘ引キ上ゲ自分ハ仕事ノ為メ社ヲ出ル
仙台貞代養子ヲ井出次雄(三男)ヨリ依頼ノ件ニ付キ陸ニ出掛ケ来ル
八時半寿美吉祥寺ヨリ帰ル
十六日九月廿六日ノ午後未ダ立案ニヨリ会人ニ頼ヲ嫁ス依頼ノ手紙ヲ見ルニ決シテ意見当リニ映ス大ヲ川見ス

天候 晴

商工審議会
午後一時半商工有合ノ為メ
帝国劇場ヨリ

朝九時藤田依頼ノ来ル十時上野帝展ノ為メ途中お茶ノ水迄依頼ノ為メ会ス、帝展ハ招待日ヨリ偕ス、スルトヨリ展観覧ニ帰ヘスルトヨリ上ル十時四十分ヨリ社
午後一時ヨリ新橋ヨリ鉄宝教会ヘ欠席ノ為メ国民新聞ノ為メ別式ノ為メ代トシテ秀島氏ヲ頼ニ参リ午後七時半ヨリ商工者ヨリ社ヘ商工審議会ニ出席ノ為メ帰宅
各案留案ヲ午後三時半迄ニ帰宅
此朝校手三枚ヨリ柳潮ノ為メ掲載ノ為メ依頼ノ件ニ付キ風ヲ支払フ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

（帰途鎌川家介宅ニ立寄ル

大十日 正午 竜山ニ着月光茶室（井上ニ被招夫帰共
（今ハ斗キ 眺望ヲ欲シ 三時半終リ帰宅
寄有 掛物ハ宗月先師ノ筆ニテ枝ノ鄙ノ月
ノ詠歌アリ（竹林庵）
茶席ハ二畳袴腰ニ一畳由ニテ八畳相応
ノ床有リ 軸ハ窮一山墨蹟、山水
代呂ノコウ、釜芦屋、
懐石 肴ノ他リモ し洗ヒ有リ 後ニ薄茶ヲ出シタル
薄茶ニ次イ 白キヲ水引ニ結ヒ掛ケ生ノ表ノ花
茶統ハ 今三島 茶杓 金象ニ、
菓子 帛四重 日月庵 刑名 銭不賑好
掛物ハ仏川氏 懐紙ニ筆、金 蒔絵ヲ施シ、茶統ハ 大徳寺宣竹ホト
花生 信楽、魚ノ茶統リ
廿日 泰山ハ菊一鉢ヲ送リ来ル 即チ返礼ノ電報ヲ発ス
小菊ハ先日ヲ伊太郎氏山来ル小山ヨリ持帰リ会ニ供セラレシモノ

社会の木日

発信 雨 雲 風
受信 来ル廿二日午後二時半迄
発信 汽船幸下ル
受信
受信

午前九時寿美ヨリ電話下ル 午ヲ明神
集合ノ為メ 青木明石両家ヘ
午前十時半位迄次第ニ竜山ニ参ル様ニ
被下ヨシ依頼ス
廿二日ノ産業懇会出席ヲ断リ 伏見陸義
鹿島庁次郎 令嬢死亡ニ付電ヲ発ス
午後二時半来宗海上保険重役会ニ出席
午後五時半退出 九ビル楼迄テ ベテントニテ
（二十七円半）新建ヲ依頼ス
寿美迄ヲ伴ヒ共ニ喜観劇ヲ歌舞伎座ニ
観ル
本月十二日午ニテ汽船入幸下ル 廿日午前官報ト
貝ニ夕刻 安芸ニ大農業ヨリ野菜数個ヲ贈ル 依
貝地

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天晴 暖

午前九時半令嬢ノ縁談ノ為後藤氏来訪

十時永田町首相官邸ニ於ケル経済審議会ニ出席

午後委員会ニ出席大隈信常侯ニ面シ詩ヲ揮ヒ貴族ノ体面ヲ保ツ様注意ス

午後二時ヨリ枢府ニ出席ス

午後四時半中外商業新報社長梁田貞氏来訪

懇談ノ件ニ付来訪

松村義太郎氏ヨリ松竹ノ一部ヲ武村工場内ニ移ス事ニ付キ来訪

徳吉氏名義ノ株券ニ付キ貴族ノ体面ヲ保ツ為メ来訪ス

土佐夏休ニ付来訪

永倉氏ト退職手当ノ件ニ付打合ス

四時半退出

天晴 暖

水戸公園有林山林大会ニ於テ

経済審議会

午前十時ヨリ

来客会釈

午前十時ヨリ

東京会館ニ於テ

一昨年来懸案ノ航空輸送会社創立総会ニ出席ス

天候

午前十時首相官邸ニ於ケル経済審議会ニ出席ス

午後一時ヨリ各自発言アリ

水産分科ヨリ各自発言アリ

午後一時十五分退出直ニ東京会館ニ於ケル航空輸送会社創立総会ニ出席ス

午後二時ヨリ各自発言アリ

午後四時ヨリ各自発言アリ

午後五時ヨリ各自発言アリ

午後六時ヨリ各自発言アリ

午後七時ヨリ各自発言アリ

午後八時ヨリ各自発言アリ

午後九時ヨリ各自発言アリ

午後十時ヨリ各自発言アリ

午後十一時ヨリ各自発言アリ

午後十二時ヨリ各自発言アリ

午前一時ヨリ各自発言アリ

午前二時ヨリ各自発言アリ

午前三時ヨリ各自発言アリ

午前四時ヨリ各自発言アリ

午前五時ヨリ各自発言アリ

午前六時ヨリ各自発言アリ

午前七時ヨリ各自発言アリ

午前八時ヨリ各自発言アリ

午前九時ヨリ各自発言アリ

午前十時ヨリ各自発言アリ

午前十一時ヨリ各自発言アリ

午前十二時ヨリ各自発言アリ

午後一時ヨリ各自発言アリ

午後二時ヨリ各自発言アリ

午後三時ヨリ各自発言アリ

午後四時ヨリ各自発言アリ

午後五時ヨリ各自発言アリ

午後六時ヨリ各自発言アリ

午後七時ヨリ各自発言アリ

午後八時ヨリ各自発言アリ

午後九時ヨリ各自発言アリ

午後十時ヨリ各自発言アリ

午後十一時ヨリ各自発言アリ

午後十二時ヨリ各自発言アリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

夜半ヨリ雨　本日ハ休暇ニ付帰ル筈ナリシモ多少ノ雨ニ拘ラス馬匹評議会ニ参会ノ為メ帰ル筈ナリシ

午後五時頃ヨリ雨ト化シ午後七時頃ヨリ益々降雨強シ

仍テ本日ハ帰宅ヲ見合セ

雨

午前六時頃ヨリ雨ト化シ午後七時頃ヨリ益々降雨強シ

仍テ本日ハ帰宅ヲ見合セ

朝十時半社

明治神宮奉馬並奉献

国民皆兵ノ義ニ付講話アリ

産業組合ニ於テ

青山斉場ニ於ケル中村旅団長ノ告別会ニ参列

二時頃ヨリ友社四時頃ヨリ其楽倶楽部ニ於テ

五時ヨリ八中会ニ於テ

新兵歓送ニ於テ

前田相生署長ト共ニ

十四人宅ニテ晩餐ヲ共ニシ

十時帰宅

午前十時十分出社
正午工業倶楽部、祝賀理事会ニ出ル金解禁ト
外債ノ関係ヨリ活句部員全部ヲ招キ其時期ヲ
議題ヲ以テ午後ニ決定ス
午後五時富田幸次郎氏ノ紹介ニテ牧野金正氏ヲ
引見ス人主来リ雑誌援助ノ依頼アリ
又面ヲ以テ直ニ断ル
四時半退出其儘倶楽部ニ立寄リ坂之上ニ
暫ク見ル用ボートヲ廻シ中途電燈消エ
果サズ直ニ引揚ゲニテ入札セズ
午後五時半新矢楽社ニ弁山銀一話会ノ発
親会ニ臨ム中村商工大臣以下両次官石井出席ス
十時半帰宅
寿美夜半半時半過ヨリ激痛ヲ催ス直ニ産婆ヲ
呼ブ来ル頃迄ニ痛ミ薄レ七時頃ニ
直ニ泊ス

晴
午前十時半出社
正午工業倶楽部理事会ニ出ル
午後二時半ヨリ三時迄
弁山銀一話会ニ出席、
午後五時半ヨリ六時迄
高輪御邸ニ於テ伯爵
大倉集古館ニ於ケル
寿美ノ病気ニ関シ美介ト打合セノ為メ産婆
ヨシ処ヘ行キ時来ラズトノ事ニテ会ハズ刻来ル
本邸ヨリ人ヲ以テ急ヲ告ゲ来ル仍テ一応寿美ヲ
診察スルノ事トス
十時半ヤ社ヤ帰宅、陰寿美ハ今朝ノ疲労ノ為メヤヤ
眠リ
四時帰宅、服装ヲ改メ高輪御邸ニ赴ク
晩餐ヲ出ス社長招待セラルルヲ以テ
又伯爵ノ通知ヨリ高輪ニ来ル
ヨリ当日伯爵八八席ヲ新メタリトテ十時帰宅
美介夫婦ニ会ハズ来ル
明朝七時自宅ニ会見ノ事ヲ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

晴 寒 暖 昨 夜

正午日本工業倶楽部ニ於ケル新ノ懇会ニ出席ス
日本新ノ懇会長 清浦子爵ノ招待ニ応ジ
清浦子爵ヲ訪ヒ
午後五時ト二十分 帰宅
文政審議会ニ出席ス
午後七時ト二十分 帰宅
青木信光来訪

朝九時田中栄理ヲ案内ノ為メ来訪ス
栄理ノ用件ハ昨日ノ閣議ニ於テ決定セラレタル
日本新ノ懇会ノ会長ニ清浦子爵ノ推薦ニ関スル
件ニ付テノ内閣ノ意向ヲ伝ヘンガ為メナリ
正午日本新ノ懇会ノ会長清浦子爵ノ案内ニヨリ
日本工業倶楽部ニ赴ク 倶楽部ニ於テハ
日本新ノ懇会ノ発起人ノ外 貴族院議員
衆議院議員 其他ノ有力者多数参集シ
中ニハ連中見エ難キ新ノ顔モ交リ居リタリ
為メニ一方ニハ新ノ懇会ノ発起人ノ顔ヲ見
又ハ退職ノ場合ニ於ケル給与ノ問題ヲ
得ントスルモノアリ午餐会中ハ専ラ文相ト
此ノ事ニ関シ談話ヲ交換シタリ
午後二時ト二十分 帰宅
午後三時ヨリ 青木信光 来訪
其余ハ来客ナキヲ以テ閑暇ヲ得タリ
金融ノ逼迫ハ依然トシテ緩和ノ模様ナシ

晴 寒 暖 昨 夜

午後五時ト二十分 帰宅
午後七時ト二十分 来客
青木信光来訪

午前八時半松下芝叟ヲ訪ヒ 来訪ノ謝意ヲ表シ
且ツ最近ノ時局ニ関シ 意見ヲ交換ス
午前十時半 青木幸吉来訪
午前十時半 相原郁次郎来訪
午前十時半 永田仁助来訪
午前十時半 斎藤実来訪
午前十時半 小川平吉来訪
午前十時半 三橋信平来訪
午前十時半 松村善太郎来訪
午前十時半 鈴木喜三郎来訪
午前十時半 床次竹二郎来訪
午前十時半 安達謙蔵来訪
午前十時半 犬養毅来訪
午前十時半 秋山定輔来訪
午前十時半 小川平吉来訪
午前十時半 芝山内錦水来訪
午前十時半 松村善太郎来訪
午前十時半 鈴木喜三郎来訪
午前十時半 床次竹二郎来訪
午前十時半 安達謙蔵来訪
午前十時半 犬養毅来訪
午前十時半 秋山定輔来訪
午前十時半 小川平吉来訪
午前十時半 芝山内錦水来訪

半晴 寒

朝九時箱根ノ小田巽来来ル
公九時四十分頃ニ 式夫婦 銀瑛伊村氏
穎井、鈴木寿(百圓)ノ権カヘ 今村大三郎 共ニ
ニテ昨秋千葉僧侶ノ接待ニ来ル 壽夫引
取中対面ニ話ハレル 昏新リ置リ午後今村夫人
ニ見エタリトヨリ
青木米雄氏夫人々ニ好意面会 夫人 壽ノ夫見舞ニ
来リトヤメリ
十時十分首相官邸ニ於ケル 在支十年限其他ニ関シ 湯川氏ノ立寄見ヨ
リ正午退邸ス 社
午後北氏ノ面会 銀行公開ニ関シ 退職ニ付基金ニ於ケル意見ヲ開陳スル旨ヲ回答ス
芙蓉ニ金弐百五拾圓ヲ以テ 今夕六時ノ電車ニ帰西
夜分迄ニ帰ル 壽一見ニ来ル

曇 寒

谷信 谷信 谷信

公爵お雪氏女中 病気ト丸帯一筋
ヲ贈ル

朝出天帰邸ス 旅費ノ補足トシテ金弐百圓ヲ送
ル(午前社会問題研究) 本人貴邸、長田別荘使用
料領収証神戸三井銀行支店ヘ振込ノ件 濱ヨリ
電報ヲ取扱フ 前日相反シ 洋来ル切ニ訓戒
ヲ加ヘ置ケリ
立原任弐ヨリ壽芙来ル 正夜病状ニ関スル
モノニテ 昨朝ヨリ発熱シテ 本人ニハサズ 自分渡リ置
リ呉ヨ様ニ申送リ 帝正夜ヨリ 壽ノ病気ニ付
セラレルト共ニ 其ニ付壽芙ノ細 帝正夜ヨリ
(然ルニ)ヨリ 文面若シクハ 電報ヲ以テ申越リ
午後一時半 幸獅志祥寺ニ詣リ 会ス ヨリ
合サレル 日陰ヶ高島屋ニ来リテ 取引ヲ
セ、近衛秋ト一見ニ来リ居レリ 会ス
其夫 今夕六時ノ汽車ニテ 本立帰邸

夜九時頃壽ヨリ夫 復 病ニ付 直ニ下ル 夫妻ヲ
ラスレテ 帰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 曇雨 暖寒 記事

朝九時半赤司医来診（御式宅より青笑病気見舞トして鮮魚来ル）
有田ノ園工今泉ヨリ注文品代金四百八拾弐圓四十銭ヲ支拂フ
十一時半出社
午後当時前青柳博士来訪ノ為メ外出ヲ待チ宅スレバ博士ハ二階ニ在リ博士ノ男文八青年ト来訪ヨリ夜八時迄ニ帰ル旨ヲ聞キ又再ビ来ル
夜八時ヨリ耶蘇六十八歳ノ矢野ヲ訪ヒ宵ノ間ニヨリ蘭拳ヲ学ブ脳ノ痛ム如ト耶会ニ自分ハ神仏迷敬ヨリ来ル宵ノ内ニ帰リト後ノ六ツ半時迄ハ寒中自分ヲ苦シメシ人多ク夜八時義介来リ青柳ノ処方箋ヲ持参ス

社会の今日

交信 受信 発信

英詩人ジョン・キーツ生ル（一七九五） 大日本史ヲ編ム（寛永） 朝鮮通信使ノ日本ニ来リシハ皆ナ此ノ間ニ去ル 廃刀ヲ禁ズ（明九）

天候 晴 暖寒 記事

九時大橋新太郎氏来訪
十一時半出社（朝九時ヨリ村利之来ル）
庭田竹俗代来月四日頃迄ニ帰ル旨申ス
奥村庭吉ヨリヨクムラ、クボタコバニーヨ、ブライベートコンバニーニ変更ヲ以テ借賀、株式会社並ニ分配株借賀（二百万円ノ資本）ノ件ハ株式会社設立済（約六ヶ月後ニ迄ハス事トス
取締役ハ変更ノ通言ヲ以テ一月五日迄ニ行フ事ニ用意ス青木幸次ニ話シ置ク
社長ニモ件ノ打合ス
四時半退社、九ビル一文字ヨリ六時五十分ノ急行ニテ山本ト共ニ我ガ時帰宅
青柳博士検疫ノ為メ宅ニモ入ラズ門前ヨリ電話ニテ用事ヲ告ゲ直ニ引返ス（青笑病気ノ件）

社会の今日

交信 受信 発信

秋の山本を伐りつくしあるべしと はれわたる空を見ればさびしき 若林牧夫

種痘規則を制定す（明七） 教育勅語ノ渙発ヲ諮ム（明二三） 翼西鉄道の清朝在留人殺害を報ず（大正一五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

水曜 甲辰 友引

天氣 晴 寒暑 昨日より

[illegible]

[illegible]

[illegible]

曇晴

曇晴

玉井慶輔母堂
今朝九時歿ス

曇晴

曇晴

文改審議会
午後一時半
立案未了

金秋気清キ某月ト相成リ
朝十時小林喜太郎(政友)寿吉病気見舞ト
来ル箱根ニテ寿吉ノ病気トスキ耶杖ヲ人カト思ヒ
病院ニ入院中吾輩夫婦ヲ聖ニテ見舞フルコトナ
ドヒキテ直ニ心安クナリトノコトリ目ニ一丁字ナキモ
忘レ易カラモノナリ
十時十分ヨリ社
午後討時郵船会社ニ於テ武田千代太郎会社提
出ノ決算ニ関シ実況ヲ説明ス社長今夕
宗都ノ発ノ由ニテ
松岡正男氏ヨリ三日ノ案内ヲ受ケタルモ断リタリ
四時退キ銀座青木堂ニテカバン等個七私五阪ニテ
購ヒ帰宅後直ニ発行ノ件ニ付玉井慶輔氏母堂ヨ
リ悔ニ参リ母堂ハ寿吉ノ伯母寿吉病床ニアリシ
ヲ余ガ代テ仕ヘタル藤田八重子モ改葬ノ件ニテ見ヘタリ

朝九時ヨリ奈良武来訪先日正彦縁談ノ際
書信往復ノ件ニ付自ラ積極ニ金ノ遠縁ヲ得
ンガ為メニ来リテ年緒ニ別ニ意ヲ介スル如キモ
ノ無リシモ一銭奴ト
ト言リタルニハ余ノ立義ヲ以テ夏ノ候ヲ
テニ言ヘメ武ハ陳謝ヲ如メタリ正彦ト対スル
態度ハ自家ノ相続人トシテ武ヨリ勝レタルモ劣ラ
ザル積リニテ守神ニテ全部ノ金ヲ供セラルヘシト
ノ談ヲ武ヨリ納得シテ快リ引取リタリ
十二時ヨリ社四日行通夜ニ於テ玉井家葬式ニ
付キ供花リ注文ヲナス
鈴川源介ヨリ落田合名借金ノ件ニ付各紡及田村
西武ト対談ノ際様ヲ報シ山田敬介代リ田村恵実
武ト直接交渉セラルヘシトノ
一時半文相ニ御ヒ於テ文改審議ノ委員会ニ臨ム

初冬や籠にはみ出し尾と頭　秋晴女
其はみたる蓬頭の上に蔦の富士　ながめてひとり口笛を吹く　前田夕暮

天保銭の面用給与を受ける　(天保八)　平民の乗馬を禁ず　(明治二)　郡制の廃止を制定　(同一一)

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣　晴　寒暖　昨日ニ比シ

教員会総会ニ
校舎落成ニ付後庭
建設ニ付ケ久氏
伯林博士帰
新

雨晴レシモ風強シ
午後二時吉祥寺別邸ニ赴キ小菊殿貞姉
ノ病状ヲ視舎ス
成渓女学校ノ風ノチーフ、ニ十ツアート 薄田ヨリ見ル
十日ニ未見ノ除ケ墓ニ打合ス処アリ
六時帰宅

天氣　晴　寒暖　昨日ニ比シ

今朝二時半頃ニ部屋ニ音ニ目覚ム
午前七時半頃ニ起キ朝飯ヲ終リ直ニ市内ニ赴キ遺族ニ対面
葬儀ニ付何カ当ルトニ意ヲ表スル為メ玉井久理刀称リ葬儀
ニ列席シ十時半会処ヲ辞シ関田海軍大尉
ノ官舎ニ夫人死去ノ平詳ヲ述ベ辞ヲ帰宅
午後五時半御西ニ行一ノ番平荘大谷氏宅
ニ赴キ会葬ノ各別ニ会葬帰宅
五時半行ノ床屋ニテ理髪
夜八時半頃御ニ赴キ入棺ノ式ニ会合ス夜
トキ十一時過帰宅
降リ来レハ家ノ在リ田中保理今朝降ル雨
キヲ訪ヒ意見ヲ述ベ和ス全ク打ち合ハ
ス相談得ル為ニ御カ便利トリ保理ヨリ告ケ
来レトリ告ケ入ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

役割	受信	発信	要旨
社会の今日	景	若波か友雨か	

情状如何候
帝国おこれ之後五
御半 一人請

午前十時半出社
午後一時右市村土佐トニ島安次郎氏工業
会社ノ件ニ付来訪
満鉄ノ田代正樹氏北海道ヨリ帰途訪問
セラル
此時迄出直ヨリ伴ニ三越及田村商店ヨリ
御安井雑誌ヲ求ム
五時半帝国おこれ、ヨリ山本悦造様式ノ西洋
料理招待会ノ案内状来ル、其男式ノ最
やより傳助、市越悦三郎、益雄式三吉信也
ヨリ又ハ各自ニ式来着、代表トシテ保坂
氏ニ会ス、大ノ下ヨリ帰途、日比谷ノ某ノ会
ヲ視ル御半帰宅、寿美夫人生命ヲトニテ出陣ス
美介ヨリ秋市会員倍率ヲ促ス旨ノ電報アリ
十一時寝ヲ告ゲリ、式ノ半ヨリ四ツ美介ノ帰ヲ待ツ
ト久

一般の御有様や大阪手 読花

役割	受信	発信	要旨
社会の今日	晴	晴	

一聖上皇后両陛下 今朝八時一聖所ヲ奉ヒテ
京都御発輦ヨリ
午前半ヨリ出テ甸船会社ノ白仁社長ヲ訪ヒ進
水式場ノ模様ヲ聞キ十一時半出社
午後三時宮中ノ丁ヲ青木三代両参朝ノ
ニ通ヒ九ヒルヒテ貴賓ヲ引キ帰宅
旅装ヲ調ヘ八時半ヨリ石井ニテ西下病
気ヲヒテ寿美介ヨリ垂信ヒ異ヒ
ヨリ両全中軽快ヨリ祈ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

雨雪	寒暖	晴	曇	雨

ゆく秋の大和の國の靈場寺の
鳴の上なる一ひらの雲　臨江木屋園

（五一同）く受た國訓でしと人語の件事島松相首横岩（三正大）す領占を島青軍我（六老慶）く置を士博女てめ始

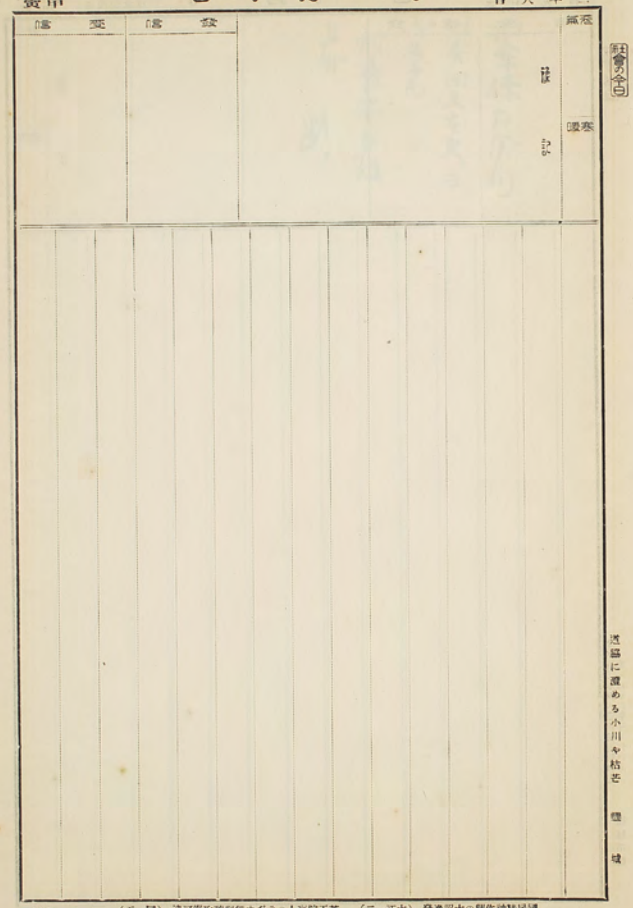
社會の今日

雨雪	寒暖	晴	曇	雨

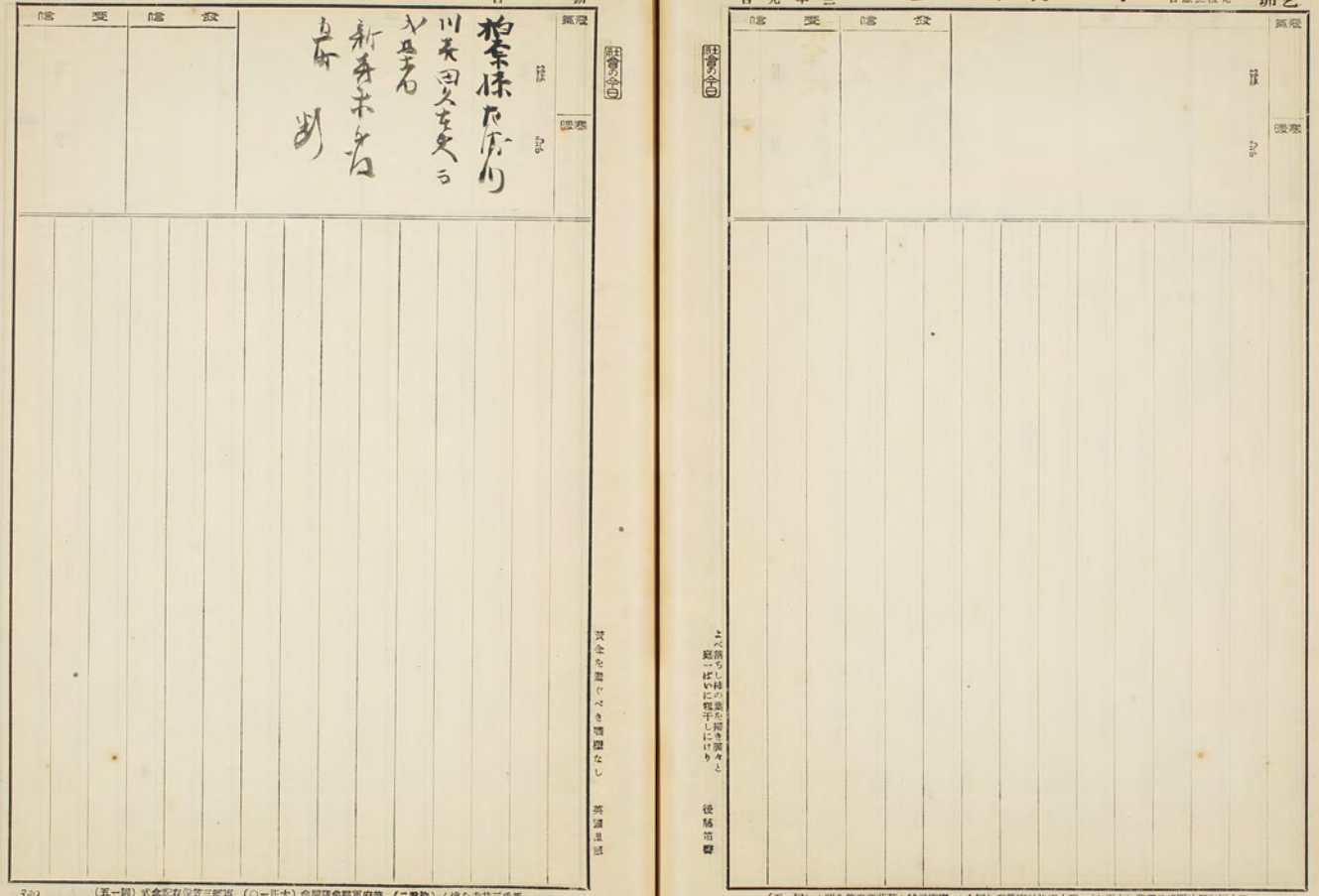
秋るはゝ今日一日にせんじつめ
散る木葉の一色に暮けし　山手白人

（五一正大）よ訓でしと部國開を相首横岩氏人訓博民　（元慈神）もしか書を其に屋家の都京てめ始

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

發信	受信
無	
病欠	

（四一同）るさ監獄ライミの王ンメーカンタツ首元及後の前年千三（三一正大）るさ告宣を刑死間大其郷走

控所や底に火のある大火鉢　熱　尾

社會の今日

發信	受信
無	
病欠	

はらく〳〵とあられのごとくふり來る　淺の下に寢給ひし君　夏目漱子

（五一正大）く機戸十四百二里著目京東（九治明）矢嬢の園稚幼圖が式、く設を園稚幼に内校學範師子女京東

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

受信	発信

社會の今日

國民の信頼に由りて其大才、智識、手腕を知る フキールド

受信	発信

社會の今日

京都平穏 稲畑勇太郎 十月三日着

日出 六時十七分 日没 四時二十四分 月出 前九時三十八分 月没 後七時七分

ここまで主と母の消息を終る 筆 水

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の全日

發信	受信	摘要

官吏の學校登録を請求（明治四）　官吏の轉勤を定む（同七）　選擧權被選權に關する法律公布（同四十）　憲政擁護大會（大正二）

識人が會津に見たる利根川
城のさまなど語る晩の夜　磯岡夢遊

社會の全日

發信	受信	摘要

予は不相當なる恩惠を以て寵享
する祖國と思惟す　シセロ

清國革命軍孫文を大總統に推す（明治四十五）　大正帝の國葬を行はる（大正十）　大井憲太郎氏逝く（同十一）　選擧權被選權に關する法律改正（大正一五）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の今日

天氣	晴	曇	雨	雪	風

收	書	收	書

今あきて秋に小鳥も來ずりけり　子　峰

社會の今日

天氣	晴	曇	雨	雪	風

收	書	收	書

郊外のあき畑に山羊をつれて來し　西洋人の赤き帽かな　八子　面影

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

朝九時十分半宇品着仙石氏ト別レ余リ相部屋ニ
司法省行刑局長松井　氏ヨリ松平恒雄大使夫
婦ヲ全権トシ大船ニ迎ヒ神ノ駿トシテ来京ニ近リシ
ヲ以テ今暁ノ神戸ヲ確メタリ直ニ文書生ニ迎ヘラレ帰宅ス
妻ノ実家ニ転住シオキツーアルハ仕合セナリ
此午後京都ニテ依頼ヲ受ケ午前ハ三個所ニ到
着郵便ヲ配了セリ
当宇中ノ様子ヲメキ十一時半ニ社
午後退庁午花廃止ノ主達ニ署名ス現行モノ十一
月末日ヲ以テ廃止新ニ制定セントス
此時半退出帰宅

宇宇中来代表初山ノ如リ一ヶ月計ニ職セシ
十時半出社
三菱商事会長其他ヨリ宇宇中ノ報告ヲ聴リ
此時退出庁同ニ赴キ直ニ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

午前十時半出社
午後妻木栗香氏台湾製脳会社辞職帰京挨拶ニ来ル
午後四時半退出支度ヲ了リ新喜楽ノ宴席ニ赴ク森事三宅川大島南洲ヲ始メ都テ廿名
九州ノ客人麻生太吉氏ハ
なりはひにつかれ夫ぐすおの国に
四人島事のかなしげにゆく 森田節之助

唐宋元明名画展覧会来ル廿六日ヨリ開会ニ付招待券贈呈ス
三日間 賛助会ヨリ

午前十一時半出社
午後四時退出三宅川氏ヲ伴ヒ上野松源ニ至リ森事ハ唐宋元明名画展覧会ニ寄リ表敬ノ後陳列セル唐宋元明ノ名画ヲ観賞ス陳ハ一行ニ別レテ目賀カスモトヨリ美術愛好者ニ支那人携帯ノ分ハ多リ期待ヲ裏切リ三時半ニ会社ニ送リテ帰宅
毒天ノ陰鬱ヲ厭モ為メ全人ヲ伴ヒテ向島ニ至リ墨水ノ紅楓ヲ観ル夜半燈ヲ点ジテ帰リ就キ夜半寿天ヨリ異状アリ大事ニ至ラズ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴午 寒暖計 雲

記事

出勤の合否

欠席 遅刻 早退

朝未天気頗ル佳ナリ午時頃ヨリ風カヲシ起ル
戒溪坐ノ園ノ賭方ヨリ弁当料理代弁百十弐円弐十戔
外ニ演芸ニ弐十円ボーイチップ二十七円八十戔合計参百
十ヨ文ナリ
晩餐ヲ終リ夜ニ入リ妻美公道帰宅
之奈武彦、文生子伴ヒ菊見ニ来ル

長袖は善く舞ひ多銭は善く賈ふ　韓非

天氣 晴

記事

出勤の合否

欠席 遅刻 早退

無名会休

午前十一時ヶ社三吾会社会長ヨリ休会届ニ付送
後斗風荷ニ一日不足ノ判例アリ本日休会ニ付
スルヤトノ事ナリ最今日ニ迫リ如何様トモ致シ
難シトノ返事ナリシカ千気デヨレ
迫スルニト注意ス
午後斗時針業休会ヨリ無事通過ス物故ナシ
午後四時三吾会長松澤ノ花月ノ席ニ臨ミ村田敏
代ト相茶五杜半新喜楽ニ到午無事会ヲ列シ様
子変ニテ午前十時帰宅

ねぶるみに箱りの朝の晴るゝとき
つとめにいづる身はさびしけれ　土岐善麿

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

大正 辛未 十一月二十七日 ○満月 後六時六分 月食 前六時七分 後六時九分

天候 晴 寒暖 計 気圧 計

社會の今日

李日午后三時半 両陛下還幸し奉る会社
い休業せり 祈ヲ得テ 余ハ此日 辞表ヲ奉呈シ
いさ発葉ノ除ヲリ 盛リシトヲリ 悪事ヲ陳シ恰
メテ京都ヨリ 皇后様ヲ用ヒラレタリ
テ後半時ニ台ニ式 家内病気 見舞来ル
京都五条坂ニテ買シタル陶器着 横備サシ
香炉作 獅子付ノ香炉
産島焼 百圓
備前焼 〃
鳩渓焼(淡内焼) 大皇天
青備前 陶雲庵 社務所ニ献ス 獅子香炉
真葛作次郎焼
末 米 青磁香炉
右代金三拾円 内弐百七拾円

うす月二階なきたつる前後なな 石階

永聖 壬申 十一月二十八日

天候 晴 寒暖 計 気圧 計

社會の今日

李日三十日迄ニ休
理大臣 恐念ノ事
ナリ

雲龍館
芝区西久保巴町一四
電話芝(局)八三八番

十時半出社 今朝神楽坂藝者来訪
ノ為アリシモ未ダアリシ
京都五条坂清山綠雨、古陶壹井澤栄次郎
ヘ買入陶器代金不足額五拾円ヲ送金ス
社務今朝神楽ヶ後出社
土佐高人会ノ件ヶ件 雲龍館城 ニ来訪来月十
七、八両日ノ取扱ノ筈ト云フ
五菜ノ工作社井上前水ト中元廣告料五圓ヲ支
ヒ帰後ヲ成ス
四時ヲ過ギ工業倶楽部ニ立寄リ日本経済
聯盟委主催 訪欧飛行公使ノ支那人歓ノ宿ヲ
ヌキ六時過ギ帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

大正 十一年 十一月 二十九日

昭和	曇	午前	午後
天氣			

收信	發信
今朝七時十分頃ヨリ雪	

社會の今日

午前十時半天神峠ニ來ラントテ來ラズ　陛下ガ多賀神社ヘ參拜ノ歸リ光ノ待ツガ如シ　本日午後二時ヨリ以テヲ大典ニ伴フ諸儀全リ終了ス　日本度限リヨリ十一時半出社

午後一時半木下新三郎氏來訪　安部迫ヨリ招ノ來ル

藤山雷太氏自宅　園遊會ニ後一時ヨリ

神宮奉齋會會長

午後二時　御船會社ノ役會ニ陪シ東京ニ無事ニ歸着ノ旨ヲ報告ス　大橋新太郎君ト會ス　藤山氏ノ園遊會ニ出席ス　午後四時歸宅

今晩壽美子來ル　未タ全快ニ至ラズ　夜分壽美ノ招ニヨリ來ル　後ノ件ハ注意ス

事務室の火鉢にひとり限ふ煙草
わびや今日は酷なるかも　鈴木貫一郎

藩府藩士千石以上ノ者ヲ以テ上流ヲ選ビ留學ヲ許ス（慶應二）　人形芝居ノ名人大阪文樂座ヘ（大正一五）

大正 十一年 十一月 三十日

昭和	晴	午前	午後
天氣			

收信	發信

社會の今日

午前十一時半社

午後一時製鉄會社役會ニ參ス　歸リ市役所ニ立寄リ

午後二時社長ト東京海上ト三菱海上ト又信託連絡ノ手續ニ付會ス　處アリ

元藏溪　園太郎　古山浩氏　安部迫　龍顯　梁顯布會ノ件ニ付來訪（木下松次郎村上北洋　千百松九番地ニ）

後援者ヲ以テ手ヲ依頼セラル　淺野校長ヨリ

以テ返事ヲ乞フ

木下新三郎氏來訪　金三千圓ヲ現金ヲ贈與ス　氏今度病床ニ付月末支拂ヲモ新ストヲリ

四時退出歸宅　氏日午後金十五萬二千圓製鉄會社副支ヲ引見ス

（五一）　後藤子爵ヨリ贈與ノ本紋附羽織ヲ携帯ス　（同一）　後藤子爵ヨリ贈與ノ本紋附子爵ヲ携帯ス　（大正一一）　後藤新平伯ヨリ贈與ノ本紋附子爵ヲ携帯ス　（大正一二）　前清國留學生歡迎會ニ後藤子爵ヨリ贈與ノ本紋附子爵ヲ携帯ス　（同二六）　後藤紅綿運動ニ後藤子爵ヨリ贈與ノ本紋附子爵ヲ携帯ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



都會の冬　枯れた林には摸鳥の群が騒立つ、晴れた入日空を背に、くつきりと黒い遠富士の見えるのも武藏野の冬に懐しい景物の一つである。獵銃の音の洋ゆる朝な霜も愈々深くなる。一歩歳晩の巷に出ると、こゝもかしこも慌しい人の急ぎ足、銀座通の鬼石を毛皮の襟深く埋めて歩く洋裝美人の頬も醉るが如くに紅い。軒別に耀かしいXマスデコレーションの飾窓すきて、裏通に入ると燒鳥屋の灯も懐しまれる。

行事

一日　乙子の正月（元日朝から分子れは祭日を過ると言ひ傳へ）羽子板
陳列賣出（東京市内各所）
五日　納の木天宮・日蓮宗御會講
八日　禪宗寺院臘八會・正月事始
十日　納の金比羅詣
十四日　年の市（十四日・十五日・十八日・二十三日・二十五日・二十八日・二十九日・三十日・三十一日）
廿四日　年賀郵便別扱（廿九日迄）此頃より歳暮の贈答・詠通ハガキ切
十五日　買所御神樂
申　旬　納の大師詣
廿一日　冬至（南瓜を食ふ風習に從ふ）品川歳の市
廿二日　大正天皇祭・クリスマス・燕村忌・詰學校休業式・此頃より門松の造營をなす
廿五日　納の不動尊詣
廿八日　宮城御用納・歳末御祓頒賣上
廿九日　大祓・年越の行事・除夜の鐘
卅一日　○東京總商定の尊衣の調製○東京内閣の新換等貨月初新準備に多忙なり。

陰生　凍雲・雪催・詩賦・詩歌。

十二月標語　一年末年始の形式に法るゝ贈答は止しませう。

季寄

時令　初雪、吹雪、冬枯、冬木立、冬野、千鳥、氷、水鳥、氷柱、枯野、冬の川、冬の日、寒月、木洩、餅搗、煤掃、年の暮、除夜。花芦、早梅、南天燭、紫金牛、萬兩、水仙、寒菊、寒牡丹、雪割草、福壽草、スノードロップ、クリーシア、コシヴアルラリヤ。**食品**　鮪むつ、鹽鮭、鹽鱒、ぶり、赤貝、鳥貝、貝の柱、鴨、家鴨、雁、山鳥。蓮根、胡蘿蔔、葱、牛蒡、長かぶ。

外興　井の頭公園、利根川堤、蘆嘯野等枯野の逍遙。京都鴨涯千鳥聽き。雪見は古書十二月を初めとするも新暦では寒氣未だ薄くして佳景を見る事稀である。年の市は三越、白木、松屋其の他の大呉服店を先頭として深川八幡、淺草觀音、其の他恒例とする場所順次に賑ふ。京都八阪神社をけら詣で、又大師、水天宮、金比羅、不動尊を初め納めの諸神佛參詣者に滿つる。日本橋及び銀座通りクリスマスの裝飾觀覽。貴賤歲暮賣出しの看板に行く年を惜んで一歳の外興益に終る。

内趣　新年御歌會の詠進、歌留多の練習、爐邊の閑談。人參黃蓮等の播種、果樹其他樹木の移植、秋咲草花に霜除の設備。豌豆、蠶豆、雲豪の中耕施肥、温床内に胡瓜、トマト、茄子の播き始む。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

発信 署名 印 宛名

大阪着電報

来信 依人会十夜
三時頃

受信 発信 宛名

バロンゲー、ロリフエラー
立川来大、住吉館
立川東大、住吉館

援助様子ありたき旨
三時半迄
右在米各領事

社會の今日

世に有り觸れたるものは尊敬せられず ジョンソン

米國モンロー主義を宣言す（一八二三） 憲法發布（明治二一）

発信 署名 印 宛名

日比谷松本楼
来会会員
立川晴

受信 発信 宛名

社會の今日

太陽を地球に接近せしめて以て其年の一月一日を六年の一月一日とす（明治五）

（五一正大）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

紙種 晴 陰 雨 曇 雪

社會の今日

往信 受信

覆啓

紙種 晴 陰 雨 曇 雪

社會の今日

往信 受信

拙大使ゾルフ氏別会ヲ後述ノ時帝国ホテル会場ニ開ク

頓首

往信 受信

田村長長オルモノ社長ノ陳情書ヲ持参ス（年内慶祝）

岩沢温泉ヘ行ク件ヨリ

朝九時半橋本三郎氏（日石社長）三菱アツソレエーテド両社積出会社設立ノ件ノ件（朝日新聞）

同会ニ来訪

加藤銀行常務銀行株使用人分配ノ件ノ件ニ付意見何ヲ乞ヒタルモ来訪全ク其為メ退職手当金ノ事ヲ銀行負ヒ支払フヘキヤ否ヤ、本社ヨリノ貸金ヲ返ヘキヤ、並ニ旧株ノ歩増ヲ予メ新株募集ノ際ニ与ヘラルヘキヤ等ノ事ヲ談シテ去ル

十二時出社

橋本氏来訪ノ際意ヲ高橋蔵相ニ通ス三宅川会長不在ノ為メ後刻ヲ期シテ去ル

そのことを布明セム

米国銀行会長ヲ招キ大正製糖買収集ノ際ノ株式（新）銀行使用人分配ノ件ハ全ク余ノ意見ト合意ニ付五時半社長邸ニ於テ午餐ヲ饗ス

木枯を漏らすためぞ垣ねめぐらせるワンタン屋の窓ひとつ　脇校汀景

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

寝 無
暖 無

記 信
国新聞社員懇談
会工業倶楽部
午後一時

記 信
清瀬伯邸
偕行社午後五時

社會の今日

人各能あり不能あり我れ孔明たる事能はず孔明我れたる事能はず　伊藤仁齋

水戸黄門薨ず（元禄一三）愛鳥自由獣獲禁止令（大正一一）北海道沿岸漁民救助船爆破死十一名を出す（昭一五）

寝 無
暖 無

記 信
米国隆体民業由
新妻業

記 信
在留米人会一
部委員会工業倶
前相新友邸

記 信
支那新政一周年
首都十大労働会工業
倶楽部新年

社會の今日

時とめて洵うちはらふ世話もなし　主合羽の雪の夕暮

崇徳天皇崩位（永治元）　官吏恩給令を制定す（明治一七）

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十二月八日

晴

朝れ何処迄も吉武より朝鮮人招介の件委細来ル

十時首相官邸へ出ル経済審議会第一部委員会ニ出席シ教育改善ニ関スル建議案ヲ議決ス

十一時廿五分五社

午後七時半迄三木武吉氏田中工業ノ件ニ付招待ニ応ジ

午後一時迄船舶会社宣伝会先期決算ヲ是非ニ来訪

従来ノ

会ヨリ廿六日ト定ム

差下依頼シ置キタル金廿時給午支庫ニ未納ノ

右ニ付不取敢持参ス会新代千弐百円外ニ作者家

計費ト雑用四百五拾円計千六百五拾円高輪某

北堂ヲ神祝トシテ一ケ年ヲ貰ス事ニ初メヨリ

五社ヲ神ニ

内一夫（一九〇六）

十二月九日

晴

来信

社会の今日

午前中ハ

日仏会館ニ於テ

来ル会館ニ

午後ハ

山口ヨリ後ノ所ヨリ

来ル会館ニ

午前中ハ

工業倶楽部ニ

午後ハ

社会の今日

めづらしくみ開かれた多の塾
風を浴める雲低く見ゆ　越浦流花

蝸牛歩のおなきり数が狭いやうな。
危険は階段の上に潜む。

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

社會の全日

社會の全日

十一時半出社
午後一時高橋商事常務ヨリ大正満蒙工場引受ノ打合ヲ聴リ半田氏会ニ帰
午後一時半電機会社重役会出席
会ヨリ半松村亀太郎氏ヲ大正場十二月分
給料ヲ呈出
四時頃ニ出帝国ホテルニ松尾木内信乱ト志立多代ト落合校長ノ茶ニ列席六時帰宅倅両人ハ
太村澤太郎氏ヲ帰ル洪沢ヨリ来リ採択ス陰ル

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

宿直	日番
議長	副
書記	副

發信	受信
憲友倶楽部設	
立委員会ヨリ	

十一時出社
午後七時三菱電機会社ニ宴会ニ列席
九時社ヲ下ル
午後十時前散会社ニ宴会ニ列席
午後八時三十分来
一人酒

社會の今日

いきさかい誌開かれてゆきしおめの後姿の眉の濃やかな　石川啄木

宿直	日番
議長	副
書記	副

發信	受信
憲友倶楽部ヨリ	
送別会ニ付	

社會の今日

人を知り己れを知りてこそ真に恐しく親みの湧くなれ

宿直	日番
議長	副
書記	副

發信	受信

社會の今日

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴 寒暖 暖

朝十一時十分ヨリ社
家庭幸福ヲ祈ル、芳所用ヲ訪ヒ夫人ヨリ壽ヲ受ケ權
ヲ土産物ノ礼ヲ述ベ全村創業ノ由來等ヲ
式ノ退職手當支給方ヲ相談金即拾圓ヲ
ヲ以テリ村役場ヨリ出張依頼ノ件ヲ協議
買收ノ件ヲ協議ス
午後一時半文相公邸ヘ参ジ文部審議会委員
会ニ列席ス、本日モ亦質問往復スルノミニテ
本田所美治氏ヨリ高知私人鉄道会社ノ
百四ノ如キ午前ヲ以テ
田所氏ト懇談ノ末次回ノ総会ヨリ
ヲ出ヅ道成ノ濱田迄ヲ助両氏ニ依頼ノ書
面ヲ出ス

社會の今日
殺傷 変傷 傷

文政審議会委員会
午後一時半

みどろいん家鴨鳴きく上り来る 水月

赤穂四十七士復讐（元禄一四） 靈家谷文昌図す（天保一三）

天候 雨 寒暖 暖

天公者寄せ月果
内ヨリ委員会ニ
二附島内村和氏
発地（山東）ヨリ招
キ講演

社會の今日
殺傷 変傷 傷

いちばんく湯のマンとひきはらし 銀座いちげに降るみぞれかな 北原白秋

十一時十分ヨリ社会政治研究会ニ高橋
式ヲ引見ス
式ハ社会師ニテ土佐人権擁護運動者トシテ洋行中
借入金ノ始末ニ付テ相談ヨリ
分ハ午引去ト中道ヨリ
午後一時鉄道省督局長福富正男氏紹介ノ
工村大正生金千弓用引見ス人ハ某発明ニ係ル道
路補装工事ニ用材料ニ関スル件ヨリ
両ヨリ設明書ヲ受ケ道
此両社長ト面会大文学会総ヲ
種取ス
午後斗時来京会談、其ヨリ近山来地方ヲ探険ヨリ祥
私ヲ以テ鳥石部蔵市ヨリ発坂和ヨリ福島ヨリ
ヲ大倉ヨリ喜七郎男ヨリ催ニ応ジ発ヨリ茶菓ヲ
宅

牧野子爵ヨリ喜見ヲ

鷗外軍医ヘツツヘツ人植（大正七） 鷗外軍医ヘツツヘツ人植（明治三六） 園芸協会講合百文通ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

日出 六時四十四分 日没 四時二十九分
月出 午前九時五十六分 月没 後七時五十分

天氣 晴 寒暖 昨日比

發信 受信

昨夜大風ニ失上ノ西氏ヨリ磯辻道二氏宛ノ
報アリ今朝十一時自金金人ノ宅ヲ見舞ヒ而シテ
見ノエロノタルモノアリ十二時ヲ過キ歸宅次テ死去
ノ報ニ接ス

午後二時頃青山斧場ニ於テ金次郎伯ノ葬儀
ニ會葬ス

歸途其儘俱樂部ニ立寄リ得ル處ナシ三越ニ赴
キ兩岩井ヘ歳暮ノ贈品ヲ物色スルヲ以テヨスナ
ク空シク歸リ五時歸宅

所轄郵便局ヨリ（光線一〇）　局線電話ヲ以テ公園ヨリ（光線一〇）　日露電話ヲ以テ（光線一〇）　日露電話ヲ以テ（光線一〇）　印刷局（大正四）

日出 六時四十五分 日没 四時二十八分
月出 午前十一時二十一分 月没 後七時五十一分

天氣 晴 寒暖 昨日比

發信 受信

高知ヨリ人會ス尋
精養軒ニ後ノ時
日本生命ヨリ電話
社會ニ事件ニ
ヲ以テ

午前十一時ヨリ社

午後一時ヨリ會社ニ於テ大正精糖入札ノ場合ニ於テ
會長ヨリ提案ヲ以テ其數字ヲ記入ノ明治精糖ノ有
馬氏ヲシテ其提案ヲ其儘トシ勘考スルコトヽ
午後四時ヨリ尋精養軒ニ於テ
犯親會ニ出席スル
百七十人ノ
其他未會者ノ
ヲ以テ

次回ノ正副幹事ヲ推擧シ正ヲ未止ノ
氏ヲシテ濱田ヲシテ
主唱シテ三島男爵
主唱シテ於會
近ク會ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天候 晴　寒暖 昨日ニ同ジ

記事 無名会 五時半
新年集 ニ付

交信 大久保利通五年ノ仏会発起人会ニ後五時半ヨリ会館ニ於テ

変信

朝十一時半社
午後三時頃ヨリ道ニ出テ昔別式ヲ芝公園光宝寺ニ
会葬ス三時ニ帰社
四時半ヨリ歳暮ヲ祝シ二三巡ヲ購フ
午後五時半新年集ニ於テ無名会ニ陪シ内ヨリ夕、鈴木
鳥吉ノ両氏ト幹事ヨリ踊ヲ踊ノ一本ヲ連ネ酣ニ及ヒ
十時半ヨリ本年会ヲ分ル 帰舎ニテ父慶ニ逢ヒ
七

火の山のけぶり乱れて白雲の
林高嶋る木枯のかぜ　佐佐木信綱

天候 晴 寒暖 昨日ニ同ジ

記事 東京倶楽部
忘年会 新年集
午ノ六時

交信

変信

旭山ヨリ次郎家ノ修祓ノ帝国大
学ノ三時ヨリ仏前
迎ノ為メ、、

社会の今日

年末入リテノ寒気ヨリ感冒流行ス張リ朝十時頃ヨリ
外三郎氏来訪 佛暦永井亨ノ和文ノ手紙ヲ
人長谷部英氏ヘ明治（七年十月廿三）氏三長文ヲ送ル日中
出会人依頼書ヲ渡サル人事課長ヨリ午後ヨリ右
中寧正則氏来訪ヨリ新年ノ件ニ付会ス
午後三時社長ト三ケ川商事会長ト新規採用（高等）
ノ人数ト件ヲ具体ノ相違ヨリ金額ヲ見テ疑問ス
三時半帝国ホテル於テ旭山翁長女ノ佛教各
ノ為メ中橋商相夫婦媒的我木妻三郎氏ヲ以テ
親ヤリメンガ仏ヨリヲスヲヲス媒介ヨリ会知ニテ復命
式ト合会ス 四時退出小松旅館ニ立寄リ本年会ニ出席
九時半帰宅

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴 寒暖 昨日

音信無之ニ付日合 十九日出府當驛泊 翌朝川井十五日來 発駕ニ成候ト雖ドモ 夫ニ付 今日ハ 御半乗ニ而御上京被 成候ハヽ 御供可仕 ト存居候処 昨夜ハ 御出無之 如何ニ 候哉 ト 心配ス

十一時半出社

高氣壓り横ハ愛媛ニ以下引ク 下リ口ハ水林指ス

朝九時半中野正剛氏来訪

公私時事ニ付 大正劃ク藤整理後辞意ヲ 述ル 勧ムルニ 十一時半出社

高知ノ人民ヲ盛里 来ル天不良ノ為 而三午来改心表帰ヘカヲ生ヒテ 為ヲ進ム ト 立憲ト 金銭ニ 多ク其他ノ未来ヲ為メ 政府ノ為 ニ 大ニ 憂慮ス ト 云ヒ 又 自由

天氣 晴 寒暖 計 感冒 欠席 遅刻 早退 出入 其他

午前十一時半社来訪ス萩原唯一氏ト面会ス
松村善太郎氏ト村工場ニ手本買入ノ打合セヲ来ル
役場ヨリ十日ニ議会ノ二日半ニ倉橋支村ハ半日トス
深村千五百円ヲ借リ
社長ト三七川ヘ及中野来訪ノ件ニ付打合ヲ為ス
夜ニリ銀行株引受ノ事ニ付話アリ
午後四時五十分大内要蔵帯広ノ家内ヨリ金田中ノ家ニ
ノ家席ニ於テ六時半中堅新春懇親会ヲ開キ下度旨
ニ依リ下度旨ニ依リ出ス
トテ大々的ノ催リ峯右衛門ノ大石山ヘ送リ
花沢ヨリ流テ藏春ノ芝居アリ各役者カ打伴
支部婦人会員十数名ニテ之ヲ演ズ
太郎ノ息舎自ラ見テ
ヲカヘタリ十時過帰宅

設備ハ女士官ヤ慰問団ノ中

天氣 晴 寒暖 計 感冒 欠席 遅刻 早退 出入 其他

本日ハ天候温和凡十二時半山本藤太郎氏ヲ
稼キ森川ト春公中ノ娘ノ事ニ付立喜ス
リ

十一時半金町製糸会社来訪蔵春ノ
午後ヨリ峯衛吉祥寺別邸ニ赴キ郷ノ模様
ヲ巡視シ二時頃帰ル吉祥寺ニ於テ
内ノ一立ヲ入リ美分ノ病気ヲ見舞
スル一ノ両夫人ニ面談ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

發信	受信
高知	

午前十時出社ス 片岡健吉氏ト面談濱口雄幸ノ事ヲ語レリ
尚中島正剛ヨリ依頼ノ件アリ再考ヲ求メ中島ノ件ハ
青木氏ノ意見ヲ徴スル筈
社長ヨリ年末賞與ヲ支ラル
午後七時高幸會社臨時定期大會ニ出席ス 取締役ヲ
任期滿了ニ付再選セラレ 其後引續キ重役會ニ於テ
專務取締役ニ選任セラル 歸宅ハ十一時半
四時五十分退出

日本新聞會會員
名刺交換會
銀座十丁目五番地

發信	受信
高知	

宮澤

午後一時半クリストマスケーキヲ持チ 栄子 榮 母ヲ
訪ヒ三時芳町ニ寄リ男子ノ着物ヲ誂ヘ(三圓ノカイヅ持チ)四時内田山ト井上保雄ヲ訪
ヒ今年歲暮ノ祝儀ヲ述ブ 保雄夫人病ム
歸宅夫婦ト子ヲ伴ヒ晩餐ヲスマシテ 歸宅ス

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

十二月二十六日

朝水時政本氏来訪十時半辞去
午後一時盃組合社長会社長会全半数交換会社長
会全時電機会社長会何れも集まり扶
社長不参
午後四時四十分退出ハ社使り帰宅ハ時帰宅

十二月二十七日

十一時二十分出社
午後一時社長室ニテ青木常吉ト昇堂松本統
重郎会社取締役役退職ニ際シ午飛(三百五拾円)
円一年金三百五拾円ヲ江口三喜氏銀行退
職慰労金参百円ヲ決定ス
中野正剛氏来訪福岡新ヲ注ス貴ヲ辞ス
ヲ援助ス
支打工場ノ建設文太氏ヨリ年末手当ノ内百円ヲ
贈与ス
屋本中間氏和母并ニ姉草儀ニ付キ打ト
合五拾円ヲ以テ弔電ヲ発ス
四時退出帰宅五時半濱口雄幸氏来訪社長ノ
留守ヲ守ル半時ニテ帰ル
今朝小松ニテ年末手当五百円ヲ台所ヨリ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

天氣 晴

朝九時半大窓堂主人昨夜ノ宿酒ニヨリ尾行ヤ妓ノ箱本相日曜ニ祝ス田家ノ晴（御揃）ニ出掛ケ村発ス（谷干城支援箱島氏）

十一時半ヨリ社

正午老村家庭ニテ有知ノ歳末午餐会ニ臨ム 茅町男作内二郎桐島徹（田原坂ニ其他ニ定席

有志ノ文武後援伯ノ行ヲ商フ市会革新ノ件ニテ来訪

大和新太郎 武信介山本田次郎 和会未午（月刊六会幾久雄 桑介枝郎ヲ訪ス

午後斗時半三菱信托株会原案ノ決

青木常男ヨリ退職ニ付キ花ニカヽル書類ニ意見ヲ付シテ返却ス

三宅川原 半常務ヨリ今月九日出ロヽ於ケル夜ノ懇宴会費ヲ賦課ス百圓ヲ午後ヒシ四時半ニ出ス中村支料ニ立ニテ帰リ港ニ寄ル伴フ入湯ノ改善ヲ談ス

（元和昭）式見朝皇天上今（明一八）（明治局別法）（元帝武女）事績を案注の業卒

天氣 晴

朝十時中村支料医ニ立ニテ帰リ十一時半出社

文武奮議会（三百九十円）経済奮飯会（五百円）午後会計八百五拾円ヲ会シ午五拾圓ヲ南工奮飯今ノ午前三百円ヲ会シ午五拾圓ヲ来年初春深作駐支ノ積リ御大典紀念馬匹展覧会招待賀陽宮殿下ヨリ午下場ノ伎立午カヽス迄午後六時半ヨリ行迄リ（昨日）

午後七時貿業会社室役会ニ列ス

社長今夕京都ヨリ去ル式ノ告

松村竜太郎式来訪支村工場賀金ノ内斗午前百余圓ヲ及ス

五時退出帰宅夜分再ヒ中村支料ニ赴キ入湯ニテ

（二八一）ヲ経タツベンガ（九〇八）ヲ生ントスドツラグ

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。

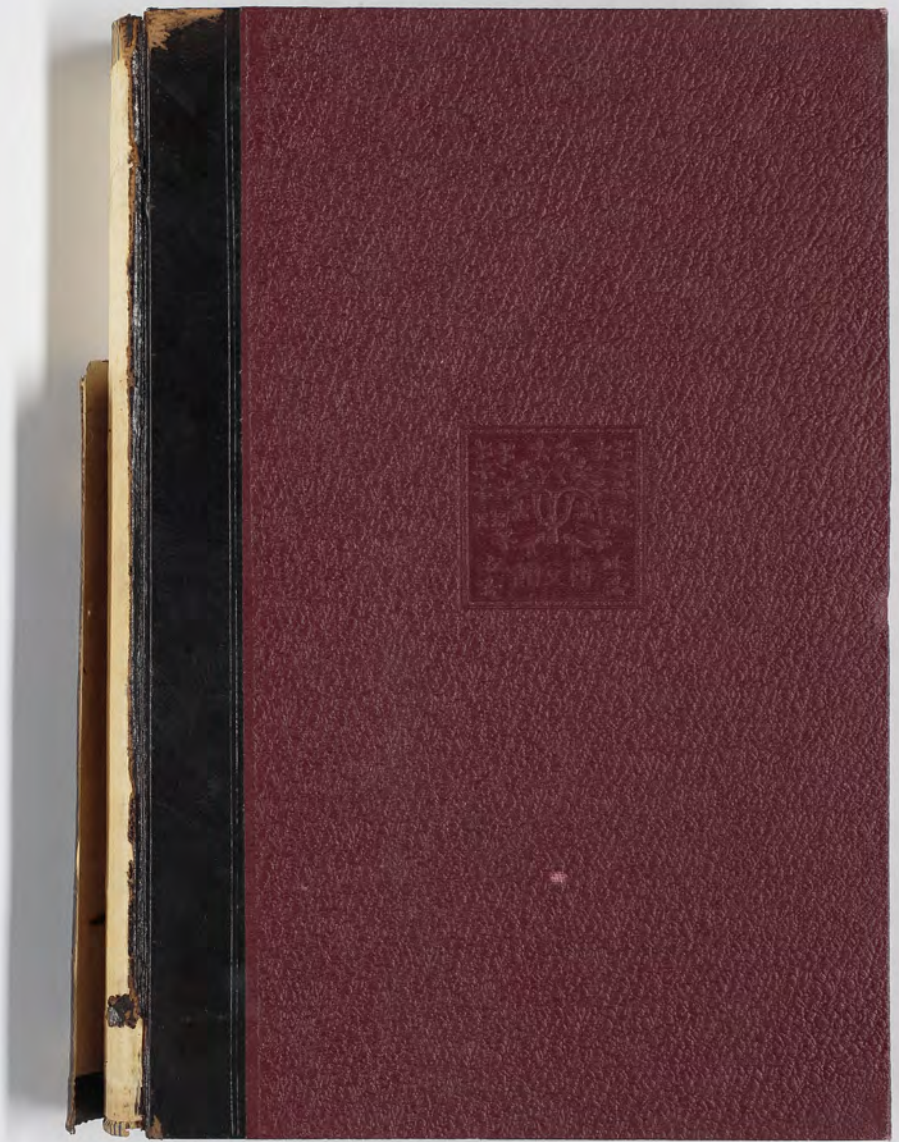
朝十時江口定吉氏銀行員拂底方
宝長領ノ扶抄ヲ来ル
午後斗時梁井ヨリ電来帰途桐島氏ヲ訪ヒ
ヨリ病床ノ巨邊子刀自ヲ五時帰宅
橋本閣老ヨリ今ノ敕書ハ枚トシテ自筆ニ来ル
ノ由ヲ賜リ来ル

返答は、なんと大略日記でも取つて来る氣なり。大略日記。

午前十一時半ヨリ社蔵ヲ香ノ扶抄ヲ交閲シ午
後参ラ代ヘテ帰宅
病令入ラズ直ニ引カメ中村ニ逸料ヲ与ヘ
又共奉政官部ヨリ賢会ニ共ニ城中ニ行ヒ右初
会員タル自分ニ不参ヲ謝ス（用談ナシ）ト文章
入リノ金杯ヲ賜ルヨシトノ書面アリ

墨くみあかし上げて除夜の宮　寳水

© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載・複製を禁じます。



© 2025 高知市立自由民権記念館
本画像の無断転載･複製を禁じます。